

1. 景気の現状に対する判断理由等

景気の現状に対する判断の理由及びそれに対する追加説明等について、その主だったもの及び特徴的と考えられるものを取りまとめると以下のとおりであった。

1. 北海道（地域別調査機関：株式会社北海道二十一世紀総合研究所）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向 関連 (北海道)		百貨店（営業販売担当）	お客様の様子	・引き続きイベントの集客が上向いている。11月以降、衣料品が前年を上回り始めており、前年不調だったコート類などの羽織物も動いている。
		家電量販店（経営者）	販売量の動き	・在宅時間が長くなったことで、修理、リフォームなどのいわゆる家ナカ需要が旺盛である。また、気温が低下していることで暖房器具の需要も旺盛である。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大が収まると人出が徐々に増え、来客数も増加傾向となる。12月は新規感染者数が低い水準で推移していることから、来街者が増えており、各店の来客数も増加している。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いていることで少しずつ客足が戻ってきている。ただ、前々年と比べるとまだ80%程度の水準である。年末の忘年会需要も回復傾向にあり、週末は予約が入らないほどに回復しつつある。ただ、一次会で使われるような店は比較的良いが、二次会、三次会という流れはみられない。早々に帰宅する様子がみられ、コロナ禍の習慣と感染への恐怖を植え付けられた客が以前の感覚を取り戻すには時間が掛かりそうである。
		商店街（代表者）	販売量の動き	・りんごの輸出の最盛期であることから、景気はやや良くなっている。
		一般小売店〔酒〕（経営者）	単価の動き	・客先の飲食店の様子を見ると、年末の忘年会需要はまだ戻っていないものの、個人客が思い切った金の使い方をしており、客単価がかなり上がってきている。
		百貨店（売場主任）	販売量の動き	・11月から新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いてきたことで、12月に入りボーナス商戦、クリスマス商戦で売上が伸びると期待していたが、中旬の降雪の影響もあり、見込みほどの伸びはみられなかった。ただ、インバウンドを除いた日本人客による売上について、前年、前々年を上回る売上がみられるのは明るい兆しである。
		百貨店（販売促進担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルス新変異株への脅威はあるものの、新規感染者数が小康状態にあるため、来街者が増加傾向にある。それにともなって来客数、買上客数も増加傾向にある。
		百貨店（マネージャー）	来客数の動き	・来客数の動きを見ると、9月が前年比91%、10月が前年比95%、11月が前年比95%、12月が24日現在で91%となっている。3か月前と比べると客の滞留時間が長くなっており、買上率も上がってきている。売上も来客数に比例して回復しているが、まだ前年並みの水準には届いていない。
		スーパー（店長）	来客数の動き	・新型コロナウイルス新変異株が出てきたが、新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いていることもあり、広域からの来客が増えている。
		スーパー（店長）	来客数の動き	・バーゲンセール、クリスマス需要、年末需要といった大きいセールが続くなか、衣料品の売上が前年と比べて顕著に伸びている。
		コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルス新規感染者数が減っていることがプラスである。また、北海道が旅行者の消費喚起を目的に配布しているクーポンの利用が増えていることもプラスである。
		衣料品専門店（店長）	単価の動き	・来客数は低迷したままだが、前年と異なり、成人式、フレッシュャーズなどのイベントに向けた商材の販売量が回復しており、客単価が上昇している。
		家電量販店（店員）	来客数の動き	・12月の来客数は前年とほぼ変わらない数字を保っている。ただ、感染症対策のためか、1日の後半になると客足がすぐに引いてしまう。
	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・メーカーの生産体制が以前よりも回復傾向にあることで、登録台数が徐々に回復してきている。特に新型車の受注が好調である。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・海外の新型コロナウイルスの影響で遅れていた新車の生産体制が回復しつつある。それにとまって客からの受注も増えてきた。
		自動車備品販売店（店長）	それ以外	・新型コロナウイルスの感染状況が消費や景気を大きく左右するなか、当地の感染状況が落ち着いていることに加えて、クリスマスや年末といった行事が重なったことで、集客につながっている店舗が多くみられる。
		その他専門店 [造花]（店長）	お客様の様子	・感染状況が落ち着いてきたことで、若干ではあるが来客数が増加傾向にある。客もコロナ後を見据えた動きとなっており、緊急事態宣言前の状況まで戻りつつある。
		高級レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・感染が収まっていることもあり、少しずつではあるが、客が戻りつつある。
		高級レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いていることで週末の来客数が増加している。平日についても僅かではあるが上向き傾向となっている。
		観光型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・行政による需要喚起策により予約が堅調に推移している。コンサートイベントに関連した宿泊需要も回復の兆しがみられる。
		旅行代理店（従業員）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いていることで航空機利用者が増加している。クリスマスから年末に掛けての利用状況も良く、帰省などの生活需要やスノーボードなどの冬季観光需要も回復してきている。
		旅行代理店（従業員）	来客数の動き	・行政による旅行需要喚起策の効果もあり、個人客を中心に客が動き始めている。
		タクシー運転手	来客数の動き	・前年12月はコロナ禍で人の移動が制限されたことで年末の繁忙期にもかかわらずタクシーの利用が大きく減った。今年は少しずつ人出が増えていることでタクシーの利用が大幅に増えており、売上は前年から約30%の増加となった。また、タクシー1台当たりの売上も前々年比マイナス5%となるなど、ほぼ新型コロナウイルス発生前の水準まで回復している。ただ、乗務員不足で車両の稼働が減っているため、全体売上は前々年を30%下回るなど、まだまだ前々年の水準に及ばない状況にある。
		タクシー運転手	来客数の動き	・日中のオーダー件数がやや増加している。夜間の飲食店からのオーダーもやや増加している。
		タクシー運転手	販売量の動き	・利用客数が前々年の75%程度まで回復している。新型コロナウイルスへの警戒心はまだ強いものの、少しずつウィズコロナを意識した経済活動が行われるようになってきている。
		タクシー運転手	お客様の様子	・年末を迎えて前年よりも客の外出が増えている。タクシーの稼働状況も前年から20%の増加となっている。ただ、新型コロナウイルス新変異株の市中感染なども影響して、まだまだ予断を許さない状況にある。前々年並みの水準に回復するにはまだ時間が掛かる。
		観光名所（従業員）	来客数の動き	・3か月前は緊急事態宣言の影響でやむなく臨時休業したが、現在は営業できていることで景気は良くなっている。12月の前年比は26日現在で164.25%となっており、新型コロナウイルス発生前の水準にははるかに及ばないが、希望がみえてきた状況にある。
		美容室（経営者）	販売量の動き	・12月は新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いてきたため、売上は新型コロナウイルス発生前の前々年の90%まで回復している。
		美容室（経営者）	販売量の動き	・3か月前と比べて売上は約10%伸びている。12月という时期的な影響もあるが、前年と比較しても多少良くなっている。
		住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染が収まっていることで人出がかなり増えており、飲食、観光関係も徐々に盛り上がってきている。住宅の着工数も順調に推移しており、景気はやや良くなっている。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・現在も景気は変わらないと話す客が多い。コロナ禍の状態はもうしばらく続く。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		商店街（代表者）	来客数の動き	・12月に入り年末大売出しなどの季節需要も生じているが、そうした季節需要を除けば、昼間の来街者数は目立って増加していない。ただし、夜型飲食店については悪い状況ではあるが、金曜の午後8時頃に小規模ながらも忘年会帰りと思われる酔客が毎週のように確認できたなど、改善の兆しが幾分うかがえる。
		一般小売店〔土産〕（経営者）	販売量の動き	・北海道の新型コロナウイルス新規感染者数について1けた台が続いていることもあり、雪で天候が悪いなかでも近郊からの客が思いのほか多く来ている。12月の売上は前年比222.2%、前々年比59.4%となっている。
		一般小売店〔土産〕（経営者）	お客様の様子	・緊急事態宣言が解除されてから、少しずつだが観光客の動きが良くなってきている。延期していた修学旅行が戻ってきたり、年配客の小団体旅行が増えたりと、緊急事態宣言期間中にはなかった客の動きがみられることは明るい材料である。
		コンビニ（エリア担当）	単価の動き	・客単価が上昇している一方で、来客数が減少していることから、売上は微減となっており、景気は良くも悪くもない状況にある。今後については新型コロナウイルス新変異株次第の面がある。
		コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・店舗の売上をみると、飲食店向けの取引は前年がかなり悪かったことの反動もあり、前年と比べて回復基調にある。その一方で、来客数は余り回復していない。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・販売量の動きをみると、冬という北海道ならではの季節要因もあり、それほど変化がみられない。安定しているが、特別良いわけでもない。ただ、1～3月になれば決算期に向けて景気が上向いてくると見込んでいる。
		その他専門店〔ガソリンスタンド〕（経営者）	販売量の動き	・石油製品価格が高値で推移していることで、燃料の節約志向が強まっている。
		高級レストラン（スタッフ）	販売量の動き	・月末の売上はかなり回復したが、団体の忘年会や平日の予約客が少なかったこともあり、2年前の6割ほどであった。クリスマスディナーは直前になって全席が埋まったが、例年よりも席数を制限していたうえ、人手不足の影響で料理の手を掛けすぎないようにしたことから単価設定が低くなり、今一つであった。最近になって、一般飲食店では求人が増えてきたようだが、高級店ではまだ客の動きが少ないことから、増員しづらい状況にある。
		観光型ホテル（経営者）	来客数の動き	・3か月前は緊急事態宣言の期間中であったため、単純比較はできないが、全国的な観光需要喚起策が再開されていないことから、今も低迷が続いている。
		旅行代理店（従業員）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響が残っており、まだ上向きになっていない。客の消費控えも続いている。
		タクシー運転手	販売量の動き	・年末の売上は前々年の8割ほどに回復した。週末については前々並みの水準まで回復したが、平日については伸びがみられない。また、ビジネス関係の会合、会食が全くないことから、回復に力強さを感じられない。
		タクシー運転手	来客数の動き	・北海道もようやく新型コロナウイルスの感染状況が落ち着きを見せてきているが、まだまだ先が見えない状況にある。また、新型コロナウイルス新変異株が出てきたことで、今後の感染状況によっては以前のような状況に戻ることも懸念される。
		美容室（経営者）	それ以外	・他業種の人と話す機会があったが、前年と比べれば景気は良いが、今後について不安に思っている人が多かった。早く新型コロナウイルスが収束してほしい。
		住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・分譲マンションのモデルルームに来る客の多くは購入意欲が高く、大変熱心に説明を聞いている。ただ、分譲マンションの価格と客の予算が合わないことも多く、調整に時間を要することが多い。
		スーパー（企画担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスに関する緊急事態宣言が解除されて以降、とりわけ11月以降は週末の土日を中心に客足が百貨店や外食に向かっており、食品スーパーへの来店が減ってきている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		スーパー（企画担当）	競争相手の様子	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着き、人流が多くなっていること、年末年始に向けて前年よりも帰省などが増加していること、商圈に競合店が出店し競争が激化していることなどから、景気は下向きとなっている。
		スーパー（役員）	お客様の様子	・食用油、小麦の値上がりにより、パン、麺類など、幅広い商材が値上がりしている。特売価格も上がっていることから、客も商材が高くなったと感じているようである。
		スーパー（従業員）	お客様の様子	・コロナ禍による影響に加えて、原油価格が高止まりしていることもあり、食料品が値上がり傾向にある。個人消費の落ち込みにもなう売上の減少、経費の増加がみられる。
		コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・売上が今一つである。公共工事がやや落ち着き、利用客数が減っている部分も影響している。観光客の動きが今後の新型コロナウイルスの感染状況によって変化しそうなことも懸念材料である。
		その他専門店〔医薬品〕（経営者）	来客数の動き	・来客数は20%の減少であった。特に常連客の落ち込みが目立っている。客の高齢化、悪天候の影響、新型コロナウイルスへの不安といったことも影響しているが、同様の要因は前年もみられたことであり、むしろ影響は今年以上に大きかったはずである。
		通信会社（企画担当）	お客様の様子	・通信端末の契約獲得のために大型スーパーや大型商業施設を中心に出張販売を増やしているが、特に都市部では競合他社の出店数やスタッフ数が多い上に値引き額も大きく、競合他社への流出がますます拡大してしまっている。また、法律に違反しない範囲での価格競争も厳しくなっており、消耗の激しい状況となっている。
		その他サービスの動向を把握できる者〔フェリー〕（従業員）	来客数の動き	・今年は特に天候の悪化による欠航が多いこともあり、輸送量が減少している。
	x	スナック（経営者）	来客数の動き	・例年と比べると景気はとても悪い。もう少し時間を掛けないと元に戻らないとみられるため、これから少しずつ良くなることを期待している。
企業動向関連 (北海道)		-	-	-
		家具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルス新変異株の感染拡大によって、現在の状況が変わることを懸念している。
		建設業（役員）	受注量や販売量の動き	・これまで比較的天候に恵まれたことから、各現場の工期短縮による利益の上振れが見込まれる。また、ここに来て見積り参加の引き合いが増え、次年度繰越しの民間建築案件を立て続けに受注できたこともプラスである。
		輸送業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・年末ということもあり、雑貨の動きが例年に近い物量に戻っている。配合飼料用の原料も順調に動いており、バター、脱脂粉乳の倉庫保管も引き続き積み上がっている。ただし、古紙不足の影響で紙パルプ関連が伸び悩んでいるほか、本州向けの生乳も低調に推移している。
		金融業（従業員）	取引先の様子	・コロナ禍でこれまで不振だったサービス消費や百貨店販売が復調してきた。一方、巣籠り消費は頭打ち感がみられる。個人消費はエネルギー価格の上昇が重荷となっているが、全体的には持ち直している。こうした個人消費の持ち直しを背景に道内景気は3か月前と比べてやや良くなっている。
		司法書士	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルス新変異株の影響はまだ少なく、年末の駆け込み需要もあり、少しずつ仕事の受注量が増えている。取引先の建築業者も小型建売住宅を手掛ける業者は堅調であり、販売量も伸びている。それにもなると当事務所の受注量も伸びている。
		その他サービス業〔建設機械レンタル〕（総務担当）	受注量や販売量の動き	・12月前半は前年割れだったものの、後半に入り5%程度の伸びがみられている。観光関連事業の再開案件が増えていること、ホテルの予約状況も盛況なことから、今後の景気はますます上向くことになる。
		食料品製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・3か月前と比べて販売量がやや増えているが、季節要因によるものである。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		通信業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・3か月前との比較では大きく変わらないが、リモート対応、職場分散、在宅勤務といったコロナ禍を意識した新規案件が明らかに増えている。
		司法書士	取引先の様子	・新型コロナウイルスの新規感染者数が減少しているが、活発な経済活動を行うまでには回復していない。長い自粛期間に慣れたことで、活発な行動を行うことが良くないという考えが定着しているためとみられる。また、政権が交代したものの、いまだに新型コロナウイルス対策が最優先の状況であるため、景気回復にはまだまだ時間が掛かるとみられる。
		その他非製造業 【鋼材卸売】 （従業員）	受注量や販売量の動き	・スポット案件などの受注販売で売上は増加傾向にあるが、引き続きベース商材の動きが悪い。景気が良くなっているという話を周りからも聞かないため、景気は変わらない。
		金属製品製造業 （従業員）	受注量や販売量の動き	・ウッドショック、メタルショック、半導体不足などの影響でボイラー、給湯器、便器、食洗器、ソーラーパネルなどの入荷が遅れており、工事が中断している。1月以降は入荷見通しも立っていない状況である。
		建設業（従業員）	受注価格や販売価格の動き	・仕事量が少ない一方で、技術者不足の影響で工事契約金額を高め設定せざるを得ないため、業務確定に至らない案件が多い。受注量が減少傾向にある。
	x	-	-	-
雇用 関連 (北海道)		人材派遣会社 （社員）	求人数の動き	・求人への問合せが増えている。前年は企業の求人意欲が低迷していたが、今年は企業訪問した際に人材紹介の依頼を受けることも増えており、コロナ禍以降の事業拡大意欲が感じられる。
		求人情報誌製作 会社（編集者）	求人数の動き	・緊急事態宣言が解除されてから、徐々に経済活動が活発になっている。キャリアケースを引く観光客の姿もちらほらみられるようになっている。ただし、外食や小売業では新型コロナウイルス発生前の水準まで回復しているわけではない。また、原油価格高止まりの影響が、今後、経済活動や個人消費に及んでくることも懸念される。
		求人情報誌製作 会社（編集者）	周辺企業の様子	・クリスマス、忘年会、帰省、観光にかかわる業界から、客が戻りつつあるとの声を多数聞く。大型スーパー、有名飲食チェーン店の開店もあり、市民の消費マインドが向上していることがうかがえる。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・当地における11月の有効求人倍率は0.91倍であり、3か月前と比べて0.08ポイントの上昇となっている。
		学校【大学】 （就職担当）	求人数の動き	・新型コロナウイルス新変異株の感染拡大が懸念されるが、次年度に向けての大手企業、中堅企業の採用意欲は上向きを維持している。年明けに新型コロナウイルスの爆発的な感染が起こらない限り、3月からの新卒採用活動も緩やかに上向くことになる。
		求人情報誌製作 会社（編集者）	周辺企業の様子	・基幹産業である農業及び建設土木関係の求人意欲は高い。一方、人々の新型コロナウイルス新変異株への警戒感が高まっていることもあり、商店街や中心繁華街の小売店、飲食店の求人が芳しくない。
		職業安定所（職員）	求職者数の動き	・有効求職申込件数の動きをみると、新規求職申込が若干増えているものの、有効求職者数が高止まりしている状況が続いており、失業の長期化が一定程度みられる。そのため、景気がなかなか上向いてこない。
		職業安定所（職員）	求職者数の動き	・新規求職申込件数が減少していることから、求職者が新型コロナウイルスの感染状況をみながら、求職活動の開始時期を見計らっていることがうかがえる。
		*	*	*

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	x	-	-	-

2. 東北（地域別調査機関：公益財団法人東北活性化研究センター）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (東北)		一般小売店 〔酒〕（経営者）	販売量の動き	・県外からの注文が多くなっている。
		一般小売店〔医薬品〕（経営者）	単価の動き	・時節柄、月曜日から木曜日はふだんどおりだが、金曜日、土曜日に人が出ており、特に当店では高額品が売れ、客単価が上がっている。また、近所の飲食店には列ができており、久しぶりに繁盛している状況が分かる。特に旅行客が多くなっている。
		百貨店（買付担当）	お客様の様子	・決して購買意欲が高いとはいえないが、月を追うごとにグループや家族連れでの来店が増加している。少しずつではあるが外出用の衣料品や身の回り品、靴等が回復している。
		衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・コロナ禍になってから徐々に来店する客が多い。高額品を含んだまとめ買いが多くみられ、今月の売上増加の要因になっている。
		その他専門店〔靴〕（従業員）	販売量の動き	・寒波の影響で冬物商材であるダウンブーツや長靴の動きが活発である。単価の高い商品の動きが良い。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・例年の12月と比較するとやはりまだまだ来客数は少ないが、前年あるいは秋までの状況に比べれば多少客が戻りつつある。
		一般小売店〔医薬品〕（経営者）	販売量の動き	・来客数は前年を割っているが販売量の動きが良く、1人当たりの買上点数が前年の1.2倍くらいになっている。
		一般小売店〔酒〕（経営者）	販売量の動き	・客先の飲食店にも少人数ではあるが予約が入るようになり、販売量もやや上向きになってきている。
		一般小売店〔寝具〕（経営者）	販売量の動き	・年末につき駆け込み需要が発生している。
		百貨店（売場主任）	来客数の動き	・来客数が2か月連続で改善している。新型コロナウイルス発生前の水準には届いていないものの、客が外出する機会が増えており、それに伴ってファッション、服飾関連の需要も高まっている。
		百貨店（営業担当）	来客数の動き	・来客数は前年を超えるペースで改善している。来街もあり、にぎわいがみられ、定量的にも定性的にも良くなっていると考えられる。
		百貨店（経営者）	販売量の動き	・高額商品は前月から引き続き堅調に推移している。気温の低下もあり、防寒衣料等アパレルも活発に動いている。お歳暮商戦は微増である。新型コロナウイルス新規感染者数も落ち着き、前年と比べ店頭受注が増えてきている。逆にオンライン受注は減少している。
		スーパー（経営者）	お客様の様子	・ふだんの客単価はほとんど変わらないが、年末の予約商品は前期を大きく上回るペースで予約が入っている。帰省客が前年より多いことによる動きとみられる。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの落ち着きで規制が緩和され、夜間の来客が増加している。夕方には酒関連のドリンクが売上を回復してきている。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・売上の低下、最低賃金の上昇、光熱費、除雪代の負担等で非常に厳しい。
		コンビニ（経営者）	単価の動き	・単価の増加により売上は微増傾向であるが、来客数の減少は継続している。
		コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・秋口と比べ年末商戦の動きは良く、単月としては売上も前年より伸長している。
		コンビニ（店長）	来客数の動き	・地域独自のクーポン券発行があり、購買力が高まっている。また、新型コロナウイルス感染の収束感も、外出行動に反映したようである。
		衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・お歳暮商戦では、法人客では多少減少したものの、個人客では産直品が増加し売上増加に寄与している。
		衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・今年成人式を迎える方で、入学時にスーツを作っていなかった方が多いため、成人式の客が例年以上にきている。イベントごとが再開されるようになり、スーツ需要が増加している。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		衣料品専門店 (店長)	お客様の様子	・ボーナス商戦、クリスマス商戦では、例年みられる自分への御褒美需要がさほど多くなかった。消費に対して思った以上に慎重な行動をとる消費者が多いようである。
		衣料品専門店 (総務担当)	単価の動き	・新型コロナウイルス新変異株の発生はあるが、新型コロナウイルスの感染状況も以前よりは落ち着き、来客数と客単価が上がっている。
		乗用車販売店 (店長)	販売量の動き	・車両遅延が続いていた数か月前と比べ、直近では登録台数の戻り傾向が顕著である。
		住関連専門店 (経営者)	販売量の動き	・オーダーメイド商品の納品があり、販売量がある程度確保できている。
		住関連専門店 (経営者)	来客数の動き	・来客数が一時期より増加しており、小物仏具の販売が順調である。県内の新型コロナウイルスの感染が落ち着いてきて、高齢者が買物に動いた結果とみている。
		その他専門店 [酒](経営者)	来客数の動き	・最悪の状態からは脱したとみられ、飲食店の数字は若干上向いている。しかし、一般消費が逆に低調で全体的に回復度合いが低い印象を受ける。
		その他専門店 [白衣・ユニフォーム](営業担当)	販売量の動き	・人の流れが出てきていることに伴い、飲食店を始め観光関係も連動して動きが出てきた。ただ、すぐに景気に影響が出るかはまだまだ分からない。今はほんの少しだけ良くなってきたという感じである。
		その他小売 [ショッピングセンター](統括)	お客様の様子	・11月から来客数がかなり戻ってきている。クリスマスから年末にかけての消費については、もう一段上乗せしきれないという感じがある。
		高級レストラン (スタッフ)	来客数の動き	・クリスマス、年末の来客数は例年どおりの数字までは全くいっていないが、3か月前よりはまだ良い。
		一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・コロナ禍前の12月の忘年会の忙しさではないが、今年のなかでは一番忙しい。例年の7割くらいまでは戻ってきている。
		一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・例年よりは大人数の宴会という形での来客は少ないが、少人数の客は来てくれている。
		観光型ホテル (スタッフ)	来客数の動き	・宿泊費に対しての優遇処置と新型コロナウイルス感染の収束により、来客数は上向いている。
		観光型ホテル (スタッフ)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いている。
		観光型旅館(経営者)	来客数の動き	・新型コロナウイルス新変異株拡大の不安があるものの、新規感染者数の落ち着きもあり、客の動きは良くなってきている。
		旅行代理店(従業員)	販売量の動き	・県民割等の効果により3か月前と比べ約115%伸びている。
		旅行代理店(従業員)	販売量の動き	・旅行業につき、人流拡大傾向と販売量がある程度比例している。また、年前半は人流移動が地元県や隣県といった近場にとどまっていたものの、10月中旬以後は飛行機や新幹線等を利用した広域の人流が著しく増えており、販売量にも貢献している。
		タクシー運転手 タクシー運転手	来客数の動き 来客数の動き	・年末で人の動きが多い。 ・新型コロナウイルス新規感染者数が激減し安定している状況のなか、年越しの時期に入り、少人数での旅行、年末必需品の買物などに老若男女の動きが活発化してきている。よって、タクシー利用についても営業回数や1乗車単価が増加傾向にある。
		通信会社(営業担当)	お客様の様子	・新型コロナウイルスも落ち着き始め、消費量が増えているような感じがある。
		遊園地(経営者)	来客数の動き	・土日のみ6日間の営業であったが、新型コロナウイルスの感染が沈静化し気温も高めで推移したことから、前年より増加した。
		競艇場(職員)	来客数の動き	・大きなレースがあったため来客数が非常に増えた。売上金額はさほど大きくはないが、ここ数か月のなかでは一番良くなっている。
		美容室(経営者)	販売量の動き	・12月に入ってすぐは前月と余り変わりなかったが、10日過ぎくらいからは、来客数は変わらないものの商品券の売上が急激に上がっている。
		美容室(経営者)	単価の動き	・出掛けたり人と会うなどの活動が再開したことで、ヘアカラーをしたりワックスを買ったりする人が増えているため、客単価が上がっている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		商店街（代表者）	お客様の様子	・県内では新型コロナウイルス新規感染者数がゼロの日が続き、飲食店を中心に客足が戻りつつある。しかし、新型コロナウイルス新変異株の感染報道や原油価格高騰による商品の値上げ等により、景気は横ばい状態である。
		一般小売店〔医薬品〕（経営者）	販売量の動き	・平年どおり年末にかけて来客数が増えている。ここ10年のうち、新型コロナウイルス発生前にも今年より売上の悪い12月があったことを考えれば平年並みである。しかし、新型コロナウイルスの悪影響を考えればやや良い。
		スーパー（経営者）	単価の動き	・12月は平均1品単価前年比がほぼ前月、前年と同じ推移になっている。食品メーカー等仕入先で原材料・物流費等コストアップ要因の価格転嫁は始まっているが、全体的には食品の買上価格上昇には至っていない。代替品の購入や社内の価格訴求販促などのためとみられる。しかし、前月同様、来客数推移以上に買上点数の推移で落ちてきている。消費の傾向は依然変わらない。
		スーパー（営業担当）	お客様の様子	・Go To Eatキャンペーンプレミアム付食事券の駆け込み需要があり、その期限までは内食への支出が抑えられていたようであった。その後も緊縮傾向からか客単価は前年を下回っている。年末は帰省が増える予想で内食が回復することを期待したが、新型コロナウイルス発生前の買物状況には戻っていない。
		コンビニ（経営者）	販売量の動き	・3か月前とほとんど変わらないが、下がったままの状態が横ばいの状態になっている。新型コロナウイルス新変異株が出てきたことにより、自粛状態に戻ってまた動かなくなっているというのが現状のため、外に出歩く機会が少なくなっているとみられる。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・ワクチン接種が進み、人の動きが良くなるかと思っただが、思ったほど人が動いていない。
		家電量販店（店長）	販売量の動き	・白物家電などの単価は前年と変わらず、動きも買換え需要を中心に平年並みである。暖房商品など季節商品は年末にかけてやや動きが出てきたが、テレビなど黒物家電は前年比95%程度と実績が悪くなっている。
		家電量販店（従業員）	販売量の動き	・高単価商品の販売量が余り伸びていない。小物に関しては少しずつ動きが活発になってきている。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・法人の受注は伸びてきているが、個人の受注がなかなか伸びない。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・12月中旬まで雪の影響もなかった。夏以降、市場環境に関係なく、新規来場件数は前年と比べ減少している。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・ニュースなどで部品供給が改善されているように発表されているが、新車の配車はさほど変わらない。
		観光型旅館（スタッフ）	来客数の動き	・3か月前の9月は休前日と平日の動きにはっきりとした差が出ており、休前日だけ宿泊者が多かった。12月も同様の傾向がみられる。
		通信会社（営業担当）	お客様の様子	・前月同様ボーナス時期ではあるが、消費動向が鈍化している状況である。特に小売業の大幅割引合戦が目立ち、消費は伸びるが企業の利益が不安材料である。景況感是不変。
		通信会社（営業担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数は少なくなっているが、新型コロナウイルス新変異株が増えつつあり、予断を許さない状況が続いている。特に飲食業に客足が戻ると期待されたが、慎重になっており期待したほどにはなっていない状況である。
		通信会社（営業担当）	お客様の様子	・客の設備投資意欲に変化はみられない。
		通信会社（営業担当）	お客様の様子	・年末キャンペーン等の加入促進イベントを展開しているが、反応が余り良くない。チラシや新聞広告にも予算を大々的に投入しても新規加入者が伸び悩んでいる。人の動きは少しずつ活発になっているが、量販店の店頭や電話での問合せは少ない。
		通信会社（営業担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染が多少落ち着いてきたかと思っていたが、新型コロナウイルス新変異株が発生し、先行きが不透明になってきている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		観光名所（職員）	お客様の様子	・団体の予約は新型コロナウイルス新変異株の拡大とともに若干減ってきている。2～3人で動く個人客は増えてきており、良い傾向である。ただし、良い悪いの判断は難しいところである。前年の今頃まではGOTキャンペーンのクーポンが利用されて売上は良かったが、現在はクーポン等がないため、前年の売上には到達していない。
		住宅販売会社（経営者）	それ以外	・受注見込み客の予定は確定している。
		その他住宅[リフォーム]（従業員）	販売量の動き	・住宅設備機器については暖房器具販売、設備工事が増えている。リフォームについては、納品が遅れていた資材や機器が手配できたことで増改築工事が増えている。
		その他住宅[住宅展示場運営会社]（従業員）	来客数の動き	・前年と前月のいずれとの比較でも、来場者数、新規率に変化はない。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・少し安定してきていた新型コロナウイルスの感染が微増になり、年末年始がまた自粛傾向になっている。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・3か月前と比較して客単価が低下している。外食機会が増えて、家庭内食の需要が低下している。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・当社全体の11月の売上は前年比100.7%であった。12月の現時点では99.4%、約1%の影響がスーパー全体に出ているという状況である。
		スーパー（営業担当）	単価の動き	・来客数は前年比99.9%とほぼ前年並みだが、客単価が97.9%と苦戦しており、結果売上も前年比97.7%と落ち込んでいる。
		コンビニ（経営者）	販売量の動き	・年末商戦に期待していたが、予想よりも売上が悪い。
		コンビニ（店長）	お客様の様子	・買物に来ている客の表情が非常に暗い。何かを我慢しながら生活しているといったような顔をしている。明るい表情や会話が途絶えているという感じがする。
		衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・全国的に新型コロナウイルスも少し落ち着いている状況ではあるが、まだまだ出掛ける気分にならない。また、忘年会等の自粛もあり、洋服の購買意欲にブレーキが掛かったまま緩んでいない。
		その他専門店[ガソリンスタンド]（営業担当）	販売量の動き	・小売価格の高止まりによる節約志向が強く、新型コロナウイルスの影響で減少した前年の実績すら超えていない。
		旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・修学旅行を中心とした教育旅行団体は出発日変更後の案件が予定どおり出発しているものの、一般団体は前月同様に動きがない状態が継続している。県民割を利用した県内宿泊予約についても個人客の動向は前月比マイナスの傾向にあり、旅行業での景気は下向きにある。
		タクシー運転手	お客様の様子	・乗客との会話のなかで、景気は前と余り変わっておらずそれほど良くないという話をよく聞く。
		美容室（経営者）	来客数の動き	・寒くなると客もなかなか来なくなる。来客数が少なくなっている。
		その他サービス[自動車整備業]（経営者）	販売量の動き	・石油製品や鉄製品など様々な品物の値上がりにより、年末にもかかわらず売上が伸びない。
		設計事務所（経営者）	競争相手の様子	・半導体不足や海外からの輸入部材、建材の遅れに伴い、工事期間の延長などが発生し始めてきた。
	×	一般小売店[書籍]（経営者）	販売量の動き	・前年末は爆発的に売れた商材があったため、今年は販売量が極端に落ち込んでいる。ベストセラーがほとんどなく売上を押し上げる商材に乏しいため、売上に相当なダメージがきている。
	×	スーパー（経営者）	お客様の様子	・原油高に伴い、ガソリン価格、灯油価格が高止まりをしている。なおかつ、原材料の値上げによる食品の値上げが続いているため、日々の生活のなかで節約、儉約志向が更に強まっている。
	×	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルス新規感染者数減少により、10月には景気の上昇も見込めたが、年末年始に向けて新型コロナウイルス新変異株への警戒から人の動きが悪くなってきている。
	×	家電量販店（店長）	来客数の動き	・前年比較で来客数と単価が下がっている。
	×	高級レストラン（経営者）	来客数の動き	・良くなりかけたが、新型コロナウイルス新変異株の関係で急に悪くなってきている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	×	一般レストラン（経営者）	お客様の様子	・エリア内で忘年会向けの応援キャンペーンがあったため、予約がたくさん入り夜の部も飲食店はにぎわった。しかし、業者の話では他のエリアの人も利用できなかったため、市内がにぎわった分他のエリアが多少薄くなったということである。動ける分母はまだまだ少ないようである。
企業 動向 関連 (東北)		金融業（広報担当）	取引先の様子	・県による人流抑制施策が9月に終了して以降、宿泊・観光関連が回復基調にある。原料や部品の調達難が一部業界に影響を与えているが、年末に向けて個人消費の盛り上がりが見られる。
		その他非製造業 〔飲食料品卸売業〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・前年とは異なり帰省需要が回復してきたことによる消費が生まれている。
		農林水産業（従業者）	受注価格や販売価格の動き	・JA出荷分のりんごについて一部が精算されてきたが、前年よりも2割程度高くなっている。
		食料品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・歳暮需要は堅調である。加えて、人の動きが良くなってきた影響で駅、空港の売店の売上もアップし、前年より売上は良くなっている。しかし、原料以外でも資材や物流費のアップが収支的には厳しい。
		食料品製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの新規感染が沈静化している状況で、平日は徐々に、土日はイベントの影響もあって前々年の売上にも劣らない伸びになっている。ギフトや土産品の動きも好調である。
		出版・印刷・同 関連産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・前年比で30%増加、前々年比で100%くらいまで戻ってきているが、本業以外での売上が貢献している。
		金属製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・半導体不足や素材の高騰などの影響が多少あるものの、受注は順調である。
		輸送業（経営者）	受注量や販売量の動き	・12月も売上では前年を上回りそうであり、これで3か月連続で前年を上回ることになる。ただし、前々年比較だと10～12月合計では93%であり、まだまだ景況感は低水準である。
		広告業協会（役員）	受注量や販売量の動き	・12月に入り新規感染者数がほとんどみられない状況と、繁華街に人が戻ってきたことを踏まえて、消費意欲を促す広告出稿が増えてきた。
		広告代理店（経営者）	受注量や販売量の動き	・具体的な受注には至っていないものの、新型コロナウイルスの感染が落ち着いて、業況が上向きになっているようである。
		公認会計士	取引先の様子	・客の月次、決算状況から判断している。サービス業、飲食業、小売業の業績が回復傾向にある。新型コロナウイルスの感染が落ち着いてきて、客足が戻っている。建設業等は一定程度の利益確保をしており、大きな変動はない。全体的な景気はやや良くなっているとみられる。
		食料品製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・3か月前と変わらず、販売量が前年比2～3%減少しており、悪い状況に変わりない。
		出版・印刷・同 関連産業（経営者）	取引先の様子	・受注量の回復、販売量の改善がない状況下で、原価、仕入れコストの価格交渉が先行している。輸送コストの上昇とあいまって売上が伸び悩み、経費負担が重くのしかかっている。
		電気機械器具製造業（企画担当）	取引先の様子	・半導体分野のカスタム製品の開発依頼に大きな変化はなく、標準品の開発周期も従来並みをキープしている。
		電気機械器具製造業（営業担当）	取引先の様子	・取引先との受注量や受注金額に大きな変動がない。
		建設業（従業者）	取引先の様子	・受注は相応にあるが、資材価格の上昇が懸念される。12月下旬からの寒波で工事は滞り気味である。
		通信業（営業担当）	取引先の様子	・客の反応が冷え込んでいるなかで、これからの受注を左右する新規設備投資があり明るい状況にない。
		経営コンサルタント	それ以外	・年末や正月といった季節特有の消費の盛り上がりが見えない。
		その他企業〔企画業〕（経営者）	それ以外	・町内の温泉街への客足が半年前と比較して増加したものの、前月の宿泊予約数からは期待したほどの伸びはみられず、やや低調で安定している。日帰り客はいるものの滞在時間が短く、土産店も少ないことから、財布のひもがなかなか緩まない。
	農林水産業（従業者）	受注価格や販売価格の動き	・米価下落の緊急対策が市や農協等によって発動されたが、それでも価格下落の悪影響を払拭するには全く足りない。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明	
	×	窯業・土石製品製造業（役員）	受注量や販売量の動き	・今年は前年比でほぼ毎月マイナス10%で推移しており、需要の盛り返しがみえない。	
		建設業（従業員）	受注量や販売量の動き	・今月は主だった受注がなかった。	
		コピーサービス業（従業員）	受注量や販売量の動き	・半導体の品不足によりメイン商品の入荷遅れが解決しておらず、軸となる商品がない分苦戦している。	
		その他非製造業 〔飲食料品卸売業〕（経営者）	取引先の様子	・取引先は県内や一部近隣の地場産品を扱っている中小企業や零細企業のスーパーだが、量販店やディスカウントストア、コンビニエンスストア、ドラッグストアの出店で非常に苦慮しているのが現状で、非常に景気が良くないと言っている。	
雇用 関連 (東北)		人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・あらゆる業種、業界で求人意欲が活発化してきている。サービス業、小売業、製造業、塾、物流などで求人動きが出てきている。	
		人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・採用活動は各社活発化している。今まで採用活動を抑えていた小売・飲食領域の企業からも新型コロナウイルスの影響で人員減を行った上で、復活傾向にある市況を見据えての採用が進んでいる。	
		アウトソーシング企業（社員）	それ以外	・来年度に向けて予算要求を自治体にしているが、反応が良いとみられる。	
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	周辺企業の様子	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着き、飲食店・宿泊業を中心に動きがみられる。	
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数が極端に減少している業種がなくなった。厳しかった宿泊飲食サービス業も増加している。	
		学校〔専門学校〕	周辺企業の様子	・新型コロナウイルス新規感染者数も落ち着き、経済全体の活動が回復している。その要因としては、飲食業界や観光業界の活動の回復が大きいようである。	
		人材派遣会社（社員）	周辺企業の様子	・特に変化はなく、この先も良い傾向がみえていない。	
		人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・10月に求人数がピークを迎え、そこからは横ばいである。	
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・求人広告の掲載は前年より若干減少している。その他広告の申込みも停滞感があり、年末の人出の割に広告の動きは鈍い。景気の影響なのか、業界特有の問題のせいなのか判然としない。	
		職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・大型ショッピングセンターの出店や洋上発電工事ににより、求人数が増えている。さらに、作業員の食事や宿泊需要で飲食、宿泊業が好況である。	
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・求人数だけでいえば前年同期を上回り、製造業についてはコロナ禍前の水準に戻りつつあるが、それに応じられる求職者がおらず労働市場が停滞している。職業相談で来所している人の数は夏場よりも減っているものの、企業の採用意欲が高いため就職件数はそれほど下がっていない。	
		民間職業紹介機関（職員）	周辺企業の様子	・前月同様、人材を求める企業からの問合せが定期的にある。	
			*	*	*
		×	-	-	-

3. 北関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (北関東)		スーパー（総務担当）	来客数の動き	・来客数が前年に比べ増加傾向である。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いてきて、当市独自のキャンペーン等もあり、来客数、客単価共に上がってきている。忘年会はまだ少ないものの、その分高単価の弁当等のテイクアウトが出ている。ようやく、コロナ前の水準に近づいている。
		一般レストラン〔居酒屋〕（経営者）	来客数の動き	・少人数ではあるが、宴会数が増えている。
		観光型ホテル（経営者）	来客数の動き	・緊急事態宣言発出時よりはまだ良いというレベルである。ただし、新型コロナウイルス新変異株の影響が、予約件数は止まってきている。2月のGo To Travelキャンペーン再開に影響が出ないことを願っている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		都市型ホテル (総支配人)	来客数の動き	・宿泊は、スポーツ団体を中心に稼働が安定している。料飲部門は、少人数の宴会や会食等が増えてきている。
		通信会社(営業担当)	来客数の動き	・週末を含め、交通量、来店客数共に前年より大幅に増えている。
		商店街(代表者)	来客数の動き	・幼稚園、学校行事や外出が増えたことにより、来客数や売上も増加しているが、一時の勢いはない。
		一般小売店[土産] (経営者)	販売量の動き	・前月同様に、3か月前より売上は良く、新型コロナウイルス以前の2019年度と比較しても、売上達成度が7割弱程度まで改善している。新型コロナウイルス新変異株の市中感染が報道されているが、年末の客の出足は改善傾向にある。
		百貨店(営業担当)	販売量の動き	・新型コロナウイルス新変異株の市中感染が危惧されるが、現時点では感染者数が低水準で推移していることもあり、来客数、売上共に回復基調にある。ただし、前々年の数字には大きく及ばない。
		百貨店(店長)	販売量の動き	・9月末に緊急事態宣言が解除となり、徐々にではあるが売上、来客数共に回復傾向にある。
		コンビニ(経営者)	来客数の動き	・緊急事態宣言等が解除されて、客の波が戻ってきたため、やや良くなっている。
		コンビニ(経営者)	単価の動き	・売上は2万円プラスで前年比104%、来客数は2人プラスの同100%、客単価は63円プラスで同108%となっている。11月中旬から持ち直して、前年を超えてきている。新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いている影響が大きい。客単価の伸びは、商材の値上げによるところが大きい。来客数は前年並みに戻ったが、新型コロナウイルス以前には戻らず、このままりモート出勤は続くと思われるため、回復の見込みは薄い。
		家電量販店(店長)	それ以外	・子育て世代への給付金の配布により、やや良くなっている。
		乗用車販売店 (販売担当)	お客様の様子	・当店は周辺全てが観光地なので、緊急事態宣言が解除されたこともあり、顧客であるホテルやレストラン、ドライブイン等では、人の出入りが激しくなってきた喜んで様子が多く見られる。合わせて当店のサービス入庫や修理関係も増えたので、3か月前と比べると雲泥の差と言ってよいほど良くなっている。
		自動車備品販売店 (経営者)	販売量の動き	・客単価はそれほどでもないが、見積りや販売量がやや良くなっている。
		その他専門店 [靴小売業] (経営者)	お客様の様子	・12月に入って、新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いてきたので、当店のターゲットの客層が動き始めている。しばらく買物をしていられたので周囲も良くなってきている。ただし、若年層は、全体的に収入やパートの勤務時間が減ったり、作物の出来が良くないため、買物に向いていない。
		その他飲食[給食・レストラン] (総務)	お客様の様子	・主要業務の事業所給食事業は安定して推移している。ただし、イベント関連、事業所内の年末年始行事に伴うケータリングやイベント開催に伴う弁当提供等、レストランの忘新年会等の法人需要は戻らない状況が続いている。
		都市型ホテル (支配人)	お客様の様子	・今まで自粛していた企業の会合や祝賀会等の動きが出てきている。客からも「久しぶりに顔を合わせて食事会が行えることを喜んでいる」との声が多数聞こえている。
		旅行代理店(所長)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数の減少並びに県民割の実施により、旅行者数も増加傾向にある。新型コロナウイルス新変異株の感染拡大の懸念はある。
		通信会社(経営者)	販売量の動き	・10月からの新型コロナウイルス収束を踏まえ、年末前から少しずつではあるが受注が増えてきている。
		テーマパーク (職員)	来客数の動き	・時期や行先を変更した学生団体が大幅に増加している。Go To Travelキャンペーンが実施された前年にも迫る来園者数となっている。
		ゴルフ練習場 (経営者)	販売量の動き	・宿泊施設に対して補助金が出ている関係で、人の動きが活発である。
		競輪場(職員)	来客数の動き	・緊急事態宣言が解除されて3か月が経過し、新型コロナウイルス禍以前までには程遠いが、徐々に来場者が戻っている印象がある。
		設計事務所(所長)	来客数の動き	・新規の問合せが来るようになってきている。特に、事業者はアフターコロナを見据えた、新しい取組を考えているようである。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		一般小売店〔精肉〕（経営者）	お客様の様子	・例年のことだが、暮れの気分が出ていない。ボーナスが支給されただろうが、どのように使われているかまだ分からない。新型コロナウイルスの影響で、人の動きがなく、年末売出も控えめで、各町内の餅つき大会やクリスマスイベントも中止が多く、皆の集まる機会が全くない。
		百貨店（店長）	販売量の動き	・来客数は前年から増加しているが、販売点数が伸びていない。一方で、富裕層による高額商材の購買が堅調なため、全体の購買単価は上昇している。今後、来客数や販売点数が増加となれば、景気の上向きを実感できる。
		スーパー（商品部担当）	販売量の動き	・食料品の値上げ等があるものの、客単価、買上点数に大きな変化はなく、来客数の増減が売上の課題になっている。
		衣料品専門店（統括）	販売量の動き	・現状、平日は年末年始の贈答品等の動きがやや戻っている。
		衣料品専門店（販売担当）	来客数の動き	・当店の顧客は高齢者が多いためだと思うが、緊急事態宣言が明けてからも、かなり慎重に見極めているようで、来店頻度が極めて低い。本当に来客ゼロという日もかなり多い。その上、新型コロナウイルス新変異株の話が出てきて、何とも真つ暗である。
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・最近の新車販売では貨物車が売れず、困っている。もちろん、乗用車、軽自動車も新型コロナウイルス禍前と比べると25%程度落ち込んではいない。一方、低価格の中古車販売が少し増えている。整備関連の売上はほぼ横ばいである。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・受注はあり、遅延していた車両の納期も回復傾向になってきているが、遅延も含めて受注残の増加までには至らない。
		乗用車販売店（営業担当）	お客様の様子	・車両購入目的での来店数は若干減っているものの、新型車の投入等で興味を持っている客もいる。
		住関連専門店（店長）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響は、少しずつ改善に向かっているかもしれない。ただし、来客数は横ばい状態が続いており、当面変化しない。
		住関連専門店（仕入担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者が大きく減少し、冷え込みが厳しくなれば季節商材の動きが活発になると予想していたが、思ったように来客数が増えてこない。次の感染拡大の波を警戒している感もあり、少なくともリベンジ消費にはなっていない。
		タクシー（経営者）	お客様の様子	・昼の動きが良かったので、前年同月比25%の増収である。
		通信会社（局長）	来客数の動き	・来客数が横ばいで推移しているが、購買意識は向上している。
		美容室（経営者）	お客様の様子	・客との会話で「新型コロナウイルス禍での生活に慣れて、積極的に外出する気が起こらない。食事も趣味も今の状態で十分に足りている。諦めることが多いことに慣れたので、改めて外に刺激を求めない」という話が聞かれた。新型コロナウイルスの影響は依然大きい。地方では経済の回復を望むというより、冷え切った期間が長引いている。ただし、食料品を扱うスーパー等の人出は多くなったように見受けられる。
		美容室（経営者）	来客数の動き	・首相に、金融資産課税や自社株買いのガイドライン規制を軽々に答弁しないでほしい。株式市場に及ぼす発言の影響は、外相時代とは比べものにならず、下落リスクの要因になっている。
		その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	販売量の動き	・販売、整備、板金塗装部門の売上が、前年比15%減で推移しており、回復の兆しが見えない。
		設計事務所（所長）	お客様の様子	・忘新年会も若干開催され、飲食業は景気が戻ってきているように感じるが、新型コロナウイルス新変異株の感染者が増えていることもあり、景気は変わらない。
		住宅販売会社（経営者）	販売量の動き	・関連産業である建築で資材納品が停滞しているため、販売停止状態となっている。
		住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・相変わらず、街は低迷しており、引き合いや内見はあるが、契約には至らない。まだやはり、新型コロナウイルスの影響で、店が閉店になってしまうのではないかといった不安要素があるために、なかなか契約には至らない状況である。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		その他住宅〔住宅管理・リフォーム〕（営業）	お客様の様子	・新型コロナウイルス新変異株への脅威からか、来訪を敬遠する動きが、また少し出てきている。実際の現場を確認しないと仕事が前に進まない営業スタイルなので、困惑している。そうしたことから、仕事の依頼も停滞しているように感じている。
		家電量販店（営業担当）	販売量の動き	・暖房商材は石油関連が80%、電気暖房は75%と出荷ペースで大きく前年割れしている。映像関連商材も前年比85%と苦戦している。
		一般レストラン（経営者）	それ以外	・またいろいろな物が値上げされたが、個人店ではその都度値上げができない。新型コロナウイルス禍で、値上げをしてなおさら客が離れてしまったら、という心配もある。値上げできない分、利益は減る一方である。
		旅行代理店（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大第6波が懸念されてきたため、申込件数に伸びがない。
		通信会社（総務担当）	販売量の動き	・販路を増やしたにもかかわらず、前年比8割弱の販売にとどまっている。
	x	家電量販店（店員）	販売量の動き	・今月は師走で寒波があったため、例年並みに前月から販売トレンドが上昇している。しかし、前年は特別定額給付金需要で好調に推移したが、今年は前年比90%と振るわず終了している。新型コロナウイルス禍による半導体不足や商材の納入遅れの影響はさほど感じられない。
	x	都市型ホテル（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルス新変異株が発生した途端に、客からのキャンセルが増加し、予約が減少している。
企業 動向 関連 (北関東)		-	-	-
		一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・年内に対応すべき仕事が多く流れてきており、対応に苦慮しているほどである。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・前年の今頃からみれば、受注は1～2割上がっている。ただし、前月同様、部品の入荷状況が悪く、取引先でも物を作りたくても作れないとか、止まったりという状況がしばしば起こっているため、これからは部品次第である。
		広告代理店（営業担当）	取引先の様子	・ホテルの宴会や宿泊がかなり増えている。飲食店の予約が取れないことが多く、客の動きは活発になっている。
		経営コンサルタント	それ以外	・各地の街中や商業施設等には人出があり、人々の外出を伴う消費活動が動き出した感がある。飲食店等にも多少、客が出入りしているが、混み出したというほどではない。
		社会保険労務士	取引先の様子	・業種によりばらつきはあるが、以前よりは回復してきている。
		窯業・土石製品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・製造、販売共に順調に推移している。
		輸送用機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・現在、取引先が十社ほどあるが、受注量が多い会社、少ない会社といろいろあり、総じて余り変わりはない。
		輸送業（営業担当）	取引先の様子	・今月は例年並みの物量を確保している。しかし、石油価格高騰もあり、暖房器具は電気ストーブ、カーペット、オイルヒーター等の電気を使う家電製品の物量が増えている。燃料高やディーゼルエンジンに必要な尿素水の値上がり等により、遠方車両等の確保については15%ほど手配運賃が値上がりしており、負担も増えている。
		その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・引き合い、商談件数は増加傾向にあるが、特段の変化はみられない。
		化学工業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・主要原材料価格の大幅な上昇があり、取引先に価格転嫁の依頼をしている状況で、非常に悩ましく、やや悪くなっている。
		金属製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注量は新型コロナウイルス禍以前の7割止まりとなっている。
	不動産業（管理担当）	受注量や販売量の動き	・取引の解消やテナントの退去があったため、売上が減少している。燃料費や資材価格が上昇しているため、利益を圧迫している。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	x	建設業（開発担当）	受注量や販売量の動き	・公共工事主体で売上の95%を占める建設業を営んでいる。現与党政権誕生後、公共工事は順調に推移している。前政権、現政権共に順調で、業界としては大変有り難い。ただし、政権与党議員の不祥事や大手旅行会社の子会社のGo To Travelキャンペーンの不正受給など、日本人の倫理観も地に落ちた気がしており、厳重な処分や責任を取ってほしいと思っている。一連の不祥事は、現与党政権誕生以降起きている感じがしている。今期の公共工事は前年比86%の発注で、これは前期までの災害復旧工事が終了した結果である。当社も前期比10%減の受注と厳しい状況である。
雇用 関連 (北関東)		-	-	-
		人材派遣会社（社員）	周辺企業の様子	・当社顧客の宿泊施設関係の稼働も、かなり持ち直してきている。求人の声掛けをしてくれる客や新規の客もちらほらあるが、人手不足で対応できず、1～2件は断ったりしている。新型コロナウイルスは落ち着いてきているが、ここに来て、新型コロナウイルス新変異株が出てきて、先行きは不透明である。
		人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・小売業や製造業を中心に、求人数が増加している。特に、製造業は増産のため、各工程で人員が不足している。
		人材派遣会社（管理担当）	求人数の動き	・サービス業の派遣依頼が増加している。特に、都心の求人数は増加している。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・飲食店、小売、食品卸業からの求人が増加している。
		学校〔専門学校〕（副校長）	周辺企業の様子	・新型コロナウイルスの影響が少なくなり、経済活動が活発になったことで、様々な分野の企業が好循環になってきている。
		人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・工業生産等は全般的に動きが鈍っている。輸出も非常に円安なので厳しいようである。また、住宅等の外装、増改築等による改修は横並びである。衣料品、生鮮食料品はクリスマス、年末商戦、年始もあるので、動きは順調である。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・自動車関連事業所では世界的な半導体不足と物流遅延の影響等で、前月末に受注が大幅に減少し、月初は作業予定が余り入らない状況で、工場の一部稼働が停止していた。その後、月の途中からは短納期での受注に対応するため、残業や休日出勤を余儀なくされている。今後も先行き不透明な状況は続く。
	x	*	*	*

4. 南関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (南関東)		商店街（代表者）	それ以外	・クレジットカードの取扱高は確実に回復してきている。リベンジ消費までは至っていないと思うが、飲食以外の物販が良いのは確かである。来街者も、週末を中心に新型コロナウイルス発生前より多く来てくれている。世の中のアミューズメントが減っている分、当地域のような屋外型のショッピングや散歩のスタイルに移ってきているのかもしれない（東京都）。
		百貨店（販売促進担当）	お客様の様子	・10月以降、新型コロナウイルス感染者数の減少に合わせて来客数が回復し、10～12月にかけて月ごとに増加率及び売上が伸長している。リモートワークからオフィスへの回帰からか、アパレルではスーツ等の通勤需要が回復している。一方、前年から引き続き、巣籠り需要としておせち等も好調に推移している。
		百貨店（店長）	来客数の動き	・緊急事態宣言が解除されてから人流が一定程度回復している。防寒商材だけでなく、きちんとしたところに着ていく服なども、2年ぶりの購入というキーワードが目立っている。おせち、クリスマスケーキ等、イエナカ需要に対応した商材も好調に推移している（東京都）。
		百貨店（管理担当）	来客数の動き	・来客数が増え、売場にも活気が出てきている。食料品の販売額も増えている（東京都）。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		コンビニ（従業員）	単価の動き	・客の消費単価が上がったこと、また、自粛生活から解放され、1人当たりの買上点数や金額がアップしていることなどが挙げられる。
		高級レストラン（役員）	来客数の動き	・11月より引き続き、クリスマスや年末のイベント感もあり、予約が伸びている。酒類提供が可能になったことによる単価上昇で、来客数、売上共に増加している。ただし、回復傾向とはいえソーシャルディスタンス確保のための席数削減が継続していること、また、急な受注アップにより人員が不足し、労働時間との兼ね合いから、予約、注文を受けきれない日程も出ている（東京都）。
		一般レストラン（経営者）	単価の動き	・来客数は若干増えている程度だが、1人当たりの客単価が非常に上がっている。数少ない外食なので、よりおいしい物を食べるというような傾向が強まっているように感じる（東京都）。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・大人数の宴会は入っていないが、8人以下の細々とした予約はとても多い。前年12月に比べると宴会の数はかなり増えている（東京都）。
		都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・10月1日からの緊急事態宣言解除により、12月も今のうちにとの需要に支えられ、週末を中心にレストランは満席、宿泊は高稼働が続いている。平日はやや落ちるものの、販売量は3か月前と比べて大幅に増えており、急激な売上回復にオペレーションが追い付かず、売止めをする日が発生している。
		都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・12月に入り観光需要が急増している。クリスマス需要も高く、宿泊、料飲共に潤っている。新型コロナウイルス新変異株の影響もほとんどなく、感染者数の減少が大きく寄与している。
		旅行代理店（販売促進担当）	お客様の様子	・今月は、まず教育旅行関係が順調に推移している。また、国内旅行においては、年末を中心に個人の動きが活発で、一部には満館のところもあると聞いており、順調に回復している。ただし、海外については相変わらずである（東京都）。
		一般小売店〔和菓子〕（経営者）	販売量の動き	・前年に比べると数字的には良くなっている。ただし、新型コロナウイルス発生前と比べると、まだまだ追い付いていない。
		一般小売店〔祭用品〕（経営者）	来客数の動き	・年末になって若干消費が増え、需要が出てきている。
		一般小売店〔酒類〕（経営者）	お客様の様子	・12月に入り、かなり人が動いているように感じる。自分用の商品を購入する客も増えてきている。
		一般小売店〔茶〕（営業担当）	販売量の動き	・来客数、売上共に増加している。特に、配送でのギフト需要が良い。
		一般小売店〔茶〕（営業担当）	販売量の動き	・今まで止まっていたところからの注文が、少しずつではあるが戻ってきている。しかし、新規の客は増えてこない（東京都）。
		百貨店（売場主任）	お客様の様子	・最繁忙期に入り、クリスマス、おせち等の受注件数も好調に推移している。新型コロナウイルス感染者数の減少に伴い、週末には家族連れでの来店も増加している。家族で食事をして帰るなど、買い回りもみられ、滞留時間も大幅に増えている（東京都）。
		百貨店（総務担当）	来客数の動き	・身の回り品、衣料品等が堅調に推移している。一部の高額品の動きもみられ、やや良くなっている。
		百貨店（総務担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染状況がやや落ち着いているなかで、食料品等、生活必需品以外のファッション関連商材の動きが若干良くなっている。客の消費行動自体は慎重であることに変わりはないものの、意識の面で良化の兆しがみられる（東京都）。
		百貨店（総務担当）	来客数の動き	・ワクチン接種率の高まりなどもあり、新型コロナウイルス感染者数も大きく減少しているため、消費者の安心感が高まり、来客数の増加につながっている（東京都）。
		百貨店（広報担当）	来客数の動き	・9月の緊急事態宣言下に比べると、足元では着実に来客数が伸長している。新型コロナウイルス感染者数が低水準で推移していることを受けて自粛ムードが和らいでいることが大きいとみている。また、これまで動きが鈍かった中間層の消費者も、こだわりの物への消費意欲が旺盛になっている動きがみられる（東京都）。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		百貨店（営業担当）	販売量の動き	・今月は新型コロナウイルス感染者数の減少により、来客数、売上共に増加している。また、緊急事態宣言の解除により短縮営業を止め、通常営業に切り替えている。クリスマス商戦は新型コロナウイルス発生前まで売上が回復しており、年未年始商戦にも期待している（東京都）。
		百貨店（営業担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスが一段落したこと、11月～年末にかけての消費気運の高まる時期が重なり、来客数や購入点数、売上は2019年度に近づきつつあるが、それも新型コロナウイルス新変異株の動向や、3回目のワクチン接種の進捗により左右されると感じている。ただし、現時点においては、前年来の反動消費で高額品ばかりが売れていた夏とは異なり、一般客も買物に来ており、購買アイテムも広がりを見せていることから、堅調に推移している（東京都）。
		百貨店（販売促進担当）	来客数の動き	・お歳暮商戦は前年を上回り、食品フロアを中心に店内がにぎわう状況が増えている（東京都）。
		百貨店（経営企画担当）	来客数の動き	・緊急事態宣言の解除後から徐々に売上が戻りつつあり、12月に入って、今まで苦戦していた衣料品関連の動きも良くなっている。例年のお歳暮ギフトの減少傾向は変わらないが、インターネットへの移行が進み、来店による購入は更に減少傾向にある。クリスマス前後の食料品を始めとするにぎわいが、以前に比べると戻ってきているように感じる（東京都）。
		百貨店（財務担当）	販売量の動き	・緊急事態宣言が解除され、クリスマス、年末を迎えるなかで、販売量が上向いている（東京都）。
		百貨店（企画宣伝担当）	来客数の動き	・来客数が少しずつ増えているが、新型コロナウイルス発生前にはまだ届いていない。
		スーパー（総務担当）	お客様の様子	・店全体の売上としては、衣料品、住まいの品、食品全体を通して、前年よりも大体1～2%良くなっている。来客数は前年並みで、客単価が上がっていることで全体の売上を押し上げている。日用品が伸び悩んでいるなか、外出、おしゃれ、ちょっと良い物の売上が伸びてきている。
		スーパー（総務担当）	お客様の様子	・外食やレジャーなど、人が外に出始めている。
		コンビニ（経営者）	単価の動き	・年末のため、単価の高い商材が多く、やや良くなっている。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・近隣でのイベントの集まりも増えてきている。売上も102%で推移している。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・徐々に客が普通の生活を取り戻してきて、来客数が少し伸びている。
		コンビニ（商品開発担当）	販売量の動き	・セールに対する反応が確実に良くなってきている（東京都）。
		衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・実用衣料品の肌着や靴下は新型コロナウイルス発生前に比べてもよく売れている。外出着は、新型コロナウイルス発生前には届いていないものの、前年比では良くなっている。今月は年金支給後が特に良い。
		衣料品専門店（店長）	販売量の動き	・10月1日の緊急事態宣言解除以降、事業の柱の一つであるドレス事業の回復及びECビジネスの好調により、前々年の実績まで業績が回復している（東京都）。
		衣料品専門店（役員）	来客数の動き	・客足が戻ってきてつつある。前年同時期に比べると大分増えている。
		家電量販店（従業員）	来客数の動き	・来客数は8割程度であり、年末の忙しさが無い。
		その他小売 [ショッピングセンター]（統括）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染状況次第で動きが一変する（東京都）。
		その他小売 [生鮮魚介卸売]（営業）	販売量の動き	・緊急事態宣言が解除になって、需要が幾らか戻っている（東京都）。
		高級レストラン（営業担当）	来客数の動き	・緊急事態宣言が解除され、レストラン部門から緩やかに回復の兆しを感じるが、当社のメインである法人関連の利用及び大人数での利用はなく、売上としては前々年比47.1%、前年比148.7%と、非常に厳しい状況が続いている（東京都）。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		高級レストラン (仕入担当)	来客数の動き	・各レストランの来客数がかなり戻ってきている。ただし、大口の会食や宴会がないため、まだまだ厳しい(東京都)。
		一般レストラン (経営者)	販売量の動き	・3か月前と比べたら良くなっている。12月に入り、新型コロナウイルスもある程度収束し、普通の営業ができるようになったので、客入りが増え、かなり忙しくなっている。しかし、ケータリングはほとんど入らないので、その分、売上が少なくなっているが、店の売上全体では前年比10%くらい増えているので、3か月前よりは十分良くなっている。
		一般レストラン (経営者)	競争相手の様子	・同業各店、ランチは回復傾向にある。夜の営業に関してはまちまちで、20~30代の若年層対象の店は、以前のようににぎわいを見せている(東京都)。
		一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・3か月前は緊急事態宣言や時短営業等の協力要請、制限があったなかでの数字であり、それとの比較を景気と表現して良いのかはやや首をかしげている。3か月前と比べれば、緊急事態宣言も解除され、通常営業をしているので、多少は客が来るが、前々年と比べると全く良くない。
		一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・3か月前に比べれば、飲食店での飲酒ができるようになったので、夜も若干ではあるが客が戻ってきている。ただし、新型コロナウイルス発生前のようには戻っていない。
		一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・飲食店を経営しているが、飲食店の全てで来客数が戻っているとは思わない。新型コロナウイルスの感染状況が少し落ち着いていることと、年末ということもあり、外食する人が一気に増えているが、店によって勝負負けがはっきりしてきている。今後も客に良い物を提供していくに当たっては、外食に限らず全ての物が本物志向に変化していく。それにこたえられる企業だけが生き残れると思うので、景気の好不況とは関係ない(東京都)。
		その他飲食[居酒屋] (経営者)	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響も収まり、街に人出が増加し、予約も増えている(東京都)。
		その他飲食[カフェ] (経営者)	来客数の動き	・飲食する客の数が少し良くなってきてはいるものの、細長い店のため、ドアを全開にして換気しているため伸びきれない(東京都)。
		その他飲食[給食・レストラン] (役員)	来客数の動き	・今年度後半になり、来客数が新型コロナウイルス発生前の水準に戻り、かつ安定して推移していることから、ローコスト体制に切り替えた準備が奏功し、利益が戻り黒字転換している(東京都)。
		都市型ホテル (経営者)	来客数の動き	・緊急事態宣言が解除されて、ようやく新型コロナウイルス感染者数も下火になってきたことで、個人客については一定の戻り、回復があるが、いわゆる企業の利用、法人の忘年会などの宴会利用はほぼ皆無である。全体的には回復の兆しが見えるが、やはり新型コロナウイルスに対する用心から、企業の利用はなかなか難しい状況が続いている。
		旅行代理店(従業員)	販売量の動き	・新型コロナウイルスが落ち着いてきているため、客が動いている(東京都)。
		旅行代理店(従業員)	販売量の動き	・9月は緊急事態宣言中で実施案件が皆無であった。その時期と比べれば、実施案件があるので、やや良くなっている。
		旅行代理店(営業担当)	販売量の動き	・新型コロナウイルス新変異株の感染拡大が懸念されているとはいえ、年末年始の国内旅行需要は、前年同期と比較して増加している。
		タクシー運転手	お客様の様子	・ようやく客が少しずつ戻ってきている。12月でもあり、クリスマスや忘年会が、小規模だが盛り上がっているようである。終電までは人の動きも良く、利用もあるので助かっている。深夜は以前と変わらず利用が少ない。
		タクシー運転手	来客数の動き	・新型コロナウイルスが今の感染者数であれば良いが、新型コロナウイルス新変異株の影響を受けて感染者数が増加した場合、また元に戻ってしまう(東京都)。
		タクシー運転手	お客様の様子	・12月に入り、明らかに昼間のサラリーマン客が増えている。深夜以外は客が増えていると話す仲間が多い(東京都)。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		タクシー（団体役員）	来客数の動き	・緊急事態宣言は解除されたが、今後の新型コロナウイルス新変異株の感染拡大が心配である。
		通信会社（営業担当）	販売量の動き	・転入居に伴う人の動きに回復の兆しがあり、インターネット回線を軸とする契約数にも回復の見込みが出てきている。
		通信会社（局長）	販売量の動き	・緊急事態宣言が解除されてから、契約数が上向き傾向にある（東京都）。
		通信会社（経営企画担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルス感染が落ち着きを見せていることにより、12月は契約数が増加しており、回復を感じられる。11月頃から少しずつ回復傾向になっている（東京都）。
		通信会社（営業担当）	お客様の様子	・人が動き出しているのが、当社への問合せ件数が増え、若干ではあるが契約数も増えてきている（東京都）。
		通信会社（局長）	お客様の様子	・競合他社も活性化している。
		観光名所（職員）	来客数の動き	・10月以降、徐々に客足が戻りつつあるが、各個人の収入面ではその反動はまだないので、個人レベルでは回復しているとは思えない（東京都）。
		ゴルフ場（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染者数が減っているため、行動が活発化している。また、人とのリアルなつながりを求めた消費が活発化し始めている。
		ゴルフ場（経理担当）	来客数の動き	・降水量が少なく、12月にしては比較的温暖な気候に恵まれ、高稼働率で推移している。企業や団体の名を冠したコンペや法人接待需要は徐々に回復しつつあるが、新型コロナウイルス発生前の水準に戻ったとはいえない。会員制ゴルフ場においては、来場客の中心はメンバーであり、稼働率が高止まりしても収益性は改善していない。旺盛なプレー意欲を見せるゴルファーはゴルフ会員権を志向し、相場は上昇基調にある。
		パチンコ店（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルス新変異株の感染拡大が懸念されるなか、関東においては現在感染者数が2けた台を維持しているため、年末年始に向けて客足が上向いてきている。
		競輪場（職員）	来客数の動き	・ターゲットや戦略を変更しているため、当初の想定よりは来客数は少ない。しかしながら、チケットを購入してまでも来場する客が一定数いることを考えると、景気の戻りを感じている。
		その他レジャー施設 [ボウリング場]（支配人）	来客数の動き	・予約や年末の客の利用が多くなってきている（東京都）。
		その他サービス [福祉輸送]（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルス新変異株が出現し、販売量に関してはまだ控えめだが、3か月前よりは少し良くなっているような気がする（東京都）。
		設計事務所（経営者）	お客様の様子	・新しい案件はないが、今あるプロジェクトの中で社内ミーティングの数が増え、忙しくなっている。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・最近、商店街の人通りが少しずつ増えてきているが、余り積極的に物を買うというよりも、ここにきてまた新型コロナウイルス新変異株が増えてきているため、慎重になっているように見受けられる。
		一般小売店 [家電]（経理担当）	販売量の動き	・年末ではあるが、テレビの動きはぼつぼつと入っている。工事関係は忙しく、年内は一杯である。エアコンの動きは比較的良い。冷凍庫も売れているが、商材の仕入れが間に合わない状況である。
		一般小売店 [文房具]（経営者）	来客数の動き	・3か月前と比較すると来客数はやや増加しているが、客単価が低く、売上の増加になかなかつながらない（東京都）。
		一般小売店 [眼鏡]（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルス新変異株の影響が、11月と比べて売上は余り変わっていない。感染者数はやや増えている。
		一般小売店 [傘]（店長）	来客数の動き	・依然として客足が戻らない。
		一般小売店 [生花]（店員）	単価の動き	・まだまだ新型コロナウイルスの影響がある。世の中も暗く、新型コロナウイルスからまだ脱出できていないし、沈んでしまっている（東京都）。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		一般小売店〔文具〕（販売企画担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響もあるが、12月はある程度落ち着いていたので、それほど増減はない。11月も人数的に多いとか少ないということもなかったため、いつもどおりの年末である。ただし、客の動向として、夕方、夜遅くは全く人が来ないというような新たな現象が起きている。
		一般小売店〔書店〕（営業担当）	販売量の動き	・制限が続いているなかでも、引き続き年度末用の受注が続いている（東京都）。
		百貨店（販売促進担当）	来客数の動き	・前年は超えているが、思ったとおりには戻っていない（東京都）。
		百貨店（店長）	販売量の動き	・12月上旬までは来客数、販売量共に回復基調であったが、懸念材料として新型コロナウイルス新変異株があり、今後失速する可能性がある。
		スーパー（販売担当）	単価の動き	・競合との価格競争があり、重点商材の単価が下がる傾向にある。客の買上点数は前年を上回っているが、単価が下がっている分、客1人当たりの買上額合計が前年になかなか届かない状況が続いている（東京都）。
		スーパー（経営者）	販売量の動き	・客の買上点数が少し減っている。やはり節約志向というか、なるべく必要な物だけを買おうという意識が表れているのではないかと。加えて、相次ぐ値上げ、新型コロナウイルスの影響もある。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・客は必要な物以外は買わないため、買上点数が前年を大きく下回っている。買上点数が落ちるということは、当然客単価も落ちるので、数字的には少々厳しくなっている（東京都）。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・前年は新型コロナウイルス禍で外出自体が見送られていたが、今年はかなり緩和されていることもあり、売上は前年比1割ほど落ちている。
		スーパー（販売担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染状況は小康状態だが、新型コロナウイルス新変異株の市中感染が増加傾向にあり、まだまだ以前の社会環境には程遠く、将来への不安が景気回復の足かせになっている。
		コンビニ（経営者）	お客様の様子	・クリスマス、年末年始用品の売上は減少したが、冷凍食品を始め日用品の売上は増加している。客の動向に変化はあるものの、景気の変化は感じられない。
		コンビニ（経営者）	販売量の動き	・クリスマス需要で一時的に売上が伸びたが、12月20日頃までは前年を割っている。クリスマス及び正月を過ぎると、また売上が減少するのではないかと心配している。また、新型コロナウイルス新変異株の拡大予想も懸念材料である。
		コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染者数の増加傾向が落ち着いて、少し客の戻りを感じる。ただし、前年並みくらいの売上しかなく、本格的な戻りには遠い印象である（東京都）。
		衣料品専門店（従業員）	お客様の様子	・客単価がそれほど上がらず、来客数もさほど変わらない。
		家電量販店（店長）	販売量の動き	・販売額が回復せず、業界全体が落ち込んでいる。ボーナスが減少した企業や官公庁が多く、消費に向かう傾向にならないのが要因である。
		家電量販店（店長）	お客様の様子	・高単価商材に動きが出てきており、決して悪いわけではない。必需品を中心に手堅く推移している（東京都）。
		家電量販店（経営企画担当）	販売量の動き	・12月に入り、新型コロナウイルス禍での消費動向は、前月とほぼ同様の動きとなっており、前年割れの水準が続いている。新型コロナウイルス新変異株に対する警戒も強く、安心して買物ができる雰囲気ではないということだと思われる（東京都）。
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・半導体不足と海外からの部品供給が遅延している影響で、新車の納入が非常に遅れている。
		乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・地区的な問題なのか、販売量が例年より低迷している。
		乗用車販売店（販売担当）	販売量の動き	・新車の売行きはそこそこあるが、世界的な半導体不足の影響でナビ等の取付けができないとか、新車自体の生産も遅れているため、注文をもらっても納車ができず、結果的に売上に結び付いていない。やや悪い状態が続いている（東京都）。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		乗用車販売店 (総務担当)	来客数の動き	・ボーナス月ではあるものの、客の動向が鈍化している。また、半導体不足の影響で車ができあがってこないの、売上に繋がらない。
		乗用車販売店 (渉外担当)	販売量の動き	・自動車の生産停滞の影響が出ている。
		乗用車販売店 (店長代行)	販売量の動き	・前々年、前年より販売台数がかなり減少している(東京都)。
		その他専門店 [ドラッグストア] (経営者)	来客数の動き	・少し人流が戻ってきているが、来店回数が減り、財布のひもが固くなっている。
		その他専門店 [貴金属](統括)	販売量の動き	・3か月前と比較すると人の流れが多くなってきているが、販売量の回復には繋がっていない(東京都)。
		その他専門店 [ガソリンスタンド](団体役員)	販売量の動き	・新型コロナウイルスは小康状態を保っているが、原油高に伴う価格高騰の影響もあり、売上は余り変化がない(東京都)。
		一般レストラン (経営者)	販売量の動き	・3か月前の9月1~28日の前年比は、売上24.96%、来客数27.7%である。9月は5店舗中4店舗が休業状態で、今月12月は全店営業している。12月1~26日の前年比は、売上87.8%、来客数87.1%となっている(東京都)。
		一般レストラン (スタッフ)	お客様の様子	・需要、供給共に大きな変動を感じない。
		旅行代理店(経営者)	単価の動き	・また新型コロナウイルス新変異株が出てしまい、市中感染が広がりがつあるので、客が旅行もできるだけ近いところまでと考えており、単価についてもかなり安いところを希望している。
		旅行代理店(従業員)	販売量の動き	・新型コロナウイルス感染状況の好転の兆しが見え始め、海外渡航も再開の動きが見えていた矢先、突然の新型コロナウイルス新変異株の流行となり、全く読めなくなっている。国内旅行も、せつかくの年末年始だがキャンセルが出ており、影響が出ている(東京都)。
		旅行代理店(営業担当)	お客様の様子	・新型コロナウイルス新変異株の影響か、旅行需要が盛り上がらない(東京都)。
		タクシー運転手	それ以外	・昨今、スマートフォンの配車アプリが多くなっている。ほとんどが近距離だが、交通の便が悪いところでは気軽に呼べるので、大分利用者が増えている。年末に入って忘年会の声がかかえず、新型コロナウイルス発生前と比べると世の中がひっそりとした感じが否めない。前年と比べれば多少タクシー利用客が増えている。年末29~30日は深夜0時を過ぎてから空車が少なくなり、道路が帰宅のためにタクシーを探す人で混乱していた(東京都)。
		通信会社(経営者)	お客様の様子	・12月の客からの問合せ件数は、前月比ではほぼ横ばいだが、前年同月と比べると戸建て60%、集合住宅50%と、客からの動きは鈍くなっている。新型コロナウイルス禍による訪問拒否や営業キャンセルの増加はないものの、営業は全般的に落ち着いてしまっている(東京都)。
		通信会社(経営者)	販売量の動き	・受注している案件の機器納品ができない状況が続いている(東京都)。
		通信会社(営業担当)	お客様の様子	・新規申込み、コース変更共に、必要最小限の内容を選択する傾向は変わらない。
		通信会社(経理担当)	単価の動き	・マンションのインターネットサービスで値下げ競争が続いているため、客単価が下がり続けている。値下げしても契約数は増えていない。
		通信会社(総務担当)	お客様の様子	・新型コロナウイルス感染状況の改善傾向が続き、訪問営業等の機会が徐々に回復しつつある(東京都)。
		その他サービス [保険代理店] (経営者)	単価の動き	・客の購入単価は変わらない。まだまだ景気に影響があり、不透明である。
		設計事務所(経営者)	お客様の様子	・仕事量は3か月前とほぼ同じである。
		設計事務所(所長)	お客様の様子	・官庁の仕事はやっていない上、暮れということもあり、挨拶のみで仕事につながる話はほとんどなく、コンサルタント的な話もない(東京都)。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		住宅販売会社 (経営者)	来客数の動き	・当社は不動産ディベロッパー業と総合建設業である。当社が都内と関東近郊の保養地などに所有しているホテルの運営状態が非常に悪く、規定の賃料を受け取れていない。来年、Go To Travelキャンペーンが再開されることを期待している。また、住宅の売行きも良くなり、工事請負業も少なくなっている。
		住宅販売会社 (従業員)	販売量の動き	・受注量は前年同期比、前期比共に特に増減はない。
		その他住宅[住宅資材] (営業)	販売量の動き	・建材の荷動きは良くなってきているが、需要期を考慮すると例年並みである(東京都)。
		一般小売店[家電] (経理担当)	来客数の動き	・例年に比べて来客数が少ない。新型コロナウイルスの影響もあるかもしれないが、インターネットによる買物が増えているためである。
		スーパー(営業担当)	単価の動き	・年末商材は何とか稼働しているものの、内食化傾向が相当薄らいできているため、販売量、客単価共に落ち込んできているのが現状である。したがって、売上も相対的に落ち込み始めている(東京都)。
		スーパー(仕入担当)	来客数の動き	・緊急事態宣言明けの10月以降は人流が戻り、来店頻度が減少している。
		コンビニ(経営者)	来客数の動き	・新型コロナウイルス再流行の懸念からか、来客数が減っている(東京都)。
		コンビニ(経営者)	販売量の動き	・客はそのとき必要な物、例えば牛乳なら一番小さいパックを1つだけ、というように、購入する数量が減っている。
		乗用車販売店 (経営者)	販売量の動き	・自動車の整備は順調に入っているが、販売が余り芳しくない。
		住関連専門店 (統括)	販売量の動き	・来客数は増えてきているが、成約件数はまだまだ伸び悩んでいる。
		その他専門店 [ドラッグストア] (経営者)	お客様の様子	・客の買上点数が、ふだんは2点くらい買って行くのが1点しか買わないといったように、販売量が減っている。
		一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・新型コロナウイルス新変異株の流行が心配されること、数年に一度の大寒気が入ってきていること、今後多くの分野での値上げが予想されることから、急に財布のひもが固くなったのではないかと。
		旅行代理店(従業員)	お客様の様子	・新型コロナウイルス新変異株の感染拡大による影響で、申込みが減少する(東京都)。
		通信会社(社員)	お客様の様子	・番組の打ち切りが続いている。大手企業からの失注も続いているが、リスタートの準備と思われる計画の見直しも行われている(東京都)。
		通信会社(社員)	販売量の動き	・格安スマートフォンへの乗換えが一巡したのか、販売店、直販共に契約数が落ち込んでいる(東京都)。
		通信会社(営業担当)	販売量の動き	・今月に入って、全てのサービスで前年の数字を大きく割り込む日が続いている。様々な施策を打っているが、回復が見込めない。
		通信会社(管理担当)	お客様の様子	・新型コロナウイルス感染収束の見通しが立っているようで立っていないのが現状である。一時的な新規感染者数の減少で外食や飲食などは増えているが、余暇に対する消費意欲はここ数年の状況から変化がみられず、いまだに閉塞感がある。
		ゴルフ場(経営者)	お客様の様子	・緊急事態宣言が解除され、夜の街に客の足が向かうことで、夜間の来場者数が減少している。
		設計事務所(経営者)	それ以外	・新型コロナウイルスが少し収まってきたかと思ったら、新型コロナウイルス新変異株の感染者数が増えてしまい、この先どう営業を展開していけば良いか判断がつかない。なかなか客のところへ訪問することもできず、非常に困っている。また、行政の仕事も競争が激しくて取りにくいに行き詰まっており、金額も下がっていて、先が見えない。
		設計事務所(所長)	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響が続くなかで、更にまた新型コロナウイルス新変異株の感染が拡大して、非常に景気が下向いている。
		設計事務所(職員)	販売量の動き	・過去2年間で比べると、ここ3か月の受注が伸び悩んでいる(東京都)。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		住宅販売会社 (従業員)	販売量の動き	・今月の販売量は目標数字の約87%となり、やや悪い。3か月前と比べても約15%減少しており、やや悪くなっている。10～11月は客の反響数、来場者数、商談数いずれも減っていたが、12月は反響数、来場数が少し回復してきている。こどもみらい住宅支援事業の創設や税制改正のニュースで、客の動きが出てきたのではない。
		住宅販売会社 (従業員)	販売量の動き	・受注量が例年に比べて減っている。
		その他住宅[住宅管理・リフォーム](経営者)	お客様の様子	・例年この時期は2～3か月先の話が来ていることが多いが、やはり新型コロナウイルスの影響だけでなく、なかなか厳しい状態が続いているので、今年はそのような話もほとんどない。今後が大変心配である。
	×	一般小売店[家具](経営者)	来客数の動き	・毎年暮れになると来客数が増えてくるが、今年是非常に厳しい。来客数が少なく、景気は良くない。物価や当社の仕入価格がかなり上がっているため、やや悪くなっている(東京都)。
	×	一般小売店[食料雑貨](経営者)	来客数の動き	・オーバーストアであることと、デフレ経済である。
	×	乗用車販売店(営業担当)	来客数の動き	・来客数がかなり悪く、厳しい(東京都)。
	×	ゴルフ場(従業員)	それ以外	・終息の見えない新型コロナウイルス感染症は、落ち着いたかと思うと新型コロナウイルス新変異株が見つかり、活動の自粛から解放されない。このような状況では、景気は悪化していると思えない。
	×	美容室(経営者)	来客数の動き	・例年の暮れと比べると、客の来店頻度が鈍っている。
	×	その他サービス[フィットネスクラブ](マネージャー)	それ以外	・新型コロナウイルスによる影響がある(東京都)。
企業 動向 関連 (南関東)		食料品製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・緊急事態宣言の解除以降、急激に回復している(東京都)。
		輸送業(経営者)	受注量や販売量の動き	・物流の停滞によってバブル景気状態である(東京都)。
		食料品製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・年末の売上が徐々に戻ってきている。年明けの注文も入ってきているが、新型コロナウイルス発生前までにはまだ至らない。
		出版・印刷・同 関連産業(所長)	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスによる規制が緩和され、集客イベント等の動きが活発になり、案件が多々動き出している。
		出版・印刷・同 関連産業(営業担当)	受注量や販売量の動き	・印鑑、ゴム印、名刺印刷をしている。店売りで、法人の納品の仕事もやっている。今月は、会社の設立印は3本で通常並みだが、ふだんは大体2万円前後のところ、1本は5万5000円くらいの商品が出たので良かった。注文してくれたのは個人工務店を法人化した客である(東京都)。
		輸送用機械器具 製造業(総務担当)	取引先の様子	・自動車メーカーも、海外での部品調達が安定し、増産している。
		通信業(経営者)	受注量や販売量の動き	・広告事業のため、景気が良い会社の案件を行っていると感じる(東京都)。
		通信業(広報担当)	受注量や販売量の動き	・前月から前年同月並みまで改善している(東京都)。
		金融業(役員)	取引先の様子	・特に不動産市況については、商品物件、賃貸物件共に活発な動きで、良好に推移している。
		不動産業(従業員)	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染が収まりつつあり、観光需要が復活し始めている(東京都)。
		経営コンサルタント	取引先の様子	・新型コロナウイルスが落ち着き、店舗等の来客数も上向している。
		税理士	取引先の様子	・新型コロナウイルス新変異株の市中感染の情報は気になるが、感染拡大までにはまだ時間がある様子で、少数での会食は進んでいる。年末商戦も活発で、デパートなどの人出は新型コロナウイルス発生前と変わらないようである。株価も好調で良い材料である。
		その他サービス業[映像制作](経営者)	受注量や販売量の動き	・レギュラーの仕事が少し戻ってきていることと、新規の発注があったことは明るい材料ではあるが、新型コロナウイルス発生前の発注にはまだ全く及ばない(東京都)。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		その他サービス業〔ソフト開発〕（経営者）	競争相手の様子	・最近受注量が増加していると聞いている（東京都）。
		その他サービス業〔情報サービス〕（従業員）	受注量や販売量の動き	・年末に向けて、若干ではあるが上向き傾向にある。
		出版・印刷・関連産業（経営者）	それ以外	・新型コロナウイルス感染拡大を受けて、イベント関連のポスター、冊子制作等がキャンセルされるなど、事業環境が悪化している。少しずつ戻ってきてはいるが、まだ光が見えてこない。
		化学工業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・人流が戻り、販促雑貨品の動きに多少回復がみられる。年末の企業カレンダーや手帳は減少している。
		プラスチック製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・世の中が動き出したいようにも思えるが、諸物価の値上がりと半導体の不足等で、なかなか物が入ってこない、動かない現状なので、余り変化はない。
		プラスチック製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・化粧品容器、特に口紅容器の受注は相変わらず低迷しているが、医療品容器に関しては、東南アジアの工場が稼働し始めて、少しではあるが受注が入っている。
		金属製品製造業（経営者）	取引先の様子	・従来の新型コロナウイルスから新型コロナウイルス新変異株へと影響が続いており、設備投資は少ない。受けた仕事をできるだけ早く終わらせ、次の仕事の確保に向けた営業活動に力を入れて頑張るしかない。
		金属製品製造業（経営者）	取引先の様子	・来年度の生産計画が発表される頃だが、今期より増産する予定と聞いている。
		精密機械器具製造業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・原材料高、原油高、光熱費高を理由に仕入先からの値上げ要求が多く、とても自社では吸収しかねるので取引先と値上げ交渉を行っているが、要求に応じてくれる企業が多くなっている。
		その他製造業〔鞆〕（経営者）	取引先の様子	・来客数の関係で売上が立たず、景気の悪い状態がそのままずっと続いている。
		建設業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・思ったとおりの価格で物が売れない。
		建設業（経営者）	取引先の様子	・輸入材料が入ってこないという問題が出てきている。建築にもウッドショック、鉄の高騰、高炉の問題、基盤不足による住設機器不足など、多方面にわたるかなりの問題がある。
		輸送業（経営者）	受注量や販売量の動き	・年末年始に向けて取扱量の増加に期待したが、例月の業務量と変わらない結果となり、全く活気を感じない年末となっている（東京都）。
		輸送業（経理担当）	それ以外	・燃料価格の高騰が経営を圧迫している。今後、運賃値上げ交渉を考えている。
		輸送業（総務担当）	取引先の様子	・繁忙期だが、予想より物量が増えないことと、燃料価格の高騰により、収益が伸びてこない。
		金融業（従業員）	取引先の様子	・建設業でいえば、大口の受注予定が入っていても、実際は開始の先延ばしが続いて先が見えない状況である。半導体の部品不足により困惑している中小企業が非常に多い。
		金融業（総務担当）	取引先の様子	・緊急事態宣言が解除され、飲食業やサービス業の売上は若干戻ってきている。建設業、不動産関連業では、新型コロナウイルスの影響で発生した半導体不足により、設備機器が入らず工期が遅れるところも出てきている。運送業は燃料価格の高騰や人手不足もあり、収益が減少傾向である。全般的には景気は変わらない（東京都）。
		不動産業（総務担当）	取引先の様子	・所有ビルの空室率が徐々に上昇し、賃料減額要請もきているが、今は我慢のときと思い耐えている（東京都）。
		広告代理店（従業員）	受注価格や販売価格の動き	・新型コロナウイルスの影響で良くない。
		税理士	それ以外	・夜に商店街の飲食店をのぞくと、これまでは新型コロナウイルスの影響で全然客が入っていなかったが、ここ1か月くらいはすし屋などにも客が入っている。ここ数か月、客が入っていなかった飲食店によやく客が戻ってきたというのに、新型コロナウイルス新変異株の出現でまた減っていくかもしれない（東京都）。
		社会保険労務士	取引先の様子	・助成金の活用をしたい会社が多く見受けられる（東京都）。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		経営コンサルタント	取引先の様子	・自動車産業での半導体不足への対応が進み、関連中小企業では大增産に追われている。新型コロナウイルスがやや下火になっており、飲食店やその他関連事業者は多少盛り返しつつある（東京都）。
		その他サービス業〔廃棄物処理〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注の動きが回復せず、8割経済という言葉がぴたりと当てはまる。
		その他サービス業〔警備〕（経営者）	取引先の様子	・新しい案件が少なく、しばらくこのままで推移していく。
		出版・印刷・同関連産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・思っていたよりも受注量が増えていない（東京都）。
		一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・例年、年末は残業続きのはずだが、定時で終わる日が多かった。廃業する取引先も出ており、先行きが不透明になっている。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・会社全体で見ると、東京は一極集中で売上が良いが、地方は悪く、足を引っ張っている。その上、半導体不足で今年は今までにない状況となっている（東京都）。
		不動産業（経営者）	競争相手の様子	・半導体不足の影響で、賃貸物件の給湯器が故障しても、修理も交換もできず、客からの電話が絶えない。発注して10日程度ならば我慢してもらえらるが、交換できるのは来年3月以降とのことで、これから寒くなるのに最悪である（東京都）。
		広告代理店（従業員）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルス新変異株の出現の影響というには早過ぎると思うので、まだまだ感染拡大第5波までの影響、自粛傾向から回復に至っていないと考えられる。また、一部の取引先で、半導体不足による影響から受注減が続いていることもある（東京都）。
		その他サービス業〔ビルメンテナンス〕（経営者）	それ以外	・最低賃金の上昇により原価が高くなり、利益を圧迫している（東京都）。
	×	建設業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・原材料の高騰と、新型コロナウイルスの影響による消費マインドの低下がある。
雇用 関連 (南関東)		人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	・求人数が増加傾向にあり、良くなっている（東京都）。
		人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・12月の派遣求人数は、3か月前比100%、前年同月比130%となっており、堅調に推移している。人材紹介のマーケットも前年同月比90%を超えていることから、採用意欲は回復している（東京都）。
		人材派遣会社（経理担当）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響により、企業からの派遣求人数はまだ新型コロナウイルス発生前の状況には戻っていないが、微増傾向にて戻りつつある。それに加えて、人材市場が完全に回復していないことも原因だと思いが、派遣社員からの終了希望の申出が減少していることにより、総稼働者数は微増している（東京都）。
		人材派遣会社（営業担当）	周辺企業の様子	・製造業でIT系エンジニアのニーズが高まっている。エンジニア派遣事業ではITエンジニアが不足している。
		求人情報誌制作会社（営業）	求人数の動き	・前年の求人数に比べて、今年は120～130%程度と多くなっている。新型コロナウイルス禍による懸念から少し解放されて消費活動が進み、経済が回ってきているようである。
		求人情報誌制作会社（広報担当）	求職者数の動き	・中途採用を再開する周辺企業が増えている。当社でも、各拠点の中途採用再開の話が出てきている（東京都）。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・介護、配送以外の募集がかなり出てきている。訪問後すぐに掛かってきて32件になっている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は前年比で改善している。特に、サービス、飲食、宿泊の産業分野で増加がみられる。また、就職数も上向いている（東京都）。
		人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・3か月前同様、求人数は堅調に推移している。
		人材派遣会社（社員）	それ以外	・会社の業績や個人の消費動向に変化がみられない（東京都）。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		人材派遣会社（社員）	それ以外	・派遣登録者そのものの減少傾向が続き、高齢化も進んでいる。市場の需要に対し、供給する人材が不足している（東京都）。
		人材派遣会社（支店長）	それ以外	・人材派遣受注は堅調に推移しており、人材紹介受注も新型コロナウイルス発生前の数くらいには戻ってきているが、人材が少ないIT系職種の求人割合が増え、求められる職種の需要が変化していると感じている（東京都）。
		人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	・求人数は横ばい状態と考えている。新型コロナウイルスのワクチン接種や給付金関連で短期的な求人は多いが、通常の長期案件についてはまだ回復に至っていない。
		職業安定所（職員）	採用者数の動き	・前月同様に求人倍率の上昇は続いているものの、就職者数の伸びは鈍く、足踏み状態が続いている。
		民間職業紹介機関（経営者）	採用者数の動き	・一般的に需要が戻ってきており、売上も例年に近いレベルになってきているようである。ただし、まだしばらく様子見といったところではある（東京都）。
		求人情報誌製作会社（所長）	求人数の動き	・経済は動き始めたが、輸入が入らず仕事がない会社が出てきている。半導体などの部品がないこと、ウッドショックも原因の一つである。
	x	*	*	*

5. 甲信越（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向 関連 (甲信越)		商店街（代表者）	お客様の様子	・前年に比べて、年末の人の流れが多くなっている。
		都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・年末年始を中心に、早い時期から多くの予約を受けており、その期間以外も、平日に多くの利用がある状態が続いている。明らかに、以前より動きが活発で、受入ができないほどの状況が続いている。しかし、新型コロナウイルス禍前のような100名前後の団体利用はほぼないことが気になっている。
		都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・12月の宿泊の結果をみると、新型コロナウイルス以前より売上がプラスとなっている。過去5年間と比べても、12月単月売上1番である。また、クリスマスディナー企画では、1人2万円のディナーがあっという間に完売している。
		遊園地（職員）	来客数の動き	・前年秋は、来客数が新型コロナウイルス以前に向けて回復傾向となっていた。新型コロナウイルス新変異株の流行によって新規感染者数が増加傾向にあるものの、前年よりは、新規感染者数も減少していることで、徐々に来客数、景気いずれも回復傾向にある。
		その他サービス【葬祭業】（経営者）	お客様の様子	・以前は新聞広告を見て電話をしたという客がほとんどだったが、最近はインターネットやスマートフォンを見て連絡をしたという客がほとんどになっている。こちらも世代交代が進んでいると思う。
		一般小売店【家電】（経営者）	来客数の動き	・年末セール等、客の動きが少しずつ良くなってきている。
		一般小売店【薬】（経営者）	お客様の様子	・客との話で、「少しずつ景気が良くなってきた」という声が多く聞かれる。
		スーパー（店長）	来客数の動き	・12月の売上は、前年と比べるとかなり回復してきている。
		スーパー（副店長）	それ以外	・新型コロナウイルス新規感染者の減少により、年末年始の帰省や観光客が増加し、景気が一定の上向きをみせている。ただし、今後の感染状況次第では、再び自粛傾向が強まる。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・帰省者が増加し、規制も緩和されているので、やや良くなっている。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・3か月前と比べて、1日平均の来店客数が増えている。
		その他専門店【酒】（店長）	来客数の動き	・3か月前と比べるとかなり良くなっている。特に、12月半ばから飲食店もまんべんなく動いてきて、30日も休まずに動いているようである。
	高級レストラン（経営者）	単価の動き	・新型コロナウイルス新変異株が感染拡大第6波を招きかねないこともあり、県外への旅行ははまだ自粛ムードがあるようで、高額な食事コースの予約が好調である。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		観光型旅館（経営者）	販売量の動き	・例年12月は、企業、官公庁、病院、学校等団体の忘年会があるが、今年は4～6名程度の懇親会は認めているものの、会社や役場、病院、学校単位の宴会は、中止されて全くない。そのため、例年と比較すると良くないが、新型コロナウイルスの感染状況が落ち着き、県民割引等による需要があるため、9月頃と比較すると、やや良くなっている。
		都市型ホテル（従業員）	来客数の動き	・観光やビジネス利用の宿泊客が増加傾向にある。
		旅行代理店（副支店長）	販売量の動き	・緊急事態宣言が解除され、旅行需要が増加し始めている。特に、個人旅行が増加している。
		タクシー運転手	販売量の動き	・12月は元々売上の良い月だが、今のところ、前年比115%、前々年比ではまだ84%である。新型コロナウイルスの動きが収まるかどうかで、大分変わる。
		通信会社（社員）	販売量の動き	・キャンペーン特需で、ここ数か月と比べて契約数では上回ってきている。ただし、一時的な施策でしかないため、繁忙期である年度末へ向け、いかにこの状態をキープできるかが課題である。
		その他レジャー施設 [ボウリング場]（経営者）	来客数の動き	・県内の新型コロナウイルス新規感染者数ゼロの日が多くなっている。少しずつではあるが、団体の予約も入るようになってきている。
		商店街（代表者）	販売量の動き	・当市の一等地にある商店街の店だったが、郊外に大型店ができてから、客は郊外店に移ってしまっている。スポーツ用品を扱っているが、一般向けの商材は段々少なくなって、学校専門的になってきている。小売と余り関係ないような状態で、春先になるのを待っている。
		一般小売店 [家電]（経営者）	お客様の様子	・自治体発行のプレミアム付き商品券等による商材の動きはあったものの、全般的な動きは今一つである。消費意欲が見えてこない。
		スーパー（経営者）	来客数の動き	・来客数が減少し、客単価は上昇しており、前年比ではマイナスも、前々年との比較でのプラス傾向は変わらない。
		スーパー（経営者）	来客数の動き	・前年比で売上は11%減、来客数は13%減となっている。固定客の移転や病気、銀行の店舗閉鎖で、来客数が減少し、売上も減少している。新型コロナウイルス新変異株も登場しているが、少しずつイベントを再開している。日々の来客数の減少が痛い。
		コンビニ（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響で、動きは余り良くない。これから寒さも厳しくなってくるので、来客数が少し減るとみている。
		コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で、来客数が少ない。
		コンビニ（店長）	お客様の様子	・今月は、新型コロナウイルスの感染状況がかなり落ち着き、良くなるかと思っていたが、今までの状況に客が慣れているようで、購買意欲が上がるような特別な変化にはなっていない。
		衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルス変異株が終息し始めたと思ったら、新変異株は出てくるし、寒さのせいもあるのか、客足が鈍い。
		家電量販店（店長）	来客数の動き	・集客数が前年比8割と落ち込んでいる。
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・新車受注は回復傾向だが、半導体不足による新車供給遅延により、販売台数が伸びない。
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・新車納期の遅れから、なかなか契約に結び付かない。また、人気中古車の仕入価格高騰で、客との商談が思うように進まない。半導体不足の影響はまだしばらくは続きそうである。
		自動車備品販売店（従業員）	来客数の動き	・来客数及び客単価共に前年を下回っており、景気は余り変わっていない。
		一般レストラン（経営者）	販売量の動き	・若干、足踏み状態である。
		スナック（経営者）	お客様の様子	・地方では、新型コロナウイルスの影響が本当に大変である。今のこの状態に慣れた客が多いので、これからもこのまま変わらないのではないかと心配している。
		通信会社（経営者）	お客様の様子	・年末にかけても、例年より新規加入者が少ない。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		観光名所（職員）	来客数の動き	・積雪が早く、近隣のスキー場は早々にオープンしたものの、日帰りのスキーヤー、ボーダーが多く、宿泊や買物に結び付いていない。
		ゴルフ場（経営者）	お客様の様子	・降雪がないことから、順調に来場者は増加しているが、忘年ゴルフやコンペの減少傾向は以前のものである。ただし、新型コロナウイルス新変異株が拡大傾向にあるなか、当県の新規感染者が少ないことから、年配者も元気な様子でプレーしている。
		その他サービス〔貸切バス〕（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの新規感染が落ち着いてきたと思ったら、新型コロナウイルス新変異株が出てきて、販売が停滞してきている。
		設計事務所（経営者）	単価の動き	・建築資材の値上がりと納期遅れで、現場の進捗状況に影響が出ている。
		設計事務所（経営者）	来客数の動き	・依頼数は減っており、相談物件もなかなか計画が進まない。
		住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・別荘の購買意欲に変化はなく、やや良いままである。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・クリスマスや年の瀬を、街中では全く感じられない。新型コロナウイルスの影響もあるだろうが、中心街と呼ばれた場所への客足は低調のままである。
		スナック（経営者）	来客数の動き	・10～11月と上向いてきていて、この調子でいけば暮れには2年ぶりに忘年会の予約も入りそうだと喜んでいたら、新型コロナウイルス新変異株と報道され始めた途端に、すっかり元通りに冷えきってしまい、忘年会どころかフリーの客もほとんど来ない状況で、ちょっと心が折れそうである。
		×	その他サービス〔クリーニング〕（経営者）	販売量の動き
企業 動向 関連 (甲信越)		その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・12月催事での集客や売上はともに好調である。新型コロナウイルスの影響下でも、客との接点を持ち続けた店は催事でも好成績を残しているが、店によってはいまだに閑散としているところもある。高額品も徐々に売れるようになってきている。
		食料品製造業（製造担当）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスが少し落ち着いて、売上は微増傾向になっている。
		食料品製造業（営業統括）	受注量や販売量の動き	・業務店や一般酒店への出荷が前年より活発になっているが、また、工場への来場者もかなり回復してきているが、新型コロナウイルス以前よりは減少している。
		食料品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数が減少し、経済が回り始めている。
		金融業（経営企画担当）	取引先の様子	・飲食や観光業は、インバウンド需要の恩恵はいまだに受けられていないものの、国内観光客の戻りは顕著に表れてきている。他業種も、新型コロナウイルス禍の影響は徐々に薄れ、以前の活況を取り戻している企業も多数見受けられる。
		新聞販売店〔広告〕（総務担当）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルス新変異株の市中感染の影響は、今後出てくると予想されるものの、現状の取引量は微増してきている。人の動きも少しずつ戻っている。
		窯業・土石製品製造業（経営者）	取引先の様子	・取引先の受注は、相変わらず低迷したままである。
		建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・資材不足や価格の高騰、納入の不安定化が続く限り、受注も積極的にできないため、問合せも減少してきている。
		金融業（調査担当）	取引先の様子	・製造業では半導体不足の影響や材料価格の高騰があるものの、需要は堅調さを維持している。非製造業では観光関連が上向きつつあるが、水準としてはまだ低い。
		×	-	-
雇用 関連 (甲信越)		職業安定所（職員）	求人数の動き	・ほとんどの業種で求人が増加している。
		職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・どことなく活気が感じられるようになってきている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		人材派遣会社 (営業担当)	雇用形態の様子	・新型コロナウイルス対策事業による短期的雇用のため、12月末から3月までの契約終了が多く、派遣事業に関与する人たちからの相談がますます増える予想される。
		民間職業紹介機関 (経営者)	求人数の動き	・転職情報過多の現状から、簡単に転職を考える希望者が多い。何かあれば辞めればよいといった風潮が定着している。正社員採用にはより検討を深める採用者側の現状が続き、結果として採用不足感があり、求人数を押し上げている。
	x	-	-	-

6. 東海（地域別調査機関：三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (東海)		百貨店（経理担当）	お客様の様子	・今月はクリスマスや宴会といったイベントによって平日、休日共に活発な消費が見受けられる。
		百貨店（業績管理担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルス感染が落ち着いている安心感から、来客数、売上共に前年から増加している。
		コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・緊急事態宣言の解除から3か月が経過し、来客数は順調に伸長している。11月と比べると勢いは少し落ち着いたが、前年同月を大幅に超える来客数となっている。一方、飲料など利益幅の大きい商材は前年並みの売上になっている。ホット飲料など冬季に売れる商材が、例年並みにもう少し伸びてほしいところである。
		コンビニ（店長）	来客数の動き	・年末ということもあり、客が増えている印象を受ける。
		コンビニ（商品企画担当）	お客様の様子	・12月に入り売上が伸長しており、前年比150%、前々年比70%で推移している。特に高単価商品を主体に動きが良く、客単価も上昇傾向にある。
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・12月に入ってから車両の生産は徐々に回復の兆しをみせている。また、新型車の発売で市場が動き始めている。少しずつではあるが来客数も増えている。
		その他専門店 [雑貨]（店長）	来客数の動き	・バッグ、トラベルキャリーなど人と会う外出にまつわるアイテムや祝儀袋などの動きが良い。ギフトが好調である。
		観光型ホテル （支配人）	来客数の動き	・3か月前は緊急事態宣言の最中で、前年同月の5割に満たない実績であった。それに比べると前月は前年の90%を超え、今月は飽くまでも前年比では120%超えと良い数値にみえる。しかし、いつもということだが、新型コロナウイルス発生前の前々年に比しては半分にも満たない。個人客の利用は戻りつつあるが、法人、一般団体客にはまだ動きがない。
		美容室（経営者）	お客様の様子	・正月前にパーマや毛染めをする客が増えた。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・来客数が増加している。
		商店街（代表者）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数の減少とともに各種の会議や会合が始まった。それに従って注文等も若干増え、販売量が増加している。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・新型コロナウイルス新変異株が登場したが、意外と症状は軽いようなので、このまま従来の風邪のような存在になってほしい。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・人出が明らかに増えている。新型コロナウイルス発生前と比べればまだまだだが、やや活気が戻っている。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・客単価は戻ってはいないが来客数が増えているので、全体的な売上は上がっている。
		一般小売店 [高級精肉]（常勤 監査役）	販売量の動き	・現状は良いが、将来には不安がある。
	一般小売店 [土産]（経営者）	来客数の動き	・緊急事態宣言が解除されて約3か月、観光客の戻りが増えてきた。マイカー利用の小グループはほぼ従前の状況を取り戻した。しかし、鉄道利用の都市圏からの客はまだ6割程度、観光バス利用の団体旅行は1割程度しか戻っていない。やはり集団行動への怖さが根付いているのであろう。後は新型コロナウイルス新変異株次第である。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		一般小売店〔酒類〕（経営者）	来客数の動き	・緊急事態宣言の解除で飲食店は営業を再開したが、飲食店への客足は新型コロナウイルス発生前には程遠い。バーやスナックには、12月になっても予約のない日は客がゼロの店が多い。 ・年度末に向けた残予算の消化がある。
		一般小売店〔書店〕（営業担当）	販売量の動き	
		百貨店（売場主任）	来客数の動き	・来客数が少しずつ戻っている。友人同士や食事のついでに立ち寄る若い男性客が多くなった。
		百貨店（総務担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルス新変異株により一時的には来客数や売上が前年を下回る状況となったが、クリスマスや年末は新型コロナウイルス発生前の水準近くまで戻っており、売上は前年を大きく上回る状況となっている。今のうちに買物しようという意欲の高い客が多いようにも見受けられる。
		百貨店（営業担当）	来客数の動き	・クリスマスや年末商戦を迎えた12月は、来客数、売上が前年を上回り始めており、例年並みに近づいている。おせち、クリスマスケーキなどの商品も、個数、金額共に2けたの伸張しており、少しずつ消費者のマインドも変わりつつある。新型コロナウイルスに注意を払いながら、ECと実店舗を使い分ける買物の仕方になっている。
		百貨店（営業担当）	来客数の動き	・年末に近いこともあるが、来客数が増えている。
		百貨店（販売担当）	お客様の様子	・12月半ばから客足が伸び始め、中高単価商品が稼働している。ギフト需要は高いが自家需要も目立ち、1年の御褒美として自分のために購入する客が多い。買物の仕方は、早く来て早く帰るように新型コロナウイルスでかなり変化した。
		百貨店（計画担当）	お客様の様子	・コロナ禍が落ち着いて来客数も大きく増えている。購買意欲にも高まりが感じられる。
		スーパー（店員）	販売量の動き	・ガソリンの価格高騰で野菜や果物も若干値段が上がったが、購買が落ちる傾向はなかった。
		スーパー（販売担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染状況が少し収束し、土日の家族連れで来客数が増えて購買量も上がっている。
		スーパー（販売担当）	来客数の動き	・現在は外出自粛等の制約がないので、小売店の来客自体は増加しており、購買力も上がっている。
		コンビニ（企画担当）	販売量の動き	・全般的に売上が戻っている。前年比はほぼ全ての店舗が100%を超えており、特に中旬以降は増加傾向にある。
		コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・前年のGo To Travelキャンペーンがあった10～11月や新型コロナウイルス第3波があった12月とは単純に比較が難しいが、前年比、前々年比では復調傾向にある。
		コンビニ（店長）	来客数の動き	・売上は前年比で2～3割増えているが、新型コロナウイルス発生前までの回復にはまだ程遠い。
		コンビニ（店長）	来客数の動き	・前年比だけでなく、コロナ禍以前の数字を超えることが今月はできた。2年前の来客数に戻っただけだが、客単価の上昇が貢献している。コンビニ業界は、とり肉の供給ストップという大きなマイナス要因があったが、自店は外国人労働者の旺盛な消費にも助けられた。
		コンビニ（店長）	販売量の動き	・12月は新規感染者数が落ち着いており、10～12月と売上も上昇傾向で前年比も久しぶりに上回った。
		コンビニ（店員）	販売量の動き	・クリスマス商戦でケーキやチキンがよく売れた。クリスマスが終わってからも、帰省をするのか家族での来店が多くみられ、年末まで忙しくおにぎりや店内手作り弁当がよく売れた。
		衣料品専門店（売場担当）	販売量の動き	・就活の学生や成人式用に購入する客が増えてきた。前年は就活用スーツと併せて派手めなシャツの購入であったのが、今年は就活用のスーツのほかに新しい色物のスーツを購入する客が結構いる。
		住関連専門店（営業担当）	販売量の動き	・住宅、商業施設共に新築現場の引き合いが出始めた。年末年始についてもリフォーム工事など細かい仕事が出ている。
		高級レストラン（経営企画）	来客数の動き	・年末にかけて来客数が増加し、前日や当日の予約・問合せも増加傾向であった。しかし、まだ集まりへの懸念からテイクアウト需要も大きい。
		一般レストラン（経営者）	お客様の様子	・ショッピングセンターや街中の人出、車の数が多くなっている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		一般レストラン（経営者）	お客様の様子	・皆しばらく在宅で過ごしていて、最近では新型コロナウイルスの感染が幾らか落ち着いたので、やはり外へ出たくなる気持ちがあったのだと思う。また、当店では周年祭があったため来店してくれる客が多かった。
		一般レストラン（従業員）	競争相手の様子	・周りを見ると新型コロナウイルスの感染が収まっていることもあり、旅行をしたり買物を楽しむ人が増えている。
		バー（経営者）	お客様の様子	・コロナ禍で外出しない生活に慣れた人も多いが、若者を中心に、クリスマスや年末の少人数での忘年会などにしたい人は増えている。
		その他飲食〔仕出し〕（経営者）	お客様の様子	・2年間鬱積していたものが、年末にかけて少しずつ発散されている。
		観光型ホテル（経営者）	来客数の動き	・10月からの県の観光需要喚起策と新規感染者数の減少のため、11月以降はほとんど客が入り始め、12月も週末を中心にかなりの来客数であった。かなり良くなっている。
		都市型ホテル（経営者）	来客数の動き	・徐々に予約が増えつつある。
		都市型ホテル（総支配人）	販売量の動き	・宿泊、レストラン共に前年比で増加している。ただし、新型コロナウイルス発生前には至らず、宴会は引き続き悪い。
		旅行代理店（経営者）	それ以外	・ターミナル駅前の人通りは増え、昼時のレストランにも客待ちができ、時間によっては待たされる時間も長くなることもある。
		旅行代理店（営業担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルス新規感染者数が減少すると、個人旅行を主に旅行需要は増える。県民割の施策もあいまって、申込件数は増加している。ただし、法人や団体旅行、海外旅行は様子見が続き、ほぼ発生していない。年末年始の旅行も、帰省を兼ねての申込みがみられる。
		タクシー運転手	お客様の様子	・11月後半～12月にかけては、前々年の良かった時期の約8割の売上となった。この調子ですっといくと良い。
		レジャーランド（職員）	来客数の動き	・引き続き学校団体の利用が多く、来場者数は前々年の9割ほどまで回復している。一般団体とインパウンドが消失していることを考慮すると、個人客の動きは平時に近い状態と考えられる。
		テーマパーク職員（総務担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数が少ない状態を維持しているため、来園者が見込みより多い。
		ゴルフ場（支配人）	来客数の動き	・今月の入場者数は順調で、前年比、予算比共に上回っている。3か月前と比べても、前年比、予算比においてはかなり好調で、やや良くなっていると判断する。
		その他レジャー〔スポーツレジャー紙〕（広告担当）	お客様の様子	・年末の夜の人出やタクシーの乗車状況などに鑑みると、少なくとも前年の12月よりははるかにマインドが良くなっている。
		美容室（経営者）	来客数の動き	・12月はいつも忙しい時期である。前年は新型コロナウイルスの影響で余り忙しくなかったが、今年は新型コロナウイルス発生前の忙しさに戻りつつある。
		美顔美容室（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染が少し落ち着いており、年末なので今年中にもう1度手入れをしたいという客が多かった。
		その他サービス〔介護サービス〕（職員）	販売量の動き	・新型コロナウイルス新規感染者数の減少に伴い、相談件数も増えている。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・飲食では、若者は完全に戻ってにぎやかに飲食店を利用しているが、年配者は警戒してなかなか出てこない。ホテルの予約状況は、宴会は思うようには伸びていないと聞く。旅行も伸びていないようである。
		一般小売店〔結納品〕（経営者）	販売量の動き	・とにかく来客数が少なく売上がない。
		一般小売店〔贈答品〕（経営者）	お客様の様子	・12月は新型コロナウイルスの感染が落ち着きをみせ、売上が少し伸びると予測していたが、ふたを開けてみると3か月前と変わらなかった。やはり客はまだ慎重になっていて、どちらかといえば付き合いの幅を狭めているようである。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		一般小売店〔生花〕(経営者)	販売量の動き	・販売量に関してはほぼ横ばいである。正月の墓参り用の花は10%程度増えたが、家に飾る花は金額を抑える人も多いと感じる。
		スーパー(販売担当)	販売量の動き	・クリスマスケーキ、おせちの予約は前年並みで、クリスマスの売上は良かったが、平日のマイナスをカバーできただけである。
		コンビニ(本部管理担当)	来客数の動き	・直近月の売上は前年比107%と好調である。売上が好調な理由は、新型コロナウイルスの感染が収束していることと、Go To Eatキャンペーンのチケット販売分が売上に加算されていることである。Go To Eatキャンペーンの恩恵を受けている飲食関係者も多いのではと推測する。このまま新型コロナウイルス感染の拡大がなければ、先行きは明るい。
		衣料品専門店(経営者)	お客様の様子	・寒くなったため一見客を期待していたが、来店も引き合いも全くなかった。一方、新型コロナウイルスでの外出控えにストレスを感じているなじみ客には、とても世話になった。
		衣料品専門店(店長)	来客数の動き	・客の仕事量は回復しつつあるが経費の節約志向は続いており、購入額の上昇には余りつながっていない。
		衣料品専門店(売場担当)	お客様の様子	・前月は高額品を含む外商客の購買意欲が回復傾向にあると感じたが、今月になり前月ほどの回復はみられない。しかし、悪化しているわけでもない。
		衣料品専門店(販売企画担当)	競争相手の様子	・アパレル業界は軒並み展示会が中止で、11月展をしたところも、発注が余りない状態と言っていた。
		家電量販店(店員)	販売量の動き	・前年の巣籠り需要で商品がよく売れた反動で、販売台数が伸びない。
		乗用車販売店(経営者)	お客様の様子	・景気の悪い状況に慣れてきたからか、必要な整備は実施してもらえるようになっている。
		乗用車販売店(従業員)	お客様の様子	・客からはまだ新型コロナウイルスに対する不安が感じられるため、良くなっているという感覚は余りない。
		乗用車販売店(従業員)	販売量の動き	・新車の発表を控えており販売台数は好調である。ただし、注文は取れるが納車には相当時間が掛かっている。
		その他専門店〔書籍〕(店員)	単価の動き	・例年12月は本をまとめ買いする客も多かったが、今年は少なかったため、財布のひもは固くなっている。新型コロナウイルスの影響で外出を控えていた分、電車代や帰省などの費用へ流れているのではないが。
		一般レストラン(経営者)	お客様の様子	・常連客の来店頻度が少し落ちてきた。新規客も、誰かにプレゼントするというより自分で消費する分を購入しているように見受けられる。
		その他飲食〔ワイン輸入〕(経営企画担当)	販売量の動き	・緊急事態宣言が解除され、取引先である飲食店の多くが通常営業に戻った。それまで在庫を一切持たなかった取引先も、12月は例年どおりの仕入れを行った。また、客先でもコロナ禍以前と同程度の売上を確保しているようである。
		都市型ホテル(従業員)	来客数の動き	・まだ土曜日のイベントの客がなかなか入らない。
		都市型ホテル(営業担当)	お客様の様子	・新型コロナウイルス新変異株の状況が不透明で、客のマインドは抑えられている。
		旅行代理店(経営者)	お客様の様子	・11~12月は、県の観光振興策で旅行特需が発生し、売上も好調だった。しかし、12月末で一旦この政策は終了となり、これ以降の需要が全く読めなくなった。
		旅行代理店(営業担当)	お客様の様子	・地方では、報道のような旅行景気が徐々に回復している実感はなく、旅行に対する考え方はまだ慎重に感じる。
		タクシー運転手	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染が少し落ち着いても、客足は全く戻らない。
		通信会社(営業担当)	販売量の動き	・継続的に足元の状態を維持している。
		通信会社(営業担当)	お客様の様子	・新規の注文がコンスタントに入ってくる。契約廃止が目立った時期もあったが落ち着いてきた。
		観光名所(案内係)	お客様の様子	・人の動きは徐々に戻っているようだが、若者が多く、余り金は使わないように見受けられる。
		設計事務所(経営者)	来客数の動き	・景気が上向きというよりは、案件の締切りが同じ時期に集中したことで、大変忙しかった。
		住宅販売会社(経営者)	お客様の様子	・物件がないので売れ残りが少ない。売れ残りの奪い合いになっており、売行きは悪くない。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		住宅販売会社 (従業員)	販売量の動き	・大きな変化は見受けられず、横ばいである。
		その他住宅[不動産賃貸及び売買](営業)	単価の動き	・業者からの仕入単価が原油価格の高騰などにより上がってきたので、売上が上がっても景気は変わらない。
		スーパー(店長)	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染状況は落ち着いているため内食需要が減っており、夜間、週末の来客数や1客当たり買上点数の減少で売上も減っている。
		スーパー(商品開発担当)	お客様の様子	・コロナ禍での特需が少なくなり、前年実績を割り込む状況になってきた。
		スーパー(営業企画)	お客様の様子	・新規感染者数が落ち着くまで外食需要が高まっており、相対的に内食需要が低下している。来客数、客単価共に3か月前と比べて低下している。
		スーパー(ブロック長)	来客数の動き	・10月下旬以降、来客数が伸び悩んでいる状態である。1品単価のみ前年比で上昇しているが、買上点数は増えない。頼みの綱の総菜部門も、売上減少である。
		家電量販店(フランチャイズ経営者)	来客数の動き	・前月までは来客数は前年並みで大物が売れないため厳しかった。12月に入り大物が売れるようになったが、来客数が前年比8割に落ち込んでいるため、結局売上は厳しい。新型コロナウイルス新変異株による外出自粛のためカリベンジ消費が他業種に流れているのか、不安な年末商戦となっている。
		乗用車販売店(経営者)	それ以外	・メーカーからの新車供給が大幅に遅れている。
		乗用車販売店(従業員)	販売量の動き	・例年、年末はなかなか商談が進みづらい時期であり、加えて車両の納期遅れが周知されてきたため、客の購買意欲は車に向いていない。年末に近づくにつれて、客との話題は身近な生活用品購入の話が多くなってきた。
		乗用車販売店(営業担当)	販売量の動き	・商品生産の遅延が回復せず入荷数が増えてこない。加えて来客数も12月に入りめっきり減った。ずっと横ばいが続いていたが、ここに来て少し下がっている。
		その他専門店[貴金属](経営者)	来客数の動き	・新型コロナウイルス新変異株の影響か、商店街への人流は再び少ない状況となり、来客数、売上は減少している。非常に人出の少ないクリスマスとなり、前年同期よりも明らかに景気は悪化している。
		旅行代理店(経営者)	来客数の動き	・今月は、たまたまの売上があって前月や前年よりも良いだけである。
		通信会社(企画担当)	販売量の動き	・解約数はほぼ横ばいで推移しているものの、新規契約者数は、前年と比べても前月と比べても減少傾向にある。
		テーマパーク(職員)	来客数の動き	・新型コロナウイルス新変異株や年末年始の大雪情報が集客に影響している。
		テーマパーク(職員)	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染が収束しかけたところに新型コロナウイルス新変異株が出てきたため、キャンセルが増えた。
		パチンコ店(経営者)	販売量の動き	・来客数の動きがやや悪い。
		理美容室(経営者)	来客数の動き	・今月は忙しい月のはずだが、余り客が来てくれなかった。
		美容室(経営者)	お客様の様子	・まだ新型コロナウイルスの影響があるのか良くならない。
		設計事務所(職員)	お客様の様子	・打合せのなかで景気が良くなる話は聞かない。
		住宅販売会社(従業員)	競争相手の様子	・同業他社からの情報として、ウッドショックの影響は、木材が入荷されない状況から入荷はされるが高額で合わない状況になっている。
		その他住宅[住宅管理](経営者)	お客様の様子	・賃貸マンションの管理業務では、退室後のリフォームで壁紙は全面張り替えであったのが掃除だけになり、1室へ掛ける金額を下げるようマンションのオーナーから指示されるようになった。
	x	乗用車販売店(従業員)	お客様の様子	・例年の12月は、良い月ではないがもう少し良い。それにしても今月は悪すぎた。来客数は少なく、良い話も余り聞かなかった。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	x	旅行代理店（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルス新変異株の出現に伴い、年末年始の旅行を差し控える影響が出ている。12月に入って新規予約も鈍い。Go To Travelキャンペーンへの期待度が高く、割引率や設定期間もはっきりしないので予約を差し控えている様子も見られる。旅行会社にとっては最悪な状況である。県の振興策は、県民割の電子クーポン券の登録などスマートフォンに不慣れな客には使い勝手が非常に悪いと言われた。Go To Travelキャンペーン再開の告知は早めにしてほしい。また、旅行を考える客の妨げにはならないようにしてほしい。
企業 動向 関連 (東海)		輸送用機械器具製造業（総務経理担当）	受注量や販売量の動き	・3か月前と比べると売上が25%以上増えている。新型コロナウイルスによる部品の供給不足がなくなってきたため、完成車メーカーがその分たくさん製造している。
		パルプ・紙・紙加工品製造業（顧問）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いていることと、年末の青果物、農産物関連の販売量が増加しているため、3か月前と比べると景気はやや良い。
		化学工業（総務秘書）	それ以外	・新型コロナウイルスの感染が抑えられた状態にあり、長期にわたる自粛生活からの解放感をひと時でも味わおうという人で街はにぎわっている。クリスマスの夜は、なじみの飲食店は全て満席でどこも入店さえできなかった。
		窯業・土石製品製造業（社員）	受注量や販売量の動き	・見積依頼の件数が多く、受注率も高い。Webからの新規引き合いも多く多忙な状況が続いており、残業と休日出勤で対応している。
		金属製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・販売量は増加しているが、材料価格の値上げを始め仕入価格が上昇しているため、利益が減少している。
		輸送用機械器具製造業（管理担当）	それ以外	・年の瀬で、かつ緊急事態宣言が明けたボーナス後のため、景気は向上している。
		通信業（総務担当）	それ以外	・新型コロナウイルス感染が国内では落ち着いているため人流が増えたことが、消費拡大の要因となっている。ただし、物価が上昇傾向にあるため、プラスの消費に結び付かない点はマイナス要因になっている。
		通信業（法人営業担当）	それ以外	・休日の百貨店は、年末商戦の影響もあり、かなりの混雑である。駐車場に入るだけで何十分も掛かる。飲食店で待つことがなかったこの2年だったが、最近では人気の飲食店では必ず待つようになった。
		通信業（法人営業担当）	それ以外	・年の瀬のため財布のひもが緩んでいるようだ。新型コロナウイルスも落ち着き、当地域では国道工事が急ピッチで進んでおり、関連企業はフル稼働の感がある。高規格道路のルートも決定し、明るい材料がいつになく目立つ。一方、生活保護申請の増加が止まらない状況である。
		金融業（従業員）	取引先の様子	・年末にかけて需要が多くなり、景気が少し良くなっているように感じる。
		金融業（従業員）	取引先の様子	・飲食店などにも活気が少し戻っており、街が明るくなって皆の活動が増えている。景気はやや良くなっている。
		金融業（企画担当）	取引先の様子	・新型コロナウイルスの状況に変わりはないが、ウィズコロナでの生活に慣れてきて相応にうまい付き合いができています。引き続き飲食や観光関連の業種は厳しいものの、厳しいなかでも事業者は工夫をし、その工夫が定着している。
		不動産業（経営者）	それ以外	・例年同様に晴れの日が多いことや新型コロナウイルス新規感染者数も減少傾向にあり、外出や遠出をする人が徐々に増加している。売上は前年を上回る状況が継続している。
		不動産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・今までのリバウンドか、問合せが多くなった。
		広告代理店（制作担当）	取引先の様子	・少しずつ新型コロナウイルス新変異株による市中感染が増え始めているため、地元企業も余り積極的な広告戦略は打たない様子がうかがえる。
	新聞販売店〔広告〕（店主）	受注量や販売量の動き	・折込チラシの受注数が増えている。	
	会計事務所（職員）	取引先の様子	・飲食店に客が戻り始めている。様々な助成金のお陰もあって何とか経営を維持してきた顧問先が、ほっと一息ついている。休業手当の支給も減っている。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		その他サービス業〔ソフト開発〕（社員）	受注量や販売量の動き	・ネットでの受注は増加している。コロナ禍が収束して県外客が増えると思込んでいたが、思ったよりも少ない。
		食料品製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・受注量は減少傾向にある。
		化学工業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・電材向け容器の需要は引き続き好調で、生産はフル稼働である。
		金属製品製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・年度末に向けて短納期の仕事が入ってきたが、全体の受注残が増えているとまではいえず、原材料の価格高騰で利益の圧迫もあるため、良いのか悪いのか判断が付きかねる。
		一般機械器具製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・世界的な電子部品不足の影響なのか他社設備の納期が長くなっているため、代理店にある在庫が売れている。
		電気機械器具製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・受注状況は良いが、部品調達の影響で納期に影響が出ている。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・客先業界はやや持ち直しているが、コロナ禍に閉店した店舗がたくさんあるので、全体としては設備投資に費用を掛ける段階にはない。設備関係はやはり厳しい状態が続いている。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・鋼材の値上げで売上金額としては増加しているが、受注量、生産量そのものは共に横ばいが続いている。
		電気機械器具製造業（総務担当）	取引先の様子	・放送・通信業界の設備投資意欲は減退していないが、ひと頃は落ち着いてきた。ただし、動画配信等のデータ量増大に対応するため、通信設備の更新は常に求められている。
		輸送業（経営者）	取引先の様子	・海外から一部の部品が滞り生産の落ちているメーカーはあるが、生産財、消費財共に物量は安定している。
		輸送業（従業員）	受注量や販売量の動き	・荷主からの受注量は少しずつ増えている。前年の今頃に比べたらかなり良い。しかし、燃料を始めとして各種経費も値上がりしており、収支としてはむしろ経費増加になりつつある。
		輸送業（エリア担当）	受注量や販売量の動き	・国際航空貨物は高いレベルで一定である。クリスマス商戦でピークだが、例年の動きである。
		その他非製造業〔ソフト開発〕（経営者）	取引先の様子	・このところ受注量が少ないため売上も少なくなっており、この流れは当分続くと考える。部品の納入が停滞しており、なかなか生産につながらず、どこも苦勞しているということである。
		食料品製造業（経営企画担当）	受注量や販売量の動き	・人の動きが自由になりつつあり、外食など需要は改善される一方、前年は注目された内食需要の反動により、受注量が減少している。
		輸送用機械器具製造業（品質管理担当）	受注量や販売量の動き	・当地の航空業界はずっと底であるが、更に生産量が減っている。
		建設業（役員）	受注量や販売量の動き	・建設業としては例年並みの受注は取れているが、住宅販売に関しては集客が減っているため成約は伸びない。他社とも情報交換をするが、在庫販売に対して大幅値引き物件が続出している。
		輸送業（エリア担当）	受注量や販売量の動き	・10～12月の1日当たり荷物量の推移を前年比でみると、10月97.7%、11月96.1%、12月96%弱と段々と落ちていく。前々年との比較でも10月92.2%、11月100%、12月100%弱で、こういった傾向をみると景気は落ちているというよりは、思ったよりも上向いていない。
		公認会計士	それ以外	・コロナ禍の影響は、損益計算書でみる収益面ではほんのり傾向にあるが、貸借対照表でみる財政状態の面では大きな負の遺産を作った。この返済や立て直しには相当の時間が掛かる。常識的には、貸借対照表が痛んだことにより経営のかじ取りは大きく変わる。また、中堅・中小企業の低生産性や後継者難等の問題は解決できていない。
	x	鉄鋼業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注量、販売量共に、素材の値上がりで金額は上昇しているが、実重量から逆算すると5%ほど落ち込んでいる。荷動きの状況を客に確認しても非常に良くない。
雇用		-	-	-

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
関連 (東海)		人材派遣会社 (社員)	求人数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数が落ち着いているので、クリスマスのイベントや少人数での忘年会での利用が増えた。
		人材派遣会社 (企画統括)	求人数の動き	・新規求人数が前年同期比で増加しており、必要な人材を求める企業の採用意欲がつかえる。
		人材派遣会社 (営業担当)	求人数の動き	・3か月前比で求人数は増加傾向にあり、前年同月比でも上回り堅調に推移している。
		職業安定所(職員)	求人数の動き	・新規求人数は前年同月と比べて増加傾向が継続している。製造業のうち主たる業種の輸送用機械器具製造業の求人数が、半導体等の部品供給不足の影響を受けながらも、前年同月と比べて増加している。
		職業安定所(職員)	採用者数の動き	・求人に対する充足状況が不足に転じたことから、人手不足感の高まりがある。
		職業安定所(職員)	求人数の動き	・半導体不足の製造業の影響はあるものの、新型コロナウイルス感染の鎮静化もあり、求人数が増加し人手不足感が出ている。
		職業安定所(職員)	求人数の動き	・製造業を中心に採用意欲は感じられるが、採用基準は厳しく、即戦力を求める傾向は依然として強い。
		民間職業紹介機関(営業担当)	採用者数の動き	・年末において企業の採用意欲が高まり、採用決定者数が増加傾向にある。
		人材派遣会社 (経営企画)	周辺企業の様子	・客の開発現場は、人手不足感が顕著になっている。
		新聞社[求人広告] (営業担当)	求人数の動き	・営業広告は全国展開する企業を中心に回復傾向にあるが、求人数には大きな変化が見受けられない。
		新聞社[求人広告] (営業担当)	求人数の動き	・ここ最近の求人数は、新型コロナウイルスの感染状況にかかわらず横ばいで推移している。介護など慢性的に人手が足りない企業は補充できず苦しんでいる。企業業績は厳しいままで、景気が上向いたわけではなく変わらない状態である。
		職業安定所(次長)	求人数の動き	・職種別有効求人数の前年同月比を3か月前と比較すると、ほとんどの職種で上回っているものの、前年同月には既にコロナ禍の影響を受けている。前々年同月との比較では、依然として全体で大きく下回りコロナ禍以前の水準には達しておらず、ここ最近の傾向に変化がみられない。
		人材派遣業(営業担当)	周辺企業の様子	・新型コロナウイルス新変異株の影響により、海外からの入国が再び停止となった。また、ハーネスや半導体の供給不足により、景気回復の兆しがありながらも回復できない状況に陥っている。
		アウトソーシング企業(エリア担当)	周辺企業の様子	・自動車産業においては生産数が戻りつつあるが、前年比で考えると販売台数は減少しており、部品供給や半導体不足が影響を与えている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	x	-	-	-

7. 北陸（地域別調査機関：一般財団法人北陸経済研究所）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (北陸)		コンビニ（店舗管理）	来客数の動き	・各種の消費者や事業者応援キャンペーンの効果が顕著である。
		コンビニ（営業）	来客数の動き	・年末商戦が2019～2020年と比べて良くなっている。
		高級レストラン（スタッフ）	お客様の様子	・旅行代理店を経由した県民宿泊割引と市の補助が重複して利用でき、最大20000円の割引に観光クーポンが2000円付くので、高額プランの利用が殺到している。
		一般レストラン（統括）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着き、10月以降は消費者の外出機会が増えている。コロナ禍で消費活動が停滞して貯蓄に回っていたが、この第3四半期で富裕層を中心に旅行や高額商品の購入など、消費に対して積極的になっている。この消費者の傾向により、北陸は県外からの観光客や出張者でにぎわっている。また、地元の人々も外食機会が増え、郊外店でも週末の来客数は増えている。
		観光型旅館（スタッフ）	来客数の動き	・ほぼ前年並みの水準となっている。しかし、コロナ禍前と比べて76%とまだ回復しているとはいえない。宿泊者はほぼ個人客であるため、団体客が増加しないと経営的には苦しい。
		タクシー運転手	来客数の動き	・年末ということで忘年会等があり、12月は人出が多い。昼間も外出の機会が多くなり、利用客が増加している。新型コロナウイルスの影響が小さくなっているとみている。
		一般小売店〔鮮魚〕（役員）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの新規感染者数やや落ち着いてきたことと、県民割引などいろいろな特典があり、12月の初め頃は飲食店など予約で一杯であった。その後、新規感染者数の微増や新型コロナウイルス新変異株出現の報道で一部予約のキャンセルが出たが、すぐに他の客が予約し、好調が続いていると聞いている。
		一般小売店〔書籍〕（従業員）	来客数の動き	・来客数も売上も僅かだが伸びている。しかし、今のところ大きく伸びるとは見込めない。
		百貨店（売場主任）	単価の動き	・外出自粛ムードだった前年から一転し、店頭ではにぎわいが戻っている。特に高額品の売行きが好調で、全体をけん引している。18日からと26日からの最強寒波による積雪で来客数が落ち込んだため売上は失速したが、月全体では前年超えの見込みである。
		百貨店（販売促進担当）	お客様の様子	・年末年始の帰省や家族の集まりの準備ということで、クリスマスケーキやおせちが前年と比べて2けた増で推移している。また、企業を中心に、大人数での忘年会や新年会の外食やパーティーなどを控え、カタログギフトやおせちなどの代替商品を従業員へ送付する需要も増えている。
		百貨店（販売担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着き、来客数が増加している。感染対策をしている店内で安心して購入できることや県の景気支援策による後押しがあり、通常では来店が少ない客も来ている。お歳暮に加え、やや高単価商品に動きがある。特にスーツなどのビジネス関連品、成人式などのモチベーション需要が拡大している。気温低下に伴いコートやアウターなどの購入も増加しており、特に定価での購入が目立っている。後半は雪の影響を受け、やや低迷している。
		スーパー（仕入担当）	来客数の動き	・年末商戦を迎えて内食傾向が強くなり、来客数は想定以上であり、買上点数も好調に推移している。生鮮食品、際物商材が1度にそろう大型店の来客数が好調であるため、まとめ買いの需要がある。
		スーパー（統括）	お客様の様子	・クリスマスや年末に向けて、ケーキやおせちの売行きが好調である。新型コロナウイルスによる感染状況の落ち着きにより帰省が増え、大人数で新年を迎える客が増えているとみている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		コンビニ(店長)	来客数の動き	・前年や前々年と比べて来客数、売上共に上昇している。クリスマス商材などもコロナ禍前と同程度まで販売量が回復している。ただし、ここ数年では良いという数字で、コロナ禍前の売上まで完全に回復しているわけではない。むしろ人件費などの経費が増加している分、利益では厳しい状況である。
		その他小売[ショッピングセンター](統括)	来客数の動き	・来客数は前年から回復している。生活者の行動範囲が拡大していることに加え、小旅行や帰省などの移動や成人式が例年どおり開催予定であることなど、ハレ型消費に回復傾向がみられる。
		スナック(経営者)	来客数の動き	・本来は師走で忙しい月だが、2年前の新型コロナウイルス発生前の状態にはなかなか戻らない。ただ、今月は家族連れでの来店があり、8~9割近くまで戻っている。
		観光型旅館(経営者)	販売量の動き	・12月はGo To Travelキャンペーンがあった前年とほぼ同様の売上である。
		都市型ホテル(スタッフ)	販売量の動き	・新型コロナウイルス発生前には戻らないが、宿泊部門とレストラン部門では、Go To Eatキャンペーンや県及び市の支援企画もあり、小グループや個人客が戻りつつある。巣籠り需要のおせちは堅調に受注しているが、売上の3分の1を占める宴会が振るわず、全体として前年をやや上回る程度である。
		都市型ホテル(役員)	来客数の動き	・平日はビジネス利用を中心に微増、週末のレジャー利用は微減となり、10月から続いていた来客数の回復基調は緩やかな横ばいに転じている。
		旅行代理店(従業員)	来客数の動き	・出張の手配依頼が少し戻っている。
		タクシー運転手	販売量の動き	・病院への通院や買物など、日常生活がコロナ禍前の状態に戻っている。
		テーマパーク(役員)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染が落ち着き、人の移動や人流が増えて観光客も増加しており、個人客を中心に旅行需要がやや回復傾向にある。
		商店街(代表者)	来客数の動き	・デパートの食品売場はおせちを含め好調である。今年年初の大雪が記憶に新しいが、年末も大雪の予報が出ている。冬物衣料の動きに期待しているが、一挙に大雪となれば、消費にも悪い影響が出てくる。新型コロナウイルスの感染状況は落ち着いているが、新型コロナウイルス新変異株の感染が拡大すれば一挙に景気は後退する。
		商店街(代表者)	単価の動き	・毎年のことながら、12月は天候が悪く人通りが少ない。商売にはなかなかつながらないが、コロナ禍の影響で修学旅行生が大幅に増加している。ネット通販は高額品も売れ始めており好調である。とはいえ、様々な人の話を聞いていると商品や店によって格差が激しい。
		スーパー(総務担当)	来客数の動き	・チラシの掲載商品目当ての来客数は多いが、通常商品が伸び悩んでいる。
		コンビニ(経営者)	販売量の動き	・販売量も単価も変わらない。
		衣料品専門店(経営者)	お客様の様子	・人は戻っているように見えるが、まだ新型コロナウイルスに対する警戒感が解消されておらず、特に外出用の衣料品などへの反応は悪い。
		衣料品専門店(経営者)	単価の動き	・新型コロナウイルスの感染状況は3か月前よりは落ち着きをみせているが、用心する意識が以前よりも働いているようである。
		家電量販店(店長)	販売量の動き	・前年実績と比較すると落ち込んでいるように見えるが、前々年の実績とは変わらない。
		家電量販店(本部)	来客数の動き	・前月と状況が変わらない。来客数が伸びていない。
		乗用車販売店(経営者)	販売量の動き	・毎年12月は販売量がふくらむ月だが、この2~3か月はほとんど変わらない量しか売れていない。購入にはまだまだ慎重な姿勢であるように見受けられる。
		乗用車販売店(役員)	来客数の動き	・例年、冬場は来客数が減少する月だが、今年は落ち込みが少ないように見える。早く注文しないと希望の納期に間に合わないとの思いがあるのかもしれない。
		自動車備品販売店(役員)	お客様の様子	・11月に冬商戦が前倒しになったことも要因だが、今月は悪かった前年から更に来客数が減少している。冬の必需品は前年の豪雪による影響から販売量は上がっているが、高額商品の動きは変わっていない。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		その他専門店 〔酒〕（経営者）	販売量の動き	・12月はお歳暮の時期であるが、前年と同様に余り期待せず、必要最低限で仕入れたつもりだったが、やはり売上は予定より下回っている。
		一般レストラン （店長）	来客数の動き	・大人数の忘年会や新年会はほとんどないが、おせち関連は少し伸びているようである。
		通信会社（職員）	販売量の動き	・解約が一定数あるが、新規契約も同程度獲得できている。
		通信会社（営業担当）	販売量の動き	・思っていた以上に販売量が伸び悩んでいる。要因は半導体不足による在庫不足である。また、既存契約者が増えているためか、学生向けの新規契約者数が思ったより伸びていない。
		通信会社（役員）	販売量の動き	・3か月前同様に通信サービスにおいては、契約者数が前々年同期を上回っており、放送サービスにおいては、契約者数が前年同期を上回っている。
		通信会社（役員）	販売量の動き	・新規契約者数に大きな変動はなく、当社事業からみて景気は横ばいの感覚である。
		その他レジャー施設 〔スポーツクラブ〕（総支配人）	お客様の様子	・新型コロナウイルスによる感染状況のステージが下がり、平常時に戻りだすかと期待した矢先に新型コロナウイルス新変異株の拡大懸念が出て、平常時への動きに皆がブレーキを掛けたようである。慎重さは大切だが景気に対する足取りを再び鈍らせてしまい、冬の特別教室等の集客が伸びなくなっている。
		美容室（経営者）	単価の動き	・来客数や技術単価は前年とほぼ変わらないが、美容器具等の高額品がよく売れていて、結果として売上が増えている。
		住宅販売会社 （従業員）	販売量の動き	・材料の値上がりにより自社の価格を見直し値上げしたが、買い控えはなく、今後も物価上昇の懸念があるためか先買いの傾向があるように感じている。
		住宅販売会社 （従業員）	販売量の動き	・契約数は決して多くないが、大きく落ち込むわけでもない。周りの状況が良いと思えないが、前々年と同等の実績を残している。
		住宅販売会社 （従業員）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染が収束しないと、景気回復の見込みは難しい。
		住宅販売会社 （営業）	来客数の動き	・来客数の低迷に歯止めが利かない。前年同期比でも2割近く数字を落としている。
		一般小売店〔精肉〕 （店長）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染が一段落して皆遠出ができるようになったことで、前年は当店から県外に送っていた商品需要が今年はなくなり、大分マイナスとなっている。
		スーパー（店長）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染が落ち着きをみせてからスーパーマーケットとしては悪化している。
	×	商店街（代表者）	お客様の様子	・高額商品の動きが良いと聞いているが、一部のことで、大半の客単価は相変わらず低い。2年ぶりに来街したという客もあり、まだまだ客足が戻ったとはいえない。
	×	スーパー（店舗管理）	お客様の様子	・来客数と買上点数と単価の全てにおいて悪化している。開店から16時まで前年並みだが、生鮮を取り扱うドラッグストアの相次ぐ出店で夕方以降の流動客が止まらない。
	×	住関連専門店 （役員）	販売量の動き	・10月を過ぎてから、月ごとに来客数と販売数が減っている。
企業 動向 関連 (北陸)		-	-	-
		化学工業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・受注が増えている。
		精密機械器具製造業（役員）	受注量や販売量の動き	・10月以降上向き傾向が続いており、特に12月は季節要因を除いても高い売上を上げることができている。
		輸送業（管理会計担当）	受注量や販売量の動き	・11～12月と物量は戻りつつある。新型コロナウイルス発生前の前々年の水準に近づいている。
		通信業（営業）	受注量や販売量の動き	・受注量は前年同期比で増加傾向にある。また、来年度の導入に向けた見積書の提出依頼も増加しており、景気は上向き傾向に推移しているとみている。
		繊維工業（総括）	受注価格や販売価格の動き	・受注は企業や用途によってばらつきがあるものの、全体としては回復基調にあり、コロナ禍前の水準に回復している。ただし、外国人技能実習生を中心とした人手不足や原材料価格の高騰による収益圧迫を課題にあげる企業が増加している。
		プラスチック製品製造業（企画担当）	受注量や販売量の動き	・半導体不足等による自動車減産や原油高による原材料費高騰、輸送コスト増大のため、引き続き厳しい状況が続く。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		一般機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・2021年初頭からずっと販売量が増加傾向であったが、その増加量にも落ち着きが見え始めている。
		建設業（経営者）	競争相手の様子	・公共事業をメインに営む当社も同業他社も、受注量が大きく増えた様子は見えない。
		金融業（融資担当）	取引先の様子	・新型コロナウイルスによる新規感染者数の低水位を背景に経済活動が回復しており、取引先の売上も回復しつつある。また、ボーナス支給の復活や前年から増加させる取引先も多く、マインドは改善している。
		不動産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・同業者に聞くと、忙しいという人、全く忙しくないという人が半々である。法人関係での問合せが少ないため、変わらないとみている。
		司法書士	取引先の様子	・材料費の高騰など、経営が厳しい話をよく聞くが、新しい事業の開始や会社設立も多い。
		税理士（所長）	取引先の様子	・半導体を中心に中国を含む東南アジアのサプライチェーンが非常に滞っており、部品の納入ができず製造業の生産が進まない状況である。実際に稼働している受注工事についても予定期間内に完成しないこともあり、完成予定が延びることで収入が減る傾向になっている。
		食料品製造業（経営企画）	受注量や販売量の動き	・年末年始という最需要期のなか、平常月をはるかに上回る受注量に対して労働力が負けている状態で、一部では欠品や販売調整を余儀なくされている。
	x	輸送業（役員）	取引先の様子	・燃料などの仕入高の影響がある。
雇用 関連 (北陸)		新聞社〔求人広告〕（営業）	周辺企業の様子	・業種を問わず高額商材が売れていると企業側から話が出るようになってきている。また、飲食店に活気が出ている。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・業種を問わず、臨時雇用の求人が少しずつ活発になっている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・介護職、警備職など元々求人が盛んな職種で人員が不足している。一方で新型コロナウイルス発生前に求人が盛んだった飲食、宿泊、サービスなどでは戻り切っていない。
		求人情報誌製作会社（編集者）	求人数の動き	・求人数が伸びない。
		民間職業紹介機関（経営者）	求人数の動き	・緊急事態宣言が解除されても、まだ回復速度が遅く、求人は増加していない。
		*	*	*
	x	-	-	-

8. 近畿（地域別調査機関：りそな総合研究所株式会社）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (近畿)		百貨店（企画担当）	販売量の動き	・3か月前の9月は、上旬から中旬にかけて新型コロナウイルス変異株の影響が一番大きく、売上や入店客数が大きく減少していた。今月は9月と比べると大きく改善しており、特に土日が好調となっている。
		百貨店（服飾品担当）	来客数の動き	・12月に入り、11月末よりも来客数の多い状況が続く、都心店舗では前年比で30～40%の増加となった。この動きを受けて、ボーナス商戦やクリスマス商戦の売上は大きく伸びた。今年は日巡りの関係もあり、25日と19日の日曜日に売上のピークを迎えた。ギフト商戦では、ラグジュアリー関連を中心に高額商材の販売が大きく伸び、来客数と同じく30%以上の伸び率となり、客単価も上昇する形となった。年末用の食品も動きが良く、2けた成長を記録するなど、店頭では新型コロナウイルスの影響が感じられない月となっている。
		百貨店（外商担当）	来客数の動き	・12月商戦はお歳暮やプレクリアランス、クリスマスなどにより、来客数はコロナ禍前の水準にまで回復している。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		百貨店（マネージャー）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染拡大が一段落するなか、クリスマス商戦などでは、リベンジ消費が富裕層を中心に好調となっている。特選雑貨、服飾関連が前年比で約30%増え、美術品や宝飾、高級バッグも2けたの増加となり、それに連動してレストランも好調となった。さらに、クリスマスケーキは40%の増加で、おせちも数%の増加と、久々の帰省に向けた総菜食材の販売も好調に推移している。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・12月に入り、前月と比べて人も増えてきたが、まだテレワークが減少していない。一方、プリペイドカードなどのPOS Aカードの販売は増えている。
		コンビニ（経営者）	販売量の動き	・年末商戦が無事に動いてくれて安心している。
		家電量販店（経営者）	販売量の動き	・半導体不足による商品供給の問題はあるものの、給湯器が品薄との認識から、買換えを急ぐ動きが見られ、省エネ型給湯器の販売量が大幅に増えている。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・12月に入り、客の動きは大きく変化しているが、来客数は2年前と変わらないくらいに回復している。月末になるにつれて、新型コロナウイルス新変異株の新規感染者数が増え、慎重になる客も増えてきたが、感染症対策が浸透している影響で、大きくマナー違反をする客も余りおらず、トラブルはほとんどない。
		都市型ホテル（フロント）	来客数の動き	・各自治体による施策の影響で、全国的に稼働率が飛躍的に上がっている。ただし当社に限っては、大阪の中心地から外れた立地であるため、低稼働の日も多い。
		都市型ホテル（客室担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染状況が少し落ち着き、府民割や秋の観光シーズンとも重なり、予約の回復が進んだ。週末の旅行需要にも回復がみられ、客室は高稼働で推移した。旅行代理店からの予約数も回復しつつある。
		タクシー運転手 競輪場（職員）	お客様の様子 単価の動き	・観光客がかなり増加している。 ・今月の客単価は1万3461円で、3か月前の1万1259円よりも上昇している。
		美容室（店員）	お客様の様子	・洋服など、いろいろな分野での購買意欲が感じられる。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・12月に入り、日々の人出は多くなっている。それでもなかなか売上の増加にはつながらない。
		一般小売店〔珈琲〕（経営者）	販売量の動き	・カフェなどの飲食店への卸売額が増えている。
		一般小売店〔時計〕（経営者）	来客数の動き	・今月は久しぶりに来客数が増えたほか、腕時計にも少し動きが見られ、ほっとしている。ただし自分用の購入であり、国産の有名メーカーの商品ではあるが、単価の低い物が求められている。時計は必要な物として購入されているが、それ以上の存在ではないと感じている。
		一般小売店〔事務用品〕（経営者）	販売量の動き	・緊急事態宣言の解除で、今まで自粛していた消費が少し戻り、商談も増えている。ただし、新型コロナウイルス新変異株の発生もあり、今後は難しい。
		一般小売店〔花〕（経営者）	販売量の動き	・コロナ禍が少し落ち着き、取引先も通常の営業を始めたため、販売量が増加している。
		一般小売店〔衣服〕（経営者）	来客数の動き	・12月に入って気温が下がったことにより、重衣料やセーターの動きが好調である。セーター類に至っては、販売が前年の1.3倍に増え、特にカシミアなどの高額品がよく動いた。さらに、12月からは市独自の商品券の利用が始まり、客が活気付いている。
		一般小売店〔鮮魚〕（営業担当）	それ以外	・売上をみると、3か月前よりも30%増加している。
		一般小売店〔野菜〕（店長）	お客様の様子	・前年と違い、飲食店などでのクリスマスケーキの注文が復活し、少し動きが出てきた。ただし、年末に向けての大口の忘年会は少なく、完全には戻りきっていない。
		一般小売店〔菓子〕（営業担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染が少し落ち着き、年末商戦もまずまずの売上で、ほっとしている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		百貨店（売場主任）	お客様の様子	・今月の売上は前年を上回るものの、目標は下回る見込みである。不要不急の商品の購入を控えるという客の傾向は変わらず、バーゲン是好調で定価商品は不調なため、購買単価は低下気味となっている。緊急事態宣言の解除後はリベンジ消費に期待されたが、現状はその恩恵がみられない。
		百貨店（売場主任）	来客数の動き	・2年前の12月並みの来客数となっている。
		百貨店（売場主任）	来客数の動き	・郊外店である当店の来客数は、12月は28日までで前年並みとなっているが、都心店の入店が急速に回復し、中核店舗の来客数は前年比で25.3%増えた。また、衣料品関連の売上も前年を大きく上回っており、本格的な回復が期待できる。
		百貨店（企画担当）	お客様の様子	・11月下旬から、来客数、売上共に回復傾向にある。ただし、コロナ禍前の9割には届いていない。
		百貨店（サービス担当）	お客様の様子	・今月も緊急事態宣言の解除効果により、来客数、売上共に、前年比で約10%の増加となっている。また自宅用の需要で、クリスマスケーキやおせちを中心に、食品が好調に推移している。一方、クリスマスプレゼントも婦人用の身の回り品を中心に好調となっている。
		百貨店（販促担当）	来客数の動き	・12月も新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いており、来客数、街の人出共に増えている。マスクや消毒などの基本的な感染症対策は続いているが、外出や飲食に対する自粛ムードは明らかに薄れている。不要な物や安いだけの物は動かないが、年末であるほか、長引いた自粛疲れを癒す意味合いもあり、良い商品が動く傾向にある。気温の低下も後押しし、重衣料を始めとする防寒商材も活発に動いている。
		百貨店（売場マネージャー）	来客数の動き	・クリスマスを迎え、ギフト需要の盛り上がり来客数の推移からも感じられる。
		百貨店（売場マネージャー）	来客数の動き	・百貨店の来客数は、9月の前年比がマイナス4.7%、10月がプラス2.2%、11月がプラス1.1%、12月がプラス2.5%と、3か月前よりも増加傾向にある。また、60～70歳の客の増加により、婦人服部門が復調し始めている。
		百貨店（商品担当）	来客数の動き	・12月中旬以降、都市部で新型コロナウイルスの新規感染者数が増えつつあるなか、来客数の伸びが鈍くなり、売上の増加も頭打ちとなっている。また、海外からの新型コロナウイルス新変異株の流入による感染拡大で、より一層警戒感が高まっている。年末年始の買物も、おせちのようにオンライン注文ができるものは来店せずに済ませ、店舗での購入は、自宅に近い中小規模の郊外店を利用する傾向がみられる。
		百貨店（販売推進担当）	お客様の様子	・クリスマス商戦は、ラグジュアリーブランドや高級時計の販売が好調に推移している。衣料品も値下げを先行して実施し、前年の実績をクリアしている。
		百貨店（マネージャー）	来客数の動き	・コロナ禍や消費税増税の影響がない2018年比でみると、今月は3か月前よりも来客数が増加傾向にある。また、売上についても回復傾向にある。
		百貨店（営業推進担当）	来客数の動き	・来客数は前年比で増加傾向にある。感染症対策をしっかりとっている場所であれば、外出先での新型コロナウイルスの感染リスクは少ないという認知が高まっている。
		百貨店（店長）	来客数の動き	・前年とは異なって帰省する人が増え、その準備の買物が間違いなく増えている。一方、特選品を除くアパレル商品の動きは悪いままであるほか、ぜいたく品以外の不要な買物が、コロナ禍で減ったまま戻らない。
		百貨店（特選品担当）	来客数の動き	・前年が緊急事態宣言の発出前であったこともあるが、来客数が前年比で35.4%増加とにぎわいが戻りつつある。客の購買意欲も高く、12月のラグジュアリーブランドの販売は好調に推移している。
		百貨店（マネージャー）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染状況の落ち着きや、ボーナスの支給、子育て世代への給付金の給付見込みなど、消費意欲をかき立てる要素が多くみられる。さらに、月中旬から気温も大きく下がり始め、アウターやジャケット、セーターなどの単価の高い冬物商材の動きが目立っている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		百貨店（宣伝担当）	お客様の様子	・12月に入ってクリスマスや年賀などのギフト需要が急激に伸びている。また、これまでの売れ筋商材はふだん使いの実用的でシンプルな物が多かったが、トレンド感のある物や、パーティー用のバッグが動き出すなど、ハレの日の消費に積極的な様子が見られる。
		スーパー（店長）	お客様の様子	・コロナ禍で使っていなかったお金が動き出していると感じる。
		スーパー（店長）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染も落ち着いているなか、客の様子を見ていると、買物の仕方が戻りつつある。感染症対策を取りつつ、コロナ禍前に売れていた商品の販売が戻っている。
		スーパー（店員）	お客様の様子	・タイムセールを毎日実施したことで来客数が増えたり、新年に向けての買い出しで多くの客の来店がみられる。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・企業への出勤人数が少し戻ったものの、在宅勤務の定着化により、コロナ禍以前の水準には届いていない。
		コンビニ（経営者）	お客様の様子	・人の動きは活発化しており、飲食店での外食や百貨店での購買のほか、旅行などの外出も目立つ。
		コンビニ（店長）	来客数の動き	・夜の時間帯の来客数が少し増えている。
		コンビニ（店長）	来客数の動き	・コロナ禍の影響が小さくなっている。
		コンビニ（店員）	来客数の動き	・周辺の活気も戻りつつあり、来客数も増加している。特に、旅行での団体客が目立つようになってきた。また、以前は皆無であった外国人の客も増えている。
		コンビニ（店員）	お客様の様子	・12月半ばから、公共料金の支払に来店したついでに買物をする客が多く、レジ横の商品などの販売も増えている。
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・一時的に新型コロナウイルスの感染が収まっているので、消費が戻っている。
		乗用車販売店（販売担当）	販売量の動き	・半導体不足の影響で、販売する車の在庫がないが、客の購買は上向いている。商品がそろえば、販売も増加すると予想される。
		乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・インターネット経由の問合せや購入が増えており、販売量が増加している。
		住関連専門店（店長）	来客数の動き	・店頭の来店は減ったままであるが、少しずつ通販の受注が回復している。
		その他専門店【医薬品】（管理担当）	販売量の動き	・来客数の大幅な増加はみられないが、買上点数、客単価ともに改善傾向にある。今後、人出の増加とともに、来客数の増加が期待できる。
		その他専門店【ガソリンスタンド】（経理担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数の減少や、巣籠り需要の反動に加え、原油相場も一時期よりも下がっていることから、週末を中心に販売量は前年比で増加している。
		その他小売【インターネット通販】（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルス新変異株の感染は広がりつつあるが、感染症対策も落ち着き、年末年始は人出も多い。消費に活気が出ている。
		高級レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・12月に入り、あっという間に連日満席となっている。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・忘年会シーズンに入ったが、前年よりも少人数での会食が増えている。
		観光型ホテル（経営者）	販売量の動き	・12月の販売量は、前年とほぼ同じである。2年前の12月と比べると、75%まで回復している。
		観光型ホテル（客室担当）	来客数の動き	・コロナ禍の収束傾向と、府の観光振興策による効果が出ている。
		観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・旅行などに関する府民割の動きが良く、今月末までは客が多くなっている。
		都市型ホテル（管理担当）	来客数の動き	・レストランの利用者数が、紅葉シーズンの後も減ることなく、安定している。
		都市型ホテル（管理担当）	来客数の動き	・徐々に来客数が増えているが、新型コロナウイルス新変異株の感染者が発生したことで、今後の動向が気掛かりである。
		都市型ホテル（総務担当）	来客数の動き	・宿泊やレストランの利用は増えているが、飲酒を伴う夕食や、企業の宴会需要は伸び悩んでいる。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		都市型ホテル (販売促進担当)	来客数の動き	・例年12月は宿泊稼働率が上向くが、今年は新型コロナウイルスの影響を差し引いても宿泊客が増えており、前月よりも10ポイント高い69%にまで伸びた。出張や観光客の増加に加え、府の観光振興策の影響で、府内在住の客による利用も多かった。レストランでも、クリスマスディナーが早くから予約で満席になるなど、久しぶりににぎわっている。
		旅行代理店(役員)	販売量の動き	・兵庫県での県民割の実施により、県内旅行の需要が拡大している。
		タクシー運転手	お客様の様子	・年末を迎えて、新型コロナウイルスの新規感染者数が減少し、影響も落ち着き出したため、安心感が広がって人の動きが活発になっている。一方、新型コロナウイルス新変異株の報道に一喜一憂しており、夜間の出歩きや会食などの動きに顕著に反映している。
		タクシー運転手	来客数の動き	・以前と比べて、街角などで人の動きが増える傾向がみられる。繁華街や街中でも、手を挙げてタクシーに乗る客が増加した。それに伴い、無線や配車アプリの利用も増えている。
		通信会社(経営者)	お客様の様子	・行動の制限が解除されたことで、客の動きが拡大している。
		観光名所(企画担当)	来客数の動き	・12月になり、遠足などの団体客の来場があるなど、徐々に来客数が増えている。
		その他サービス [学習塾](スタッフ)	販売量の動き	・退会者数、休会者数の悪化が止まってきたと感じる。
		一般小売店[衣服] (経営者)	販売量の動き	・冬物衣料の動きは少しみられるが、よく動いているとはいえない。
		一般小売店[呉服] (店員)	お客様の様子	・少し良くなっていたが、新型コロナウイルス新変異株が発生したため、また来客数が減少しつつある。
		百貨店(外商担当)	販売量の動き	・主力の婦人服、紳士服の売上が前年を上回り、好調に推移している。今までは、富裕層の高額品のみが売れていたが、中間層にも売上の回復傾向がみられる。しかし、2年前の新型コロナウイルス発生前の水準には遠く及ばない。
		スーパー(経営者)	お客様の様子	・新型コロナウイルスの新規感染者数が減少するとともに、外食が増えたため、買上点数が落ちている。ただし、クリスマスや年末年始といったハレの日に出る動きはまだまだ少ないのか、売上が大きく伸び、通常の日落ち込みをカバーしている。
		スーパー(店長)	販売量の動き	・例年12月に増える肌着関連の販売数量に、今年は変化がない。
		スーパー(店員)	単価の動き	・野菜の価格が継続的に安かったため、客単価も低く、余り変化はみられない。
		スーパー(企画担当)	お客様の様子	・前年は新型コロナウイルス関連の特需で大きく伸びたが、その後、ドラッグストアや競合店のオープンが続いた。売上は前年を上回っているが、価格競争や人件費などのコストの増加により、利益は大きく減少している。
		スーパー(販売促進担当)	販売量の動き	・コロナ禍以降のまとめ買いの反動により、徐々に売上が落ちていたが、現状は踊り場状態であり、ウィズコロナの状況になりつつあると感じる。
		スーパー(社員)	お客様の様子	・前月からコロナ禍が落ち着いたこともあり、客の来店も堅調に推移している。特に、クリスマスケーキやおせちの予約といったイベントの実績は、前年と比べて大きく伸びている。その一方、ふだんの客の買物には節約志向が感じられる。
		コンビニ(店員)	単価の動き	・たばこやドリンク類など、目当ての商品だけを買っていく常連客が多いため、客単価は伸びていない。
		衣料品専門店 (経営者)	来客数の動き	・年末になってようやく客が戻ってきたが、財布のひもは固く、必要な物しか購入しない。安いからといって、プラス1点の購入はない。
		衣料品専門店 (店長)	来客数の動き	・3か月前と比べると、来客数、売上共にほぼ横ばいの状況である。前年、2年前と比べても良くない。特に、今月22日に新型コロナウイルス新変異株の市中感染が報道されてからは、客の動きも少し止まっている。
		家電量販店(店員)	来客数の動き	・家電の販売状況は商品ごとに異なり、良い物と悪い物に分かれるが、全体的には余り変わらない。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		家電量販店（企画担当）	来客数の動き	・巣籠り需要の増加で、前年は調理家電やパソコン、Webカメラなどが非常によく売れた。ただし、今年はその勢いが止まり、来客数が前年割れとなっている。
		その他専門店【宝石】（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響や、ガソリンなどの様々な物価の上昇により、客の心理がネガティブになっている。
		その他専門店【ドラッグストア】（店員）	販売量の動き	・他社のキャンペーンによる影響で、12月の前半は売上が落ち込んだ。依然としてぜいたく品や単価の高い化粧品は余り動いていない。動いているのは、飽くまで生活必需品であり、価格が上がると売上は落ち込む。
		その他専門店【宝飾品】（販売担当）	販売量の動き	・通常時よりも、催事などでの受注分が売上を補う形となっているが、毎月は期待できない。
		その他専門店【スポーツ用品】（経理担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルス新変異株による影響については、3回目のワクチン接種や、経口薬の効果次第で、経済の回復ペースが左右される。
		その他小売【インターネット通販】（オペレーター）	販売量の動き	・特に注文が殺到するような商品もなく、売上には変化がない。
		一般レストラン（企画）	販売量の動き	・売上の前年比をみると、前年の反動で前月よりも改善しているが、前々年比でみると、10月以降はほぼ横ばいで推移しており、元には戻り切っていない。
		その他飲食【自動販売機（飲料）】（管理担当）	販売量の動き	・コロナ禍が収まったように感じたが、新型コロナウイルス新変異株の感染が不気味に広がり、経済活動の邪魔をしている。
		旅行代理店（店長）	来客数の動き	・緊急事態宣言の解除後、来客数、販売共に徐々に回復していたが、新型コロナウイルス新変異株の発生が騒がれるようになり、来客数が減少している。
		旅行代理店（支店長）	お客様の様子	・緊急事態宣言やまん延防止等重点措置などが解除され、もっと人流が増えると期待していたが、新型コロナウイルス新変異株などの発生により、客が外出を躊躇うようになっている。また、Go Toキャンペーンが来年に再開するとの予想もあり、そのときまで待つ動きも見られる。
		タクシー運転手	お客様の様子	・繁忙期に入り、日中の人の流れや営業収入は、コロナ禍前の7～8割程度で推移している。
		テーマパーク（職員）	来客数の動き	・緊急事態宣言の解除を受けて、来客数に回復の動きがみられたものの、新型コロナウイルス新変異株の感染拡大により、出控えにつながることを危惧している。
		その他レジャー施設【複合商業施設】（職員）	お客様の様子	・来客数は回復基調が続いているが、食品以外の動きは鈍い。また、客の滞留時間も短い。
		その他レジャー施設【飲食・物販系滞在型施設】（企画担当）	来客数の動き	・冬季の閑散期となり、判断しにくい部分はあるが、出足が悪いとまではいえない。
		住宅販売会社（経営者）	単価の動き	・余り良くない状態が続いていると感じる。
		その他住宅投資の動向を把握できる者【不動産仲介】（経営者）	お客様の様子	・不動産取引価格については横ばいで、前月から変化はみられない。
		その他住宅【展示場】（従業員）	販売量の動き	・住宅展示場のアンケート数は前年よりも減っているが、各出展企業の契約数は、前年よりも増える傾向が続いている。
		その他住宅【住宅設備】（営業担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルス新変異株の影響によるキャンセルは、まだ始まっていない。ただし、ここへきてメーカーによる部品製造の遅延が相次いでおり、業務がスムーズに流れていかない。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		その他住宅〔情報誌〕（編集者）	お客様の様子	・新築マンション価格の上昇により、一部の物件では販売の減速もみられるものの、市場全体ではほぼ横ばいの推移となっている。新築一戸建て住宅の価格も上昇基調にあるため、実需への悪影響が懸念される。
		スーパー（店長）	お客様の様子	・高額商品が例年よりも売れなくなっている。
		スーパー（企画担当）	来客数の動き	・日用品の売上が低迷してきている。新型コロナウイルスの影響が小さくなり、買い回りの動きがみられる。
		スーパー（経理担当）	販売量の動き	・目安となる既存店売上は前年を下回っている。2年前と比べて、新型コロナウイルスの感染状況が落ち着き、外食や旅行などの動きが増えたと考えられる。
		コンビニ（店員）	お客様の様子	・寒くなるにつれて、新型コロナウイルスの新規感染者数も増えつつあり、客足が伸びない。
		家電量販店（店員）	来客数の動き	・新型コロナウイルス新変異株の感染が拡大し、客の感染に対する意識が高まった影響か、来客数が前年比で80%と低調な推移となっている。ボーナス支給があり、上向きとなる予測であったが、来客数は前年を下回っている。
		家電量販店（店員）	販売量の動き	・いわゆる最寄り品の購入も控えていることが顕著である。量販店でわざわざ買わなくても、消耗品はコンビニでも入手できるため、購入先の分散化が更に進んだように感じる。また買い回り品は、高額品が単価の上昇をけん引しているが、やはり全体的には買い控えが多く、多少の不具合であれば買換えない状況に変化はない。
		家電量販店（営業担当）	それ以外	・当社の取扱商品に対し、半導体不足の影響がかなり出ており、納期のめどが立たない状態となっている。
		乗用車販売店（営業企画）	来客数の動き	・来客数が減少傾向にある。
		観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・今月で旅行の県民割が終了する。1月の予約は非常に悪く、前年比で30%のダウン、前々年比で60%のダウンとなっている。
		通信会社（社員）	販売量の動き	・コロナ禍による巣籠り需要が落ち着き出した一方、まだまだ地域経済の回復は遅いため、サービスの加入は大きく減少している。
		通信会社（企画担当）	販売量の動き	・コロナ禍で一時的にデジタルトランスフォーメーション需要が増え、受注の増加がみられた前年と比べて、年末の受注は減少している。新型コロナウイルス新変異株の影響もあるが、長引くコロナ禍の影響で、マーケティング費用を抑える企業が増えたと感じる。
		観光名所（経理担当）	来客数の動き	・9月は延期になっていた修学旅行の実施が集中したため、例年以上の来客となった。9月と比べると、今月はやや悪くなっているが、2年前の12月と比較するとほぼ同じような水準である。
		美容室（店長）	来客数の動き	・当店は高齢の客が多く、緊急事態宣言の解除後も客の戻りが非常に遅い。また、新型コロナウイルス新変異株の感染拡大で今後が心配である。
		住宅販売会社（経営者）	来客数の動き	・コロナ禍は落ち着きを取り戻したが、対面によるビジネスはいまだにコロナ禍前の状態には戻らず、中小零細企業は新規案件の獲得に苦慮している。
	×	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・11～12月は客が買物に出てこなかったため、販売が難しかった。会合や同窓会などで、外に出る環境になってほしい。
	×	家電量販店（人事担当）	来客数の動き	・緊急事態宣言が解除されても、来客数が改善しない。リベンジ消費という言葉があるが、家電業界には当てはまらず、非常に厳しい状況にある。やはり巣籠り需要の反動減から脱するには、時間が掛かりそうである。
企業 動向 関連 (近畿)		その他サービス業〔店舗開発〕（従業員）	受注量や販売量の動き	・3か月前といえば緊急事態宣言の真ただ中で、観光客の往来もなく、飲食店の時短営業による影響もあった。一方、今月は様々な規制が解除されたこともあり、ターミナル駅を中心に利用客が増えている。
		食料品製造業（営業担当）	取引先の様子	・新型コロナウイルスの感染が落ち着いており、飲食店への客足が増えた結果、飲料水の売上也徐々に増えている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		窯業・土石製品製造業（管理担当）	受注量や販売量の動き	・コロナ禍が始まってから約2年が経過し、ワクチン接種などが進んだが、新型コロナウイルス新変異株も発生し、なかなか感染が収まらない。その一方、人流は増えるなど経済を回そうという動きもあり、受注量はますますとなっている。予断を許さないが、経口薬も承認されつつあるため、今後も大きな落ち込みはないと予想される。
		金属製品製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・北米向けの販売が好調である。
		輸送用機械器具製造業（役員）	取引先の様子	・1案件当たりの受注額が上がっている。
		広告代理店（営業担当）	受注量や販売量の動き	・紙媒体、Web媒体共に、広告の売上は前年を上回っている。
		経営コンサルタント	受注量や販売量の動き	・困難な状況のなか、取引先と生き残りを掛けた戦略を進めている。人材育成と販売戦略という2つの柱を立て、来年の春先までをめどに販売促進を行う。
		食料品製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・年末としては、ここ数年よりも荷動きが悪い。どちらかといえば、当社の商品は生活必需品であり、景気に大きく左右されることはなかったが、ここへきてコロナ禍による生活の困窮の影響が出ている。
		パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・月末が近づくとつれて受注量は減少したが、計画どおりの動きである。
		出版・印刷・関連産業（企画営業担当）	受注量や販売量の動き	・受注量の減少はやや収まってきたように感じるが、増加傾向にはなっていない。
		プラスチック製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・期末に向けての生産が徐々に始まっている。販売量や受注量をみると、変化はほとんどない。
		一般機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・ここ2年は絶不調で、売上が大幅に減っている。今もその状況は変わっていない。
		一般機械器具製造業（設計担当）	取引先の様子	・受注、売上については、安定してきたと感じる。
		電気機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・今年は年間で売上が35%増えたが、仕入れの納期が長くなるなど、マイナスの動きも増えている。しばらくは様子見が必要だと判断している。
		電気機械器具製造業（宣伝担当）	受注量や販売量の動き	・洗濯機や冷蔵庫など、比較的好調な動きが見られる商品もあるが、前年に大きく伸びた空気清浄機の販売は前年を大きく割り込み、テレビなどの販売も伸び悩んでいる。
		電気機械器具製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・仕事に使う材料が、コロナ禍の影響で入ってこない。
		建設業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・建設資材の高騰や納期の不安定化により、取引先の予算や工期に合わず、苦慮している。
		建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・こう着状態にあった案件が、年末にかけて少し動いた感はあるが、受注量としては変わらず、例年よりも低調となっている。
		輸送業（営業担当）	取引先の様子	・送料を無料にしてから、売れるようになっている。
		金融業（営業担当）	それ以外	・新型コロナウイルスの影響が、景気を左右している。
		金融業（副支店長）	取引先の様子	・客との会話によると、受注状況は3か月前と変わらない。
		金融業〔投資運用業〕（代表）	それ以外	・新型コロナウイルスの感染が収束していないほか、政府の補助は十分ではなく、スピード感もない。商売をしている人は非常に不安を感じており、その不安が積極的な活動をさまたげている。
		広告代理店（営業担当）	受注量や販売量の動き	・コロナ禍からの回復の兆しが出始めていたが、新型コロナウイルス新変異株の発生で、近々の広告出稿を見合わせる動きが出ている。
		経営コンサルタント	取引先の様子	・取引先である広域型の商店街では、一時期よりも人通りは増えているが、買物客が増えていない。
		その他非製造業〔商社〕（営業担当）	受注量や販売量の動き	・製品の生産が遅れており、納期遅延の状況が続いている。
		繊維工業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・催事は開催されているが、来客数や客単価の悪化に加え、コストが割高になっている。取引額は前年比で30%減少となっている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		金属製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・半導体不足や海外からの部品の入荷遅延などで、自動車業界では工場の稼働率が低下している。全体的な荷動きが悪く、受注が大幅に減少している。
		建設業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・企業関係の設備投資が少ない。
		不動産業（営業担当）	取引先の様子	・新型コロナウイルスの影響で、アパレルなどの店舗の撤退が続いている。一方で新たな出店は少ないため、空室率の上昇と賃料の低下が進み、景気が悪くなっている。
		その他非製造業 [機械器具卸]（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・日々の受注量が減少している。
	x	その他非製造業 [電気業]（営業担当）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響は依然として大きい。
雇用 関連 (近畿)		-	-	-
		人材派遣会社（役員）	求人数の動き	・前月に一旦落ち込んだ求人数が、12月に入って回復傾向にある。
		人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	・前々年比で9割程度まで、求人件数が戻っている。
		人材派遣会社（支店長）	求人数の動き	・求人数が急増している。
		人材派遣会社（管理担当）	求人数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数が減少し、社会全体が落ち着きを取り戻してきたことで、求人数も徐々に増えつつある。
		人材派遣会社（営業担当）	周辺企業の様子	・街中の人出は明らかに増加しており、活気が戻っている。
		新聞社[求人広告]（管理担当）	求人数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数の激減による客の増加で、飲食や観光、宿泊業の需要が戻り、求人数は回復している。消費者もウィズコロナのライフスタイルに慣れて、活発に活動しており、現時点では景気は上向いていると感じている。
		新聞社[求人広告]（営業担当）	それ以外	・緊急事態宣言が解除されて1か月以上が経過し、外食の制限なども解除され、3か月前の状況からは考えられないほどの流れが戻ってきたように感じる。年末は帰省ラッシュやセール品の購入など、コロナ禍前に戻ったような雰囲気になり、消費も増えている。
		職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・企業からの意見を聞くと、新型コロナウイルスによる売上の落ち込み分が上向き気味になっているだけで、コロナ禍前の水準には戻っていない。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・前年と比べて、新規求人数は少しずつ増えている。
		民間職業紹介機関（営業担当）	求人数の動き	・12月となり、来年度の採用に向けた企業の動きが活発化している。求人票の大学への送付も始まっており、大学のキャリアセンター側の話や、前年よりもより早い時期から送付されるケースが増えている。求人票総数の増減は現時点では比較できないが、早期の送付が始まっていることから、最終的な求人数も増えると予想される。
		民間職業紹介機関（営業担当）	求人数の動き	・コロナ禍による特需は、一旦落ち着いていたが、再び復活している。
		人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・コロナ禍が少し落ち着き、経済活動が活発になっている。大型の補正予算が決まり、ますます景気が年度末に向けて良くなっていく。派遣業界も前月に続いて忙しく、仕事の注文は黙っていても入ってくるため、人材をいかに確保するかが課題である。コロナ禍前のように、マッチングに苦労する状況になりつつある。
	新聞社[求人広告]（担当者）	それ以外	・コロナ禍が落ち着き、少しずつ関西の地元企業による新聞広告や、デジタル広告の出稿が増えてきたが、前月と大きくは変わらず、増加傾向とはいえない。	
	職業安定所（職員）	求職者数の動き	・大阪の11月の新規求人数は、前年比で5か月連続の増加となり、特にこれまで動きの弱かった卸売・小売や宿泊・飲食で、3か月ぶりの増加となった。一方、新規求職者も大幅に増加し、特に在職者や自己都合離職者の増加が目立っている。徐々に積極的な求職の動きが出てきたとみられるが、依然として応募件数は低調であり、実際の転職に関しては慎重さがうかがえる。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		学校〔大学〕 （就職担当）	採用者数の動き	・コロナ禍が続くなかでの採用戦線であり、対面型の採用は少なかったが、医療機関の採用意欲は衰えず、現在も求人依頼が続いている。ただし、学生たちの医療現場でのトレーニングができていない点が心配である。
		学校〔大学〕 （就職担当）	求職者数の動き	・原材料費が上がっているなど、インフレ傾向にあるが、依然として所得が上がらないため、景気が良くなっているとは言い難い。一方、一部の業界を除けば、新型コロナウイルスの影響は限定的となっている。
		アウトソーシング企業（社員）	採用者数の動き	・人手不足であるが、人手の確保ができないどころか、雇止めの話が出ている。
	x	-	-	-

9. 中国（地域別調査機関：公益財団法人中国地域創造研究センター）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (中国)		その他専門店 〔和菓子〕（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いているため、景気は良くなっている。
		高級レストラン （事業戦略担当）	来客数の動き	・県の観光支援割が好調で、近隣住民中心ではあるが、利用が増加している。
		一般レストラン （経営者）	お客様の様子	・職場の忘年会等の宴会利用はほとんどなく、金曜日や土曜日の21時以降の売上は相変わらず低迷している。ただ、少し早い時間のディナーについては、いずれの曜日でも少人数での飲酒を伴う利用が大幅に増加している。また、日曜日の家族連れの利用も増加している。
		一般レストラン （経営者）	販売量の動き	・緊急事態宣言が解除され、年末になり、ボーナスも支給されたため、状況が良くなっている。
		一般レストラン （店長）	来客数の動き	・11月から新型コロナウイルスの感染状況が改善しており、客からも安心感が出たとの言葉を聞いている。前年は自粛中だったので一概に比較はできないが、来客数は増加傾向にあり、前年と比べ70%増加している。
		都市型ホテル （企画担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数の急激な減少で、駅周辺の人出が多くなっている。東京や大阪からのビジネスマンの宿泊需要に加え、県民割を利用する県内の観光客の増加で、平均宿泊稼働率が90%を超えている。また、忘年会シーズンに伴い、宴会需要も回復してきているが、大型の受注は少ない。レストランも個人客の利用が戻り、回復してきている。
		タクシー運転手	お客様の様子	・県内の新型コロナウイルスの新規感染者数が0人となり、年末ということもあって、利用者がかなり増加している。県外客も増加しており、夜の利用も通常の7～8割程度まで回復している。
		タクシー運転手	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いているため、11～12月にかけて利用者が増加し、2年前の状態に戻っている。
		商店街（理事）	お客様の様子	・客が新型コロナウイルス禍の生活に慣れたため、消費意欲が高まっている。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着き、人出が増加している。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・業種によっては、景気が回復傾向にあるが、前々年の水準には戻っていない。
		一般小売店〔印章〕 （経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いているため、来客数が多少回復している。
		一般小売店 〔靴〕（経営者）	来客数の動き	・リピート客からの受注だけでなく、新規客からの単価の高い商品の受注も少しずつ増加してきている。
		百貨店（営業担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着き、来客数が前年を上回る状況で推移している。
		百貨店（営業担当）	単価の動き	・12月に入り、客の動きが良くなり、定番商品、クリアランス商品、高額商品が売れている。
	百貨店（営業企画担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数の減少に伴い、婦人衣料の売上は回復傾向、土産品等の売上は新型コロナウイルス流行前の水準まで戻りつつある。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		百貨店（外商担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの新規感染者数が減少し、客の外出意欲が高まってきたこともあり、これまで低調だった衣料品が回復傾向にある。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・前年と違い、週末に外出する客が増加し、夕方以降の来客数の増加につながっている。学校行事等の増加が需要の増加につながっているほか、クリスマス、年末商材、高単価商品の動きが良く、順調である。また、気温の低下もあり、衣料品も好調である。
		コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・クリスマス期間中の来客数が前年を上回るなど、景気はやや良くなっている。
		コンビニ（副地域ブロック長）	来客数の動き	・緊急事態宣言が解除されて以来、人の動きが活発になっている。新型コロナウイルス新変異株の脅威があるものの、今後、更に観光が復活してくれば、来客数は元に戻る。
		衣料品専門店（代表）	販売量の動き	・緊急事態宣言が解除され、新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いていることから、ランチや旅行用の衣類を購入する客が増加している。
		家電量販店（販売担当）	販売量の動き	・ボーナス、年末、給付金と好条件がそろったため、景気はやや良くなっている。
		自動車備品販売店（経営者）	販売量の動き	・数年に1度の寒波のお陰で、冬季商品の需要が増加している。
		その他小売 [ショッピングセンター]（支配人）	来客数の動き	・10月以降、新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いたため、来客数が徐々に増加し、前年並みとなっている。特に、これまで厳しかった飲食が回復している。
		その他小売 [ショッピングセンター]（管理担当）	来客数の動き	・12月に入り、若干ではあるが、土日の集客が戻ってきている。ただ、新型コロナウイルス新変異株の市中感染の報道など不安材料は残っており、土日などは集客状況の間合せもある状況で、客が依然として外出に対する不安感を持っている。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・行政主導の地域経済対策もあり、外食が許される雰囲気が出てきたことに伴い、客が明るくなっている。
		バー（経営者）	来客数の動き	・年末の慌ただしい時期なので、景気はやや良くなっている。
		観光型ホテル（営業担当）	来客数の動き	・県民割での個人利用客の増加傾向がみられる。
		都市型ホテル（企画担当）	来客数の動き	・少人数の忘年会利用の予約が増加している。
		都市型ホテル（総支配人）	来客数の動き	・自治体などの支援策の効果もあり、ビジネス、観光いずれも新型コロナウイルス流行前の水準に近いところまで戻りつつある。
		旅行代理店（支店長）	販売量の動き	・Go To Travelキャンペーンの再開を期待した予約も入り始めている。
		タクシー運転手	販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着くにつれて、売上が増加しており、ほぼ前年の水準まで回復している。
		放送通信サービス（総務経理担当）	お客様の様子	・利用料の延滞が減少傾向にある。
		通信会社（企画担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルス流行前と比べると、まだまだ閉塞感があり、ボーナス支給時期であっても、客が消費に前向きな感じはない。ただ、毎日、新型コロナウイルスの新規感染者数を気にしていた時期と比べれば、状況は良くなっている。
		通信会社（経理担当）	来客数の動き	・光サービスのエリア拡張に伴い、客からの問合せが多くなり、申込件数も増加している。
		美容室（経営者）	お客様の様子	・客が買物や食事に出掛ける回数を少しだけ増やしている。
		住宅販売会社（従業員）	来客数の動き	・イベントの来客数が新型コロナウイルス流行前の8割くらいまで回復している。
		住宅販売会社（営業担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数が落ち着いているため、入出が多くなっている。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・景気は変わらないが、地方でも少しずつ新型コロナウイルス新変異株の感染者が出ているため、先行きが不透明である。
		一般小売店 [茶]（経営者）	販売量の動き	・お歳暮商戦は低調で、依然として、客の財布のひもは固い。観光客の動きは以前より良くなったが、まだまだである。
		一般小売店 [眼鏡]（経営者）	来客数の動き	・年末も買い控えの動きがあり、来客数は前年とほぼ変わっていない。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		百貨店（経理担当）	販売量の動き	・来客数は前年を上回っているが、人手不足によるサービスの低下などの影響で、売上は前年をやや下回っている。
		百貨店（営業担当）	販売量の動き	・日を追うごとに来客数は回復しつつあるが、売上は前年を下回っている。客のライフスタイルや価値観の変化により服飾関係については購買意欲が低下している。
		百貨店（売場担当）	お客様の様子	・客の動き自体に大きな変化はないが、婦人服を中心に商品が品薄で、売り逃しが発生している状態である。
		スーパー（店長）	来客数の動き	・12月の2～3週目は年間で一番消費が落ち込む週であるが、売上は落ち着いている。また、高額商品、クリスマス商品、年末商品などは普通に動いている。
		スーパー（店長）	来客数の動き	・来客数の前年割れが続いている。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・3か月前と同様、販売量が前年を若干下回っている。
		スーパー（総務担当）	販売量の動き	・年末で買上点数や単価は上がっているが、売上は横ばいである。
		スーパー（業務開発担当）	販売量の動き	・来客数の前年割れが続いている。
		コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・3か月前と比べ、来客数は減少したが、売上は増加している。
		コンビニ（支店長）	来客数の動き	・行楽客や観光客が減少したままで、週末の来客数が元に戻らない。
		家電量販店（店長）	来客数の動き	・来客数が減少しているなか、久しぶりにイベントを開催したら、多くの客が集まったが、長い間売場にとどまっていなかった。
		家電量販店（企画担当）	来客数の動き	・来客数の減少に伴い、売上も減少している。
		乗用車販売店（営業担当）	来客数の動き	・3か月前と比べ、来客数は変わらないが微減の状況である。
		乗用車販売店（営業担当）	来客数の動き	・年末フェアを実施しているが、来客数が前年並みにとどまっている。
		自動車備品販売店（経営者）	販売量の動き	・単月であれば今月は前年割れだが、前月が良かったので、ここ2か月では前年とほぼ同水準で推移している。
		その他専門店 〔布地〕（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着き、月の前半は来客数が少し増加したが、後半は新型コロナウイルス新変異株の影響で客の動きが止まっている。
		その他専門店 〔時計〕（経営者）	来客数の動き	・12月前半に来客数や売上が前年比微増となったが、後半は減少している。
		その他専門店 〔土産物〕（経営者）	来客数の動き	・観光クーポンの影響で、少しだけ来客数の底上げはあったが、帰省の土産を買う客が少ないため、景気は横ばい状況である。
		その他飲食 〔パーキングエリア内レストラン〕	お客様の様子	・家族層がまだ戻っていない。
		観光型ホテル（副支配人）	販売量の動き	・地域観光支援割の利用者の予約があり、宿泊は例年と比べ若干増加している。
		通信会社（工事担当）	お客様の様子	・来客数に変化がない。
		テーマパーク（管理担当）	お客様の様子	・政府の政策の結果、景気に変化がない。
		ゴルフ場（営業担当）	お客様の様子	・予約状況は変わらないが、県外からの問合せが増加している。
		設計事務所（経営者）	単価の動き	・建築資材の値上がり浸透し、販売価格が上昇することで、客の意思決定が遅れたり、検討が長引いたりしている。
		設計事務所（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染状況は落ち着いているが、感染の先行きが見通せないため、引き合いは低調な状況が続いている。
		住宅販売会社（営業所長）	来客数の動き	・12月の来客数が激減し、2022年の動向が不透明になっている。新たに打ち出された政府の住宅取得支援策が起爆剤になることを期待している。
		商店街（代表者）	単価の動き	・新型コロナウイルス禍で、客の購買意欲が減退し、売上がかなり落ち込んでいる。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		一般小売店〔食品〕（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルス禍でも、お歳暮ギフトの酒類の売上は前年より良くなっているが、ギフト全体では前年を下回っている。年末商材の最終売上は帰省客の動きに左右されるが、前年よりは増加することが予想される。消費者の財布のひもは固く、買上点数は減少傾向にある。
		一般小売店〔洋裁附属品〕（経営者）	来客数の動き	・寒さが厳しいため、客の動きが悪くなっている。
		百貨店（売場担当）	販売量の動き	・100万円や200万円もする美術品は売れたが、売上は前年を下回っている。
		スーパー（店長）	来客数の動き	・12月に入り、前年と比較した来客数の減少幅が大きくなっている。
		スーパー（店長）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染状況が少し落ち着き、人の流れが外食や大型商業施設へシフトしていることが、スーパーの来客数に影響を与えているため、来客数は前年と比べても、3か月前と比べても減少している。
		スーパー（財務担当）	来客数の動き	・緊急事態宣言解除後、外食をする人が増加したため、来客数の前年割れが続いており、生鮮食品の売上が前年を下回っている。
		スーパー（販売担当）	来客数の動き	・客単価が少しずつ低下し、買上点数も減少している。
		衣料品専門店（経営者）	単価の動き	・結婚式などの行事がないため、留袖や訪問着等の単価が高い商品が売れない。
		乗用車販売店（営業担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着き、街はにぎわっているが、来客数は減少傾向にある。
		通信会社（営業担当）	お客様の様子	・単発消費は伸びているが、ランニングコストを節約する傾向がより強まっている。
		競艇場（企画営業担当）	販売量の動き	・G1競走が開催された3か月前と比べると、売上が減少している。
		設計事務所（経営者）	単価の動き	・ウッドショックに続き、石油価格の変動や半導体不足等により建築設備や建材の単価が上昇し、物の在庫不足もあいまって、客との契約にまで至らないケースが出ている。
	×	スーパー（販売担当）	販売量の動き	・来客数や売上が前年の9割程度、従来であれば、クリスマスから正月にかけて、人の動きが良くなるが、依然として客の自粛傾向が強い。
	×	家電量販店（店長）	単価の動き	・客が単価の高い商品に目もくれず、必要品だけを買うといった消費動向が顕著となっている。
	×	乗用車販売店（統括）	販売量の動き	・主要車種の販売停止で12月の販売量は前年比60%と大変厳しい状況である。
	×	旅行代理店（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルス新変異株の感染者が出て、客が安心して旅行に行けなくなっている。
	×	通信会社（広報担当）	販売量の動き	・新型コロナウイルス感染症が完全に終息していないので、依然として、客に買い控え傾向がある。
	×	美容室（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染症が終息しておらず、客の来店間隔が長くなっている。
企業 動向 関連 (中国)		輸送用機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響で厳しかった地元完成車メーカーの生産が回復してきたため、忙しくなっている。
		通信業（営業企画担当）	取引先の様子	・新型コロナウイルスの感染状況も落ち着き、取引先の発注に向けた動きが活発化している。年内の予算を使い切るために、見積りの引き合いや問合せが、2～3か月前と比べ増加している。データセンターの利用ニーズやデジタル化に向けたICT関連のニーズが明らかに増加している。
		食料品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注が徐々に増加しており、景気はやや良くなっている。
		輸送用機械器具製造業（経営企画担当）	受注量や販売量の動き	・半導体不足や東南アジアからの調達品の滞りが原因で減少していた取引先の生産が落ち着いてきたため、受注が回復している。
		輸送業	取引先の様子	・客の出荷が増加している。
		不動産業（総務担当）	それ以外	・前月と比べ、来客数や成約件数が微増となっている。
		食料品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルス新変異株の影響が懸念されるが、飲食店は若干盛り返している。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		木材木製品製造業（経理担当）	受注価格や販売価格の動き	・原油価格など全ての資材が高騰し、運賃も値上がりしているが、これらを販売価格にどれだけ転嫁できるかが課題となっている。売上は上昇傾向にあるが、費用も上昇しているため、景気は横ばいとなっている。 ・様々な商品の価格変動を注視している状況である。
		化学工業（総務担当）	取引先の様子	
		窯業・土石製品製造業（総務経理担当）	受注量や販売量の動き	・既存の大口受注への対応は終了したが、次の大口案件や年末年始対応もあり、引き続き、生産現場は多忙な状態が続いている。
		鉄鋼業（総務担当）	取引先の様子	・海外の新型コロナウイルスの影響により部品調達に支障が起きているため、景気は良くなっていない。
		鉄鋼業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・受注が堅調に推移している。
		非鉄金属製造業（業務担当）	受注量や販売量の動き	・金属価格が高値安定し、電子材料の受注も安定している。
		金属製品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・定時操業分の受注量は確保しているが、過去3か月で大幅な変化はない。
		輸送業（総務・人事担当）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響による受注減少が大幅に回復する兆しはない。
		金融業（融資企画担当）	取引先の様子	・この1～2か月で半導体不足がほぼ解消されたため、地元完成車メーカーの国内生産は通常操業を少し下回る水準まで回復している。このため、系列の地元部品メーカーの工場はおおむね定時操業で推移している。
		金融業（貸付担当）	取引先の様子	・現状、国内の新型コロナウイルスの新規感染は抑えられており、緩やかではあるが、経済活動は回復しつつあり、総じて取引先の業況に大きな悪化等は見られない。
		広告代理店（営業担当）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響が継続しており、客からの受注が増加していない。
		会計事務所（経営者）	受注量や販売量の動き	・取引額が前々年を上回る状況が続いている。総務間接系アウトソーシング受託については、新型コロナウイルス禍からの原状回復のみでなく、人材不足やリスク分散の観点からの発注が増加している。また、新型コロナウイルス禍からの回復に合わせて、事業再構築補助金等のコンサルティング支援業務が増加している。
		電気機械器具製造業（総務担当）	受注価格や販売価格の動き	・取引先の設備投資は堅調に推移している。ただ、組み込む電子部品が値上げされ、仕入れが困難なことなどから、値上げ分の自社吸収や納期遅延の発生など、厳しい状況にある。
		建設業（総務担当）	受注価格や販売価格の動き	・手持ち工事はあるものの、資材価格が上昇、納期も掛かるなどマイナス要因が目立っており、景気はやや悪くなっている。
	x	-	-	-
雇用関連		*	*	*
(中国)		人材派遣会社（社員）	求職者数の動き	・新型コロナウイルスの感染状況がかなり落ち着き、雇用も好転している。
		人材派遣会社（支店長）	求人数の動き	・今月も求人依頼件数が増加しているが、正規雇用のハードルは高く、人材派遣で代替したりする動きが継続している。
		求人情報誌制作会社（広告担当）	周辺企業の様子	・企業訪問しても、ここ数か月で工場、事務部門、営業いずれも人が増え、動きが良くなっている。雇用形態も新卒採用は継続、中途採用は即戦力としてコアな人材を求める傾向がより一層強くなっている。中途を継続して採用する企業はメーカーを中心に増加する見込みである。採用形態は、人材紹介がミスマッチを防ぐ意味で増加する。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	周辺企業の様子	・新型コロナウイルス感染症が一定の終息をしており、業界により偏りはあるものの、経済活動や購買活動が上向いている。
		職業安定所（雇用関連担当）	求人数の動き	・新規求人数は前年と比べ、18.9%増加、月間有効求人数は12.7%増加している。3か月前と比べても、新規求人数は11.1%増加、月間有効求人数は15.6%増加している。
		民間職業紹介機関（職員）	求人数の動き	・企業が近い将来のIPOに向け、管理部門やバックオフィスの強化を図るため、複数ポジションで管理職を採用し始めており、複数企業から依頼が入っている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		民間職業紹介機関（人材紹介・派遣担当）	求人数の動き	・新型コロナウイルス新変異株の懸念はあるが、年明けや新年度からの新体制等に向け、組織の中核を担う人材や事業拡大に向けた人員の増員が各業種で活発化している。
		人材派遣会社（経営戦略担当）	求職者数の動き	・求人数は上向いているが、求職者数が依然として上向いていないため、景気は変わっていない。
		職業安定所（所長）	求人数の動き	・ベトナムの新型コロナウイルスの感染状況が落ち着かず、現地で生産が追いつかないため、国内生産を大幅に増やした電気機器製造業で、大量の新規求人があったが、求人全体では前年から横ばいとなっている。
		職業安定所（事業所担当）	求人数の動き	・新規求人数は、前年と比べ、情報通信業、医療・福祉、公務・その他が減少したものの、その他の産業が増加に転じている。ただ、新規求人数を新型コロナウイルス流行前と比べると17.3%の減少となっている。現状では新型コロナウイルスの先行きが不透明で、景気が上昇していると判断するには、もう少し時間を要する。
		学校〔短期大学〕（進路指導担当）	求人数の動き	・3か月前と比べ、求人数に余り変化はなく、景気も横ばい状態である。
		人材派遣会社（支社長）	採用者数の動き	・求人数や求職者数は回復傾向だが、企業の選考ハードルは依然として高く、求職者も就職先の決定にかなり慎重になっている。このため、採用者数は低水準で推移している。
	x	-	-	-

10. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向関連 (四国)		一般小売店〔生花〕（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルス対策の自粛期間が終わり、新規感染者数も減ったことから、忘年会や今までできなかった送別会をするため、街中に人が増えてきた。贈物を買いに来店する人が増えた。
		通信会社（社員）	販売量の動き	・当社委託先の訪問販売が再開し、数か月程度ではあるが、契約件数や販売量はコロナ禍に入る前までの水準まで戻っている。
		観光遊園地（職員）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染が全国的に落ち着き、団体と個人共に利用の増加が顕著である。
		美容室（経営者）	来客数の動き	・今のところ、新型コロナウイルスも落ち着いているため、かなり客は増加している。前年と比べても売上は大幅に上がっている。
		商店街（事務局長）	来客数の動き	・国内の新型コロナウイルス新規感染者数が極端に少なくなったことから、第6波が起きる前に、高齢者も含め幅広い年齢層で、外出やレジャー、買物を久しぶりにする姿が多く見受けられる。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・週末は観光客を中心にかなりの数の客が訪れている。大変厳しい観光業や飲食業を中心に回復している。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染症の減少傾向が継続しており、少しずつではあるが来客数も前年より増加している。しかし、新型コロナウイルス新変異株等が発生しており、不安定な要素が感じられる。
		一般小売店〔書籍〕（営業担当）	販売量の動き	・12月になって急に忙しくなった。店頭売上、外商売上共に前年同月を上回った。
		百貨店（企画担当）	お客様の様子	・来客数が前年を大きく上回っており、良い状態が続いている。
		百貨店（営業管理担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染が一段落したことで、来客数は前年のマイナスからプラスに転じた。
		百貨店（販売促進）	来客数の動き	・リニューアルオープン後、家族連れや若い世代など、これまでは少なかった客層の来店が増加している。
		コンビニ（店長）	お客様の様子	・今月に入り徐々に売上は回復しており、特に20日頃から明らかに来客数が増加している。イベントに向けて、購買に力強さを感じている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		コンビニ（商品担当）	お客様の様子	・まだ新型コロナウイルス新変異株の感染拡大はなく、今のところ年末年始の来客数には影響していない。
		衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・年末で、来客数は増加している。また、アウターが多く売れているため、売上も悪くない。新型コロナウイルス感染症は収束傾向にあるため、景気は徐々に良くなっている。
		衣料品専門店（営業責任者）	販売量の動き	・新型コロナウイルス発生前と比べて、85%程度まで売上は戻っているが、水準としては依然として厳しい状態で推移している。しかし、街に来る人は、徐々に増えている。
		家電量販店（店員）	販売量の動き	・ボーナス以降、全体的に販売量が増えている。
		乗用車販売業（営業担当）	販売量の動き	・半導体不足が少し解消され、新車が入荷されてきたため、販売量は増加した。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・モデルチェンジをした車種もあり、新車の受注は、前年を上回るペースで進捗している。
		その他小売【ショッピングセンター】（副支配人）	来客数の動き	・新型コロナウイルス発生前の水準までは回復していないが、3か月前と比べると、回復基調にある。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・まだまだ不安要素はあるものの、新型コロナウイルス新規感染者数が少なくなり、客足は戻りつつある。
		観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いており、年末年始は来客数が回復している。ただし、団体客の回復は遅れており、以前の状態には戻っていない。
		タクシー運転手	お客様の様子	・売上が少し増加している。夜の街については、会社の忘年会などは減少しているが、小グループや学生の数は少し増加した。
		通信会社（営業部長）	販売量の動き	・販売は好調な商品があれば良くなるため、販売計画も強気に目標を立てている。
		競輪競馬（マネージャー）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数は激減し、ワクチン接種の効果がでているとの安心感から、人流が活発化しており、消費意欲の上昇がみえてきた。
		美容室（経営者）	来客数の動き	・当県で新型コロナウイルス新規感染者数ゼロの日が続いているためか、前年の12月と比べて来客数が増えている。
		設計事務所（所長）	お客様の様子	・都市部との往来が以前よりも活発になっている。
		一般小売店【酒】（販売担当）	販売量の動き	・当県では、新型コロナウイルス新規感染者数がゼロの日が継続したため、12月の週末は繁華街がにぎわい、飲食店への納品も少し増加した。
		スーパー（財務担当）	お客様の様子	・客から、ようやく外食に行けるようになったとよく言われる。
		コンビニ（店長）	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染が落ち着くなか、売上増加を期待していたが特に変化はない。売上減少にはなっていないという状況である。
		コンビニ（総務）	来客数の動き	・コロナ禍で減少した客数は戻らず、来客数の前年割れ傾向は変わらない。
		衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・11月後半の売上は良かったが、今月は平日の売上は厳しく、週末にカバーすることで前年並みである。
		乗用車販売店（役員）	販売量の動き	・受注は好調ではあるが、生産は回復途中である。もう少し時間が掛かる。
		タクシー運転手	来客数の動き	・年末で遍路の仕事はほとんどなくなった。一方で、夜の街には人が出てきており、少しずつにぎわいを取り戻してきている。
		商店街（代表者）	それ以外	・新型コロナウイルス新規感染者数は大幅に減少しつつあるが、世界では新規感染者数が激増しており、水際作戦でどう食い止めるか、予断を許さない。世界経済も米中の新たな冷戦時代が始まっており、厳しい時代に入った。
		家電量販店（副店長）	販売量の動き	・新型コロナウイルス新規感染者数は少なくなったが、来客数の伸びは戻っていない。
	×	スーパー（店長）	来客数の動き	・客単価は落ちていないものの、来客数が大幅に減少している。
企業		-	-	-

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
動向 関連 (四国)		木材木製品製造業（営業部長）	受注量や販売量の動き	・受注量は大幅にアップしている。一方で、ウッドショックとコンテナ不足で原材料不足が発生しており、1月、2月に販売のピークを迎えるが、材料の供給が非常に懸念されている。それに原材料の大幅なコストアップにも苦慮しており、販売先への価格改定が急務である。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注量が徐々に増加したり、大きな案件が決まったりしているため、景気は回復している。
		輸送業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルス新変異株が気になるが、それ以上の世間の期待を感じる。
		通信業（総務担当）	それ以外	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いてきたこともあり、社外団体のイベント等への参加者が若干増加している。
		税理士事務所	取引先の様子	・年末で、購買意欲が高まっている取引先が多かった。
		農林水産業（職員）	受注価格や販売価格の動き	・青果物の卸売価格は、飲食等の業務需要が新型コロナウイルス発生前の60%から80%程度まで回復したこともあり、業務での使用が多い品目は、年末相場が出るなど、需給に応じた価格形成がされた。しかし、一般消費の多い品目は引き合いが鈍く、前年にも増して低調な価格で推移した。量販店では、青果物を利益商材として卸売価格を反映した価格設定をしていない店が多いことが1つの要因である。
		鉄鋼業（総務部長）	受注量や販売量の動き	・上期に比べて下期は劇的に受注が回復してきたが、その後は横ばい状態である。新型コロナウイルス発生以前の水準には戻っていない。
		一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・各国政府の経済対策により、市場マインドは上向きつつあるものの、地域的にはばらつきが大きく、全体として本格的な需要回復には至っていない。
		建設業（経営者）	競争相手の様子	・本業については、例年並みの売上、利益が上がっており、変わりはない。問題は新型コロナウイルス新変異株による企業の福利厚生や研究、営業活動に自粛の傾向が生じていることである。企業によって対応が違っているので、業界全体としては好況感は抑制傾向になっている。
		建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注量が伸びなかった。
		輸送業（営業）	受注量や販売量の動き	・年末は繁忙期でありながら、取扱物量に著しい増加はなく、臨時便で対応を行うことすらなかった。特に例年であれば、年始初売り用の一般消費財が初荷として前倒して出荷されるために年末に到着する事例が見受けられたが、現状では皆無となっており、小売店の景気の低迷を強く感じる。
		輸送業（経理）	受注量や販売量の動き	・一部の大手素材メーカーの輸出の出荷量は、好調を維持しているが、その他の業種の国内向け出荷量は、伸び悩む状態が続いている。
		通信業（企画・売上管理）	受注量や販売量の動き	・例年12月は受注量が多いが、今年は想定していたほどの受注はなく、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が解除された3か月前から、大きな動きはない。
		金融業（副支店長）	取引先の様子	・取引先の試算表や代表者等からのヒアリングにより、足元での受注や引き合い、客足等に改善はうかがえず、売上回復にはつながっていない。
		*	*	*
	x	-	-	-
雇用 関連 (四国)		人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	・中小企業からの事務系の派遣依頼が増えている。
		求人情報誌（営業）	求人数の動き	・周辺企業での求人数が引き続き増加傾向にある。特に製造業や運輸業では、幅広い職種での求人数が増えており、景気は回復傾向にある。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	それ以外	・新型コロナウイルスで落ち込んだ観光や飲食の需要、街中の人出も新型コロナウイルス発生前に戻りつつある。
		職業安定所（求人開発）	求人数の動き	・前月の新規求人数や有効求人倍率、新規求職申込件数が増加している。
		民間職業紹介機関（所長）	求人数の動き	・新卒向けの求人について、特に変化はみられない。
		学校〔大学〕（就職担当）	採用者数の動き	・前月から内定者数は増えているが、まだ十分とはいえない。
			-	-

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	x	-	-	-

11. 九州（地域別調査機関：公益財団法人九州経済調査協会）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (九州)		商店街（代表者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染状況が、かなり落ち着いているため、師走の忙しい状況が戻り、来客数も上向しているが、新型コロナウイルス発生前には程遠く、今の景気は良くも悪くもない状態である。しかし、前年と比較すると確実に改善している。
		一般小売店〔精肉〕（店員）	単価の動き	・高級食材の売行きが好調である。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・年末が近づくとつれ、客の来客数が大幅に増え始め、前年と大きく変化している。新型コロナウイルスの新規感染者数が減少し始めていることから、家族連れが多くみられるようになり、売上増加を期待している。
		住関連専門店（従業員）	来客数の動き	・冬になると需要が高まる、保温性のある寝具を求めて来客数も上々である。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染状況も落ち着いており、来客数及び予約も増えている。客単価も高くなっており、客の笑顔が多くなっている。
		観光旅館組合（職員）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染状況も落ち着き、自粛で控えていた旅行も少しずつ増えている。
		都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・宴会需要はほぼなくなっているが、それ以外は新型コロナウイルス発生前の水準に戻っている。
		タクシー運転手	来客数の動き	・新型コロナウイルス新変異株の急増で、不安があるものの昼夜を問わず活気が戻り、久しぶりの年末の景気が戻っている。
		通信会社（営業担当）	それ以外	・繁華街やショッピングセンター等での人のにぎわいが非常に大きく、新型コロナウイルス発生前に戻ってきたような景気の良さを感じている。
		美容室（経営者）	来客数の動き	・9～10月は新型コロナウイルスの影響で、深刻な状況になったが、12月は新型コロナウイルスを余り気にすることなく、年末ということもあり来客がある。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスは収束傾向にあるため、引き続き景気は上向いていく。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数減少に伴い、商店街の活気を取り戻しつつある。まだ、新型コロナウイルス発生前の7割程度であるが、客の購買も徐々に積極的になっている。
		商店街（代表者）	単価の動き	・時期的なものであるが、喪中や年賀状、キャンペーン、名入れサービス等、年末商戦で景気は良くなっている。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・景気は余り悪くないとメディアの報道があるが、地方の商店街は依然として活気を取り戻せない。小売店では、新型コロナウイルスの感染が収束しても厳しい状況が続くと判断をしている人が多い。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・年末年始を控え、客の様子が慌ただしくなり、正月用品の買物が少しずつ増えている。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・コロナ禍でも、当県では新型コロナウイルスの新規感染者数が1か月以上出ない日が続く、県民に安心感が出て、街のにぎわいも師走と重なり、随分と良くなっている。
		一般小売店〔青果〕（店長）	単価の動き	・やっと地物野菜が出回り、野菜の単価が下がり、購入しやすくなっている。単価が高い果物は、ぼちぼち動き始め、3か月前とは随分変わっている。
		一般小売店〔鮮魚〕（店員）	お客様の様子	・仲卸では、フグも取り扱っているが、フグの売行きが良くなっている。人手がなくて対応できないため、数日前から新規の注文は断っている状態である。
	一般小売店〔生花〕（経営者）	来客数の動き	・12月は、退職者に贈る花やお供え、正月用などで、2～3か月前より月末は来客数が多くなっている。	
	百貨店（企画担当）	お客様の様子	・目的買いの客だけではなく、回遊する客や旅行者が増えている。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		百貨店（企画担当）	来客数の動き	・県内の感染者が発生していないことから、来客数は徐々に増加傾向にある。前年の第3波の影響があった時期には達成しているが、新型コロナウイルス発生前の水準までは達していない。観光客は週末を中心に回復傾向にあるが、来店への伸びに比べ、売上の伸びが鈍いことが課題である。
		百貨店（経理担当）	競争相手の様子	・市内大型店4店の売上高見通しは、98.3%で9月の92.3%から6%の改善がみられる。衣料品全般では引き続き回復傾向が続いており、特に飲食においては前年比104%と改善の兆しがみられる。しかし、婦人雑貨では、12月初旬の暖冬の影響で、売上高が伸び悩んでいる。
		百貨店（営業担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数の減少で、平日、金土日共に来客数が増加し、開店時から午前重視の来店傾向が午後まで伸びているが、ギフトセンターと併設の持ち帰りコーナーでは感染防止や混雑回避により来場は戻っていない。また、送料節約のため、お歳暮商品の自宅届や売場購入での持ち帰りが目立っている。一方、反動でオンライン受注やサテライトショップ、ギフトショップでの購入はやや落ち着いているが、外出自粛は継続している。しかし、帰省や県内外旅行者の来店は目立っている。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの沈静化により、仕事もプライベートも行動的になっている。
		コンビニ（経営者）	それ以外	・新型コロナウイルスの新規感染者数の減少と自粛への反動から、人の動きは活発になっている。コンビニエンスストアの利用は朝夕の通勤通学が通常に戻り、在宅勤務でのコロナ禍特需の購買は減少しているものの、おにぎり、ファーストフード、ドリンク等の商品の販売額は前年を上回っている。一方、酒類や総菜の家庭用商品の販売は、逆に新型コロナウイルス発生前に戻り、減少している。
		コンビニ（店長）	お客様の様子	・駅周辺は、帰省客や旅行者、出張等人流が多くなっており、油断している人が増加している。
		コンビニ（店長）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数の減少により、全体として活気が出ている。
		衣料品専門店（店長）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの新規感染者数の減少に伴い、人流が良くなっており、景気が少し上向いている。
		衣料品専門店（店員）	お客様の様子	・前年に冬物の購入を控えていた買物客が多く来店している。
		家電量販店（店長）	お客様の様子	・前年のプレミアム付商品券等景気対策の影響はあるが、それを除けば売上は伸長しており、客の来客数も確実に回復傾向にある。
		乗用車販売店（総務担当）	販売量の動き	・新車の受注は順調に確保しているが、メーカーの生産が回復していないため、売上に繋がっていない。最悪の状況は脱したが、まだまだ通常の状態には戻っていない。
		その他専門店【コーヒー豆】（経営者）	販売量の動き	・来客数を前年と比較すると変わらないが、12月はお歳暮の需要もあり、1人当たりの購入量が、若干前年より増加している。
		その他専門店【書籍】（副店長）	販売量の動き	・中心地にあった商業施設の閉館以降、人流が変化し、売上増加につながっている。
		その他小売の動向を把握できる者【ショッピングセンター】（支配人）	来客数の動き	・8～10月にかけては、豪雨被害や核店舗の改装休業、また、前年の人気アニメやGo To Travelキャンペーンの反動と件により厳しい数字だった点を考慮すると、12月は現時点では96%、前々年比でも96%と同水準になっている。ゲームセンターや雑貨店舗等は、前年が人気アニメに乗じた異常値に近い好調推移だったため、見極めるのは難しいものの、中核になる店舗も改装による休業が終わり、全館的に客足が戻っている。
		その他小売の動向を把握できる者【ショッピングセンター】（統括者）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染が収束し、来場が回復している。緊急事態宣言下の3か月前と比べると回復傾向にあるが、新型コロナウイルス発生前には、まだ大きく開きがある。
		高級レストラン（経営者）	来客数の動き	・飲食店では、市内の予約客は余りなかったが、修学旅行が駆け込みで入っていた。今後は、忘年会や新年会の予約になるが、動きがない。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		その他飲食の動向を把握できる者〔酒卸売〕（経理）	販売量の動き	・10月以降の新型コロナウイルスの新規感染者数の減少で酒類販売量は増加しており、景気は上向いている。12月でも新型コロナウイルス発生前と比較すると1割ほどの減収までに回復している。
		旅行代理店（職員）	販売量の動き	・緊急事態宣言中の9月よりは、来客数や販売量は増加しているが、ここ1週間は新型コロナウイルス新変異株の報道もあり、心理的にも遠方の旅行を控えている状態である。
		通信会社（企画担当）	販売量の動き	・光回線提供エリアの拡大により、販売件数が増加している。
		美容室（店長）	来客数の動き	・3か月前と比較すると良くなっているが、このまま景気が上向くとは考えられない。
		その他サービスの動向を把握できる者〔介護サービス〕（管理担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数が激減しており、客からのサービスキャンセル数も比例して減少傾向である。
		住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・今年度補正予算案閣議決定で、住宅ローン減税延長や住宅資金の贈与税非課税枠の処置延長等が影響し、客の動きも良くなっている。
		商店街（代表者）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染が落ち着き始めて安心していただいているところに、新型コロナウイルス新変異株が発生しており、警戒心から遠出をしなくなり、衣類を必要としないため購入につながっていない。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・来客数は徐々に増加しているが、客単価が20～25%減少している。
		一般小売店〔茶〕（販売・事務）	販売量の動き	・寒くなってきたこともあり、徐々に売上は上向きになっている。例年であれば、この時期は贈答品の注文があるが、新型コロナウイルスの発生以降の贈答品売上は減少している。接触を避けるために、お歳暮のやり取りをやめている客もいる。
		百貨店（業務担当）	お客様の様子	・年末に向かい新型コロナウイルスの感染が沈静化している間に、必要な買物を済ませておきたいと考える客が多い。新型コロナウイルス新変異株の報道で、今後、再度感染が拡大することを見越したまとめ買いがみられ、決して足元の消費が戻っているわけではない。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・全体数値には大きな変動はないが、ライン別数値では、衣料品や住余関連商材が上昇し、食品関連商材が減少傾向となっている。
		スーパー（店長）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数が減少傾向で推移しており、自治体の規制緩和もされているものの、来客数は増加傾向にはない。生活防衛意識の高まりも見受けられ、販売点数の推移や客単価が下落している。
		スーパー（企画担当）	来客数の動き	・コロナ禍が、一旦落ち着いていることから、消費者動向に変化がみられ、外食やイベントへ流れている。内食傾向からの転換があるものの、食品スーパーマーケットは特に変化がない状況である。
		スーパー（経理担当）	販売量の動き	・12月であるが寒い日が少なく、鍋物材料等の冬型商材の売行きが余り芳しくない。新型コロナウイルスの影響もあり、前年維持がやっとの状態である。
		コンビニ（経営者）	販売量の動き	・コロナ禍が始まって以来の、来客数の減少やまとめ買いによる客単価上昇傾向は相変わらずである。規制が緩和されたものの、期待していたほど売上に反映されず、消費マインドの回復を感じられない。クリスマスケーキ等の予約商材についても不満足な結果である。
		コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・クリスマス商戦及びお歳暮ギフト等の予約が芳しくない。
		コンビニ（エリア担当・店長）	来客数の動き	・10月の緊急事態宣言解除から夕方から夜にかけての来客数が減少している。原因は、街中へ食事に出掛けることが多くなり、郊外にある飲食店へ足を運ぶことが減少しているためである。
		衣料品専門店（取締役）	お客様の様子	・来店客は、3か月前と比較すると増加しているが、売出しのため客単価が上がらない。また、売出し商品を多く購入することはなく、吟味して最小限に抑える傾向がある。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		高級レストラン（経営者）	来客数の動き	・12月前半は来店客が少ない状況であったが、後半はかなり増加している。おせちは、前年より若干減少しているが、それなりの売上があり、景気はまずまずである。
		観光型ホテル（専務）	来客数の動き	・県内の新型コロナウイルスの新規感染者数はゼロが続いているため、客の動きが出ており、今までは家族旅行だけだったが、少しずつグループや年配者がみられるようになってきている。まだ一般団体客は少ないが、春以降の予約は入っているため、先の見通しは明るい。
		タクシー運転手	お客様の様子	・当市では新規感染者数が少ない状態で推移しており、人の流れは戻っているが、新型コロナウイルス発生前と比較すると消費に対する考え方に変化があり、以前の状態に戻ることは、かなり厳しい状況である。
		タクシー運転手	お客様の様子	・客が11～12月と増加しており、徐々に良くなると期待している。
		通信会社（統括者）	販売量の動き	・携帯電話の販売状況は、前年並みからやや減少傾向である。各電話会社の格安プランが好調なこともあり、ショップへの来店客が若干減少傾向である。
		ゴルフ場（従業員）	単価の動き	・今年に入り、過去最高の入場者を記録した月が多かったが、平日の入場者割合が増えたことで、客単価はやや下がっている。
		競馬場（職員）	来客数の動き	・コロナ禍の状況が一定であるため、景気は変わっていない。
		美容室（経営者）	販売量の動き	・2～3か月前と比較すると、通常12月には忙しくなるが、新型コロナウイルス新変異株が発生したため業界が低調である。年末でこれほど忙しくないことは珍しく、変化のない月である。
		その他サービスの動向を把握できる者（所長）	来客数の動き	・海外からの来訪が増えてきたと感じていたが、新型コロナウイルス新変異株によって、期待だけに終わりそうである。
		学習塾（従業員）	来客数の動き	・問合せが変わらない。
		住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・年末年始の準備のため、人出も増え買物の購入も多くなっている。景気が上向いており、活気が出ている。
		スーパー（総務担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染が落ち着いており、消費の拡大や巣籠り需要の減退という現象が起こっている。消費行動が趣味やレジャー、外食等に向かっており、食品スーパーマーケットへの来店は減少している。
		スーパー（統括者）	来客数の動き	・来客数が減少しており、客単価維持となっているため、売上は下がる。
		家電量販店（店員）	販売量の動き	・テレビや冷蔵庫、洗濯機等の核になる商品の動きが悪い状況が続いている。
		住関連専門店（経営者）	来客数の動き	・前月後半から来客数が少なくなり、売上が落ちている。
		設計事務所（代表）	来客数の動き	・イベントの来客数が少ない。
	×	スナック（経営者）	来客数の動き	・年末の繁忙期であるが、忘年会等を自粛する企業が多く、来客数が大きく減少している。
	×	設計事務所（所長）	単価の動き	・建築業界では、材料や住宅設備設備等の価格上昇や品不足により、施工者にしわ寄せが来ている。また、生活面では、食料品や生活必需品の値上げが相次いでいるが、収入は増加していない。
企業動向関連		経営コンサルタント（代表取締役）	取引先の様子	・多くの業種で、今月はかなり売上や利益、人手が変化し、良くなっている。
(九州)		農林水産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・11月後半から厳しかった外食部門の売上が徐々に戻っている。12月に入って新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いていることもあるが、本来の年度末にある状況に近くなっている。この2年間で、初めて12月対計画で100%を達成しそうである。ただ、1月から発生し始めた鳥インフルエンザの影響で、入荷する予定の鶏が入らず受注対応できず、客に迷惑を掛けている状況である。
		窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・売上が前年より1割良くなっており、また、ふるさと納税も前年より2割上昇している。しかし、産地全体では、一時期よりは良くなっているが、そこまで上がっていない。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		一般機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・取引先の輸出額が増加しており、その影響から受注量が上向きつつある。
		電気機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・半導体不足により、関連事業が好調を継続している。さらに、増産傾向である。
		電気機械器具製造業（取締役）	取引先の様子	・取引先からの引き合いは依然強いものがある。ただし、材料費高騰や納期不定等今後不安を残す内容が多い。
		通信業（経理担当）	取引先の様子	・新型コロナウイルスの新規感染者数が減少しているため、若干良くなっている。
		金融業（従業員）	取引先の様子	・百貨店の売上は徐々に回復傾向にあり、スーパーマーケットやコンビニエンスストアの売上は持ち直している。また、新型コロナウイルスの影響で大幅に落ち込んだ旅行業を始めホテルや旅館、飲食店などで次第に持ち直している。
		金融業（営業）	取引先の様子	・新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いており、多くの人が、自粛の反動から消費マインドが高い状況にある。
		金融業（営業担当）	取引先の様子	・新型コロナウイルスの新規感染者数が抑えられ、また、年末商戦や飲食業では忘年会等のイベントの再開により、売上が上がっている。サービス業や飲食業での客足は、新型コロナウイルス発生前の70%まで上がっている。しかし、新型コロナウイルス新変異株も発生し、予断を許さない状況にある。
		金融業（調査担当）	取引先の様子	・一部の製造業に対する供給制約の影響は残存するものの、人流の増加に伴い、飲食業を始めとする対人型サービス業での回復がみられる。そのため、景気は引き続き厳しい状態にあるが、3か月前と比べ良くなっている。
		金融業（調査担当）	取引先の様子	・各種キャンペーンが奏功し、人気観光地への客足には回復の兆しがみられ、宿泊施設の稼働状況も改善されている。また、大型商業施設の集客にも活気が戻りつつあり、2020年に中止された大型イベントの再開が増えている。一方、県内でも物流業界の人手不足は一段と深刻な状況になっている。
		新聞社〔広告〕（担当者）	受注量や販売量の動き	・新聞広告の発注量が増えつつある。
		広告代理店（従業員）	受注量や販売量の動き	・新聞折込の受注量が前々年と比べまだ75%であるが、若干ではあるが戻りつつある。
		経営コンサルタント（代表取締役）	受注量や販売量の動き	・受注が増えており、企業の人材投資が復活しつつある。
		経営コンサルタント（社員）	それ以外	・この数か月、販売促進用のダイレクトメールを送っており、若干ではあるが反応がある。
		その他サービス業〔物品リース〕（職員）	取引先の様子	・新型コロナウイルスの新規感染者数も減少しており、営業活動も活発化している。取引先の状況でも、抑制していた設備投資も徐々に検討されつつある。
		食料品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・原料の伝染病による品不足と品質の低下もあり、本来であれば上向きにあるべきところ、供給面と収益面を圧迫している。
		金属製品製造業（事業統括）	受注量や販売量の動き	・再開案件の引き合いは旺盛で景気が上向いているが、一向に受注は伸びない。中小型の建築設備の工事自体止まっている状態である。発注延期の原因は、材料費高騰や資材不足、職人不足である。
		電気機械器具製造業（経営者）	それ以外	・対応能力以上の受注が続いており、材料や部品等の品薄、値上がりが生産に悪影響を及ぼしている。
		その他製造業〔産業廃棄物処理業〕	取引先の様子	・多少生産は良くなってきたものの頭打ち感があり、12月といつこともあり取引量は増えていない。
		輸送業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・第6波を警戒して、年末は予想ほど物量が伸びない。景気が良い方向に向かっていると感じていただけに意外感が大きい。新型コロナウイルス発生前の水準までに戻るのは時間が掛かる。
		広告代理店（役員）	受注量や販売量の動き	・売上や営業収益共に前年を僅かに上回る程度で停滞している。
		経営コンサルタント（社員）	受注量や販売量の動き	・原料や燃料の値上げにより、物価が上昇している。生活費の負担が増加し、特に高齢者の買い控えが激しくなっている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		その他サービス業〔コンサルタント〕（代表取締役）	取引先の様子	・市町村からの調査や設計等の委託業務が、本来は12月も追加で発注されるが、発注量が少なく、受注が厳しい。当初予算や9月補正予算の多くが、新型コロナウイルス対策関係の予算に回されていることが要因と考えられる。
		繊維工業（営業担当）	競争相手の様子	・発注量が少なく、まだ休みを取っている工場が多い。新型コロナウイルスの影響は、引き続き続いている。
		建設業（社員）	競争相手の様子	・同地区の同業者から、年末で官公庁の発注は期待できないと仕事状況の連絡が多くある。年明けから年度末にかけ期待はできず、新型コロナウイルスに対する予算が大きくなり、公共工事の予算は残っていないのが実情で、景気は悪くなっている。
		輸送業（従業員）	受注量や販売量の動き	・例年12月は入出庫が増加するが、今年は半導体不足やコンテナ不足、海上運賃高騰により売りたくても物が無い状況となり、年末という雰囲気ではなく、通常より少し荷動きがある程度になっている。トラックの手配も問題なくできる状況である。
		輸送業（従業員）	それ以外	・製造機械が半導体不足で納期が遅れていることに加え、原料が手に入らなくなっている。プロテイン原料や包装用のアルミも不足している。そのため、受注の引き合いは多いが、生産できない状況が、より深刻化している。
	×	-	-	-
雇用 関連 (九州)		*	*	*
		人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・企業からの社員欠員補充や産休交代、繁忙期増員等求人数の問合せが増えている。
		人材派遣会社（社員）	周辺企業の様子	・お歳暮用の注文数が、前年よりも増加している。また、商品の受注件数が良いため、新規契約をした企業もある。
		新聞社〔求人広告〕（社員）	周辺企業の様子	・緊急事態宣言が解除され、新聞広告の量も回復基調にある。イベントの再開や宿泊施設の広告も戻りつつある。ただ、旅行広告では、Go To Travelキャンペーンの再開待ちで、前回の緊急事態宣言解除後の勢いはないが、潜在的な旅行に対する需要はあると予想される。自治体主導の旅行への補助という形で、新聞広告の出稿での出張もコロナ禍以前ほどではないが回復しつつあり、経済が動き出しているのを感じる。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	それ以外	・新型コロナウイルスの感染状況も落ち着きが見られることから、様々な活動が活発になっている。スポーツ大会やイベントも実施され、百貨店等への人出、また、飲食店の来客数も伸びている。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・パートやアルバイト中心であるが、新聞広告の求人も増えている。外国人労働者数減少の影響もあるが、期間工等、工場勤務の正社員の募集も見受けられる。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人、有効求人共に前年比の増加が続いており、また、有効求人倍率も前年比を上回る月が続いている。
		職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・飲食店やサービス業の事業主から、客足がかなり戻っているため、アルバイトや従業員を募集したいとの話をよく聞く。
		学校〔大学〕（就職支援業務）	求人数の動き	・内定状況は、前年より若干良く、前々年との比較では少し悪くなっている。現在も就職活動を行っている学生が一定数いるが、求人依頼件数も一定数あり、年間を通じた採用活動を行う企業も前年度と比較して増えている。また、2023年卒採用も業種によっては、増やす企業も出ており、求人状況は少し好転すると予想している。
		人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・忘年会や新年会の実施はされても規模が小さく、受注は伸びていない。
		求人情報誌製作会社（編集者）	求人数の動き	・緊急事態宣言が解除され、年末年始需要に積極的な求人の動きがみられるかと予想していたが、期待はズレに終わり、今年の7月のような求人の動きはみられない。第6波を考え、現体制で乗り切ろうとしているのか、企業方針が読みきれない状況である。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		民間職業紹介機関（職員）	採用者数の動き	・学生の内定数は、ここ2～3か月、前年と比べて若干であるが悪くなっており、コロナ禍の底からの上昇も一段落ち着いた状態である。また、就職活動の時期が早まっている影響で、前年よりも動きが悪くなっており、現状が良いのか悪いのか判断しづらくなっている。
		-	-	-
	x	-	-	-

12. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向 関連 (沖縄)		コンビニ（副店長）	来客数の動き	・前月同様、来客数が増え、各時間帯の売上が回復傾向である。
		百貨店（店舗企画）	販売量の動き	・前年と比べ衣料品の動向やクリスマスケーキ、おせちの予約が伸びている。国内観光客数も増えており、土産品の動きも良くなっている。
		コンビニ（経営者）	お客様の様子	・客の動きが活発で購買意欲が高くなってきている。来客数も増えてきている。
		衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・緊急事態宣言が明けて来客数は増えているが、景気が良いというわけではない。少し売上が伸びたという程度である。
		乗用車販売店（経理担当）	販売量の動き	・レンタカー会社からの来年のゴールデンウィーク需要に向けた受注が増えてきている。
		その他専門店【陶器】（製造）	販売量の動き	・11月の半ばから商品の売行きが伸びている。
		その他飲食【居酒屋】（経営者）	来客数の動き	・緊急事態宣言、時短要請解除後から、徐々に来客数が戻り始め、新型コロナウイルス発生前である前々年の7割くらいに戻ってきている。しかし、前半の時間帯に集中していて、9時以降の遅い時間帯の来客数は以前の2割くらいである。
		観光型ホテル（代表取締役）	来客数の動き	・3か月前には発出されていた緊急事態宣言が解除されている現在は宿泊の予約も増え、会議や飲食の利用も増えている。ただ、2019年のピークと比べると4割程度となっている。
		観光型ホテル（企画担当）	販売量の動き	・ホテルの9月の販売室数が前年比56%減少なのに対し、12月の販売室数は前年比34%減少となり、マイナス幅が小さくなっている。
		旅行代理店（マネージャー）	販売量の動き	・緊急事態宣言が明けたことで国内の移動がある程度できるようになり、出張や旅行などが急に増えてきている。
		スーパー（販売企画）	お客様の様子	・客単価は少し良い状況だが、コロナ禍での来客数減少があり、売上はやや悪い状況である。
		住宅販売会社（代表取締役）	販売量の動き	・建築受注件数及び金額が減少傾向にある。特に投資案件に関してその傾向がみられる。
		住宅販売会社（役員）	お客様の様子	・不動産の情報量にもよるが、メール問合せや来店は共に増えているものの売上については平均的である。
		スーパー（企画担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルス新規感染者数の減少に伴い、郊外型の大型店に客が集中し、週末を中心に来客数が減少している。それに比例して買上点数、買上単価も伸び悩んでいる。
		観光名所（職員）	来客数の動き	・新型コロナウイルス新変異株の感染状況により、予約のキャンセルが出始めている。
	x	商店街（代表者）	来客数の動き	・来客数の動きとしては、現在まだ新型コロナウイルスの感染の影響がある。終息しそうになっても、また新型コロナウイルス新変異株が出てくる。新型コロナウイルス以外でも、良い要素はあるのだろうかと懸念している。
企業動向 関連 (沖縄)		-	-	-
		建設業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・客1組当たり5000万円、あるいは1億円以上の案件の具体的な相談が出てきている。
		食料品製造業（役員）	受注量や販売量の動き	・師走に入り、観光関連、業務筋関連の売上は増加傾向になっているが、量販店向けの売上で苦戦している。
		窯業土石業（取締役）	受注量や販売量の動き	・公共工事、民間工事共に前月と比較して見積りに大きな変化はない。
	会計事務所（所長）	取引先の様子	・コロナ禍は落ち着いているが、飲食店ではまだ客の戻りが十分ではないように見受けられる。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		-	-	-
	x	-	-	-
雇用 関連 (沖縄)		人材派遣会社 (総務担当)	求人数の動き	・求人案件数が増加傾向にある。ただし人手不足感は否めない。
		求人情報誌製作 会社(営業)	求人数の動き	・例年12月は求人数が減少する傾向にあったが、今回は減少せず3か月前の9月よりも求人数が多い結果となっている。その要因としては、9月は緊急事態宣言中であり採用活動が制限され求人数も抑圧されていたが、10月に宣言が解除された後の12月は採用活動再開の延長線上かと考えられるためとみている。
		職業安定所(職員)	求人数の動き	・緊急事態宣言解除後、一気に求人数が増加するかとみていたが、12月中は微増にとどまっている印象がある。
		学校[大学] (就職支援担当)	求人数の動き	・観光客数の増加があり、観光業の一部ホテルなどで採用再開の動きがある。
		学校[専門学校] (就職担当)	求人数の動き	・年末に入り全体的に求人数は停滞しているが、Web制作業界においては12月に複数の求人があり、ますます需要が伸びているようにみられる。
		人材派遣会社 (経営者)	求人数の動き	・依頼はあるものの既存客からの追加依頼、部署交替等が多く、従来ある年末需要での依頼は少ない。
		-	-	-
	x	-	-	-